

C A L A M V S   G L A D I O   F O R T I O R

平成 21 年度

2009 年度

**文学部**  
**履修案内**  
(三田キャンパス)



## 履修案内について

この履修案内は文学部在籍者を対象とするものです。履修にあたっての注意、履修の方法、関連の学部学則（別冊）や内規について書かれています。今年度開講される各科目の内容については『講義要綱』（別冊）を参照してください。

文学部生は、この履修案内をよく読んで、ガイダンスでの説明も参考にしながら自己の責任において慎重に履修してください。毎年履修案内を読まないことによる履修上のトラブルが多く見られます。トラブルの中には、進級や卒業に関わるものが多々あります。理解できない点や不明の点は、必ず専攻担任、学習指導、学事センターに尋ねて、誤りのないように十分注意してください。

また、履修案内の変更、学習指導上の注意事項をはじめとする重要な事項は、必ず文学部掲示板に掲示しますので、掲示には絶えず注意を向けてください。

ガイダンスでの注意に従わなかったこと、履修案内を読まなかったこと、掲示板を見なかったことによるトラブルは、学生諸君の自己責任となることを肝に銘じてください。

なお、卒業後も本冊子を必要とする場合がありますので、卒業後も大切に保管してください。

## 学則について

学則とは、学校が制定する諸規程のうち学務に関する事項、入学・退学・卒業、学生の身分に関する取扱い、入学試験、学位、そして教育課程に関する事項について規定したものをいいます。

今年度の文学部は、2007年度（平成19年度）に制定された【07学則】と、2004年度（平成16年度）に制定された【04学則】の2種類の学則が適用されます。【07学則】と【04学則】の適用対象者は、以下のとおりです。

**【07学則】：2009年度1・2・3年生在籍者**

**【04学則】：2009年度4年生在籍者**

2009年度4年生原級者の学則移行について

2009年度4年生の学生で、2009年度末に原級（留学・休学を含む）となり、2010年度も4年生に留まることになった場合は、2010年度より【07学則】に移行することになります。

該当者には、2010年3月中旬の「学業成績表」送付時に個別にご案内をお送りしますが、【04学則】で取得した科目はすべて【07学則】の科目名に読み替えを行い、2010年度からは【07学則】の進級・卒業条件が適用されますので、注意してください。

# 目次

文学部役職者・専攻担任	1	2 学生生活支援	28
平成 21 年度(2009 年度)学事関連スケジュール(三田)		3 遺失物の取扱い	29
第 1 三田キャンパスガイド	5	4 奨学金	29
1 主な事務室と事務取扱時間	5	5 就職・進路支援	29
2 振鈴表	5	6 学生相談室	29
3 掲示板	5	7 学生健康保険互助組合	30
4 校舎と教室番号	5	8 学生教育研究災害傷害保険	30
5 三田キャンパスマップ	6	9 任意加入の補償制度	30
6 その他	6	定期健康診断	30
第 2 学籍(休学・留学・退学・再入学)	9	第 8 2・3 年生設置科目について(07 学則)	31
1 休学	9	1 単位について	31
2 留学	9	2 卒業に必要な単位数	31
3 退学	11	3 科目の種類	31
4 再入学	12	4 必修語学科目および総合教育科目一覧	32
第 3 学生証・諸届・証明書	13	5 必修語学科目	34
1 学生証	13	6 総合教育科目	34
2 住所変更(本人・保証人)	13	7 総合教育科目の系列外科目	34
3 保証人変更	13	8 専門教育科目(選択科目としても履修できる科目)	36
4 改姓・改名	13	9 自由科目	39
5 国籍変更	13	第 9 2・3 年生での履修にあたっての注意事項(07 学則)	40
6 通学区間の変更	14	1 一般的注意事項	40
7 証明書(成績証明書・学割証等)	14	2 2 年生への注意事項	40
第 4 Web システム	15	3 2 年生での必修語学の履修方法	41
1 Web システム概要	15	4 2 年編入の学生への注意事項	42
2 Web システム操作上の注意	16	5 学士入学の学生への注意事項	43
3 パスワード再発行	16	6 学芸員資格の取得について(07 学則)	43
第 5 履修・授業・成績	17	7 よくある質問	44
1 学事 Web システムによる履修申告	17	第 10 専攻別内規および注意事項(2・3 年生(07 学則))	47
2 履修申告用紙による方法	17	専攻別内規	48
3 修正申告について	18	B 欄による申告方法	84
4 秋学期追加履修申告について[07 学則(2・3 年生)のみ]	18	第 11 4 年生設置科目について(04 学則)	87
5 成績評語について	20	1 単位について	87
6 教員を訪ねる場合	20	2 卒業に必要な単位数	87
7 教室使用申請(三田)	20	3 科目の種類	87
8 AV 機器の鍵・機材の貸出	21	4 必修語学科目および総合教育科目一覧	88
9 緊急時における授業の取扱い	21	5 総合教育科目	89
10 早慶野球戦時における授業の取扱い	21	6 総合教育科目の系列外科目	89
第 6 試験・レポート・質問制度・卒業論文提出要領	22	7 専門教育科目(選択科目としても履修できる科目)	91
1 試験の種類	22	8 自由科目	93
2 レポート	23	第 12 4 年生での履修にあたっての注意事項(04 学則)	94
3 卒業試験	24	1 一般的注意事項	94
4 不正行為	24	2 学芸員資格の取得について(04 学則)	94
5 試験における不正行為の取り扱いに関する文学部内規	25	3 よくある質問	96
6 成績評語に関する質問制度について	25	第 13 専攻別内規および注意事項(4 年生(04 学則))	97
7 卒業論文提出要領	26	専攻別内規	98
第 7 学生総合センター	28	B 欄による申告方法	134
1 窓口案内	28		

## 文学部役職者

学部長	: 長谷山 彰 (日本史学)
日吉主任	: 関根 謙 (中国文学)
三田学習指導主任	: 浜 日出夫 (社会学)
三田学習指導副主任	: 山道 佳子 (西洋史学)

## 専攻担任

専 攻	専攻担任					
哲学	飯田 隆	堀江 聡	納富信留			
倫理学	柘植尚則	奈良雅俊				
美学美術史学	大石昌史	遠山公一	西川尚生	内藤正人	金山弘昌	
日本史学	柳田利夫	井奥成彦	中島圭一			
東洋史学	坂本 勉	山本英史	吉原和男	桐本東太	長谷部史彦	
西洋史学	清水祐司	神田順司	吉武憲司	藤田苑子	神崎忠昭	
民族学考古学	阿部祥人	杉本智俊	佐藤孝雄	山口 徹	安藤広道	
国文学	佐藤道生	石川 透	屋名池誠	小川剛生		
中国文学	山下輝彦	八木章好	渋谷誉一郎	杉野元子	吉永壮介	
英米文学	松田隆美	井上逸兵	井出 新	大串尚代	高橋 勇	
独文学	和泉雅人	糸川麻里生	香田芳樹			
仏文学	市川 崇	喜田浩平	岑村 傑	築山和也	井上櫻子	
図書館・情報学	倉田敬子	岸田和明	安形麻理			
社会学	榊 博文 長尾真理	鈴木正崇	藤田弘夫	李 光鎬	岡原正幸	岡田あおい
心理学	梅田 聡	川畑秀明	大森貴秀			
教育学	山梨あや	藤澤啓子				
人間科学	三井宏隆 織田輝哉	渡辺秀樹 北中淳子	宮坂敬造	鹿又伸夫	鈴木淳子	小林ポオル

## 日吉学習指導主任および副主任

学部・研究所	学 習 指 導	
文学部	主任: 大場 茂	副主任: 坂本 光、市川 崇
経済学部	主任: 柏崎千佳子	副主任: 村越貴代美、中野泰志、志村明彦
法学部	主任: 武藤浩史	副主任: 三瓶慎一、熊代敏行、笠井裕之、安田 淳、志村 正
商学部	主任: 福澤利彦	副主任: 木島伸彦、シェイ, デビット、深谷太香子
医学部	主任: 長井孝紀	
理工学部	外国語・総合教育	主任: 小菅隼人 副主任: 高山 緑、小野 文
	基礎系	主任: 野寺 隆 副主任: 西 宏章、大槻知明
薬学部	主任: 池田年穂	副主任: 菅田節朗
体育研究所	主任: 石手 靖	副主任: 村山光義

【日吉】履修申告前の学習指導相談期間 4月8日(水)～16日(木) 日曜・祭日を除く

履修についての質問、相談に所属学部学習指導担当教員が応じています。また、日吉学事センター所属学部窓口でも相談を受け付けます。

所属学部	学習指導相談会場	相談時間
文学部	第4校舎 独立館 1階 学事センター ミーティングルーム 1	12:15～13:00 土曜日を除く
経済学部	第4校舎 独立館 1階 学事センター ミーティングルーム 2	12:15～13:00
法学部	第4校舎 B棟 地階 特設会場	各授業毎の休み時間および12:15～13:00
商学部	第4校舎 B棟 地階 特設会場	各授業毎の休み時間および12:15～13:00
医学部	第2校舎 3階 300A号室 (研究室)	12:15～13:00 水・金のみ
理工学部	第4校舎 独立館 1階 学事センター ミーティングルーム 1	12:15～13:00 土曜日を除く
薬学部	来往舎 1階 談話スペース	12:15～13:00 土曜日を除く

## 平成 21 年度（2009年度）学事関連スケジュール（三田）

春 学 期	3月 31日（火） 10：00～13：30（121番教室）	2年生履修案内配布
	14：00～17：00（121番教室）	3・4年生履修案内配布
	4月 1日（水） 12：30～	成績証明書発行開始
	1日（水）～7日（火）	ガイダンス
	7日（火）	学事Webシステムパスワード変更締切
	8日（水）	春学期授業開始
	9日（木）・10日（金） 8：45～16：45	履修申告用紙配布日
	10日（金） 16：00～16日（木） 10：00	Webによる履修申告期間
	16日（木） 8：45～10：00	用紙による履修申告日（どうしてもWeb申告ができない場合のみ）
	20日（月） 9：00～（予定）	学事Webシステム履修科目確認画面稼働開始
	23日（木）	開校記念日【休校】
	30日（木）	授業料等納入期限（全納または春学期分納）
	4月 下旬～5月 月上旬	定期健康診断
	5月 月上旬	履修申告科目確認表送付（本人宛）
	7日（木）～	4年生用卒業見込証明書発行開始
	7日（木）・8日（金）・11日（月） 予定	履修エラー修正期間（期間は履修申告科目確認表に記載） 期間外の修正は受け付けません
	29日（金）	春学期休学願提出期限
	下旬	早慶野球戦（予定）
	7月 月上旬	春学期末定期試験時間割発表
	上旬～下旬	春学期末追加試験申込受付（詳細は後日掲示）
10日（金）	春学期補講日	
15日（水）	春学期授業終了	
16日（木）～27日（月） 予定	春学期末試験（詳細は後日掲示）	
28日（火）～9月23日（水）	夏季休業（8月9日（日）～8月15日（土）三田キャンパス一斉休業）	
8月 4日（火）・5日（水） 予定	春学期末追加試験（詳細は後日掲示）	
秋 学 期	9月 月上旬	春学期学業成績表送付（保証人宛）（2・3年生のみ）
	9月 24日（木）	秋学期ガイダンス 文学部のガイダンスはありません
	25日（金）	秋学期授業開始
	10月 30日（金）	授業料等納入期限（秋学期分納）
	10月 下旬～11月 月上旬 予定	早慶野球戦
	11月 18日（水） 1・2時限	秋学期補講日
	18日（水） 3時限～24日（火）	三田祭（準備、本祭、後片付けを含む）【休講】
	30日（月）	秋学期・通年休学願提出期限
	12月 23日（水）～1月5日（火）	冬季休業（12月29日（火）～1月5日（火）三田キャンパス一斉休業）
	1月 6日（水）	秋学期授業開始
	月上旬	秋学期末定期試験時間割発表
	上旬～1月下旬 予定	秋学期末追加試験申込受付（詳細は後日掲示）
	10日（日）	福澤先生誕生記念日【休校】
	1月 15日（金）	秋学期月曜代替講義日
	20日（水）	秋学期授業終了
	20日（水）	秋学期補講日
	21日（木）～2月3日（水） 予定	秋学期末定期試験（詳細は後日掲示）
	2月 3日（水）	福澤先生命日
	上旬～3月下旬	春季休業
	下旬 予定	秋学期末追加試験（詳細は後日掲示）
3月 10日（水）	卒業生発表	
中旬	学業成績表送付（保証人宛）	
23日（火）	卒業式	

### 注意事項

- ・代替講義日：月曜代替講義日（1/15（金））には、実際の曜日に問わず、月曜開講の授業が行われます。月曜開講の授業を履修している学生は注意してください（月曜代替講義日には、月曜以外の曜日の授業は補講を除いて行われません）。
- ・補講日：補講日（7/10（金）、11/18（水）午前、1/20（水））には、実際の授業開講曜日に関わらず、補講を行うことがあります。補講実施科目については、休講・補講掲示で確認してください（補講日に設定されている曜日の授業は、補講にならない限り行われません）。また、補講日以外の通常授業時でも補講を行うことがありますので、掲示板をよく確認してください。
- ・土曜・日曜・祝日・義塾が定めた休日および大学事務室の閉室期間には、学事センター窓口業務を執り行いません。証明書発行等も行わないので注意してください。なお、ここに記載されている期間以外でも窓口を閉めることがあります。決定次第、掲示およびHPにてお知らせします。（窓口案内：<http://www.gakuji.keio.ac.jp/mado/index.html>）
- ・諸般の事情により、日程・教室等が変更されることがあります。変更があった場合は、学内掲示板にてお知らせします。掲示に注意しなかったために、自身が不利益をこうむることもありますので、必ず注意してください。
- ・共通掲示板、学部掲示板、諸研究所掲示板等に注意してください。
- ・学事関連スケジュール（日吉）および日吉地区設置科目の履修に関する詳細は履修案内（日吉キャンパス）で確認してください。

## 履修申告の流れ

日付	時間	日 程	場 所
3月31日(火)	10:00~13:30 14:00~17:00 15:00~	2年生資料配付 3・4年生資料配付 フランス語 ・ ガイダンス	121 番教室 121 番教室 501 番教室
4月1日(水)	8:45~11:30のみ 13:00~15:00	<b>独・仏・中・西・伊語クラスエントリーシート提出日</b> 2年生原級者(留学・休学を含む)・2年編入者英語プレイスメントテスト	学事センター前受付BOX 501 番教室
4月2日(木)	9:00~ 9:00~ 15:00~	独・仏・中・西・伊語クラス発表 英語プレイスメントテスト結果発表 英語ガイダンス 1 <b>英語エントリーシート提出</b> 英語最上級クラス履修希望者面接 1	西校舎地下2階掲示板 西校舎地下2階掲示板 西校舎ホール ガイダンス会場にて ガイダンス会場にて
4月3日(金)	10:45~12:15 13:00~14:30	情報処理教育室設置講座ガイダンス 福澤研究センターガイダンス	515 番教室 513 番教室
4月6日(月)	10:00~ 10:45~12:15 10:45~12:15 12:15~13:00 13:00~14:30 13:00~14:30 14:45~15:45 16:00~ 16:30~18:00	英語 ・ 英語 上級・ 上級クラス発表 2 国際センター在外研修プログラムガイダンス 斯道文庫ガイダンス グローバルセキュリティ研究所ガイダンス 外国語教育研究センターガイダンス 教職課程ガイダンス(新規登録者対象) 教育実習事前指導(2009年度実習予定者対象) 文学部基礎情報処理・応用情報処理ガイダンス 文学部基礎情報処理・応用情報処理エントリーシート回収 教職課程ガイダンス(学校教育学コース)(学部3・4年生対象)	西校舎地下2階掲示板 526 番教室 512 番教室 515 番教室 531 番教室 519 番教室 519 番教室 517 番教室 ガイダンス会場にて 514 番教室
4月7日(火)	9:00~ 9:00~10:30 10:45~12:15 11:00~ 12:20~12:50 15:30~	2 編・学士入学者ガイダンス 体育研究所ガイダンス 体育研究所ガイダンス 文学部基礎情報処理・応用情報処理クラス発表 2 言語文化研究所ガイダンス 文学部専攻別ガイダンス	研究室棟B会議室 512 番教室 512 番教室 西校舎地下2階掲示板 522 番教室 文学部掲示板参照
4月8日(水)		授業開始	
4月9日(木) ・10日(金)	8:45~16:45	履修申告用紙配付日 原則として、Web 履修申告を行ってください。どうしても Web 履修申告ができない場合のみ履修申告用紙を取りに 来てください	学事センター
4月10日(金)	12:15~13:00	英語質問受付時間 1	325B 番教室
4月10日(金) 16日(木)	16:00~ 10:00	Web による履修申告期間 *午前4時から1時間、保守の為利用不可	
4月16日(木)	8:45~10:00	用紙による履修申告(2・3・4年生) どうしても Web 履修申告ができない学生のみ	学事センター窓口
4月20日(月)	9:00~	学事 Web システム履修科目確認画面稼働開始(予定)	
5月上旬		履修申告科目確認表送付(本人宛)	
5月7日(木) ・8日(金) ・11日(月) <予定>		履修エラー修正期間 エラー修正期間外の修正は受けません。履修エラーが残っている場合は、進級条件 や卒業要件に関わらず全て削除します	

- 1 最上級レベルを履修したい学生は、「英語ガイダンス」で面接を行いますので、必ず出席してください。
- 2 抽選の科目(語学・情報処理):クラス発表後に、空きクラスの募集を学事センター窓口で随時行います。抽選発表後、クラスが決まっていない学生や抽選後の空きクラスに応募したい学生は、必ず学事センター窓口にて所定の手続きを取ってください。

履修申告をする場合は、時間割をよく確認しながら登録を行ってください。  
登録番号を間違った場合は、履修エラーとなり、その科目は履修申告が出来ていない事になります。十分注意してください。





# 第1 三田キャンパスガイド

## 1 主な事務室と事務取扱時間

事務室	主な業務	事務取扱時間	場 所
学事センター	履修・授業・成績	授業期間中 平日 8:45～16:45 休業期間中の 11:30～12:30 は閉室	5月下旬以前 南校舎地下1階 5月下旬以後 大学院校舎1階
学生総合センター	学生生活・奨学金・就職		5月下旬以前 南校舎地下1階 5月下旬以後 仮設A棟
	学生相談	平日 9:30～11:30 / 12:30～16:30	西校舎地下2階
国際センター	留学	授業期間中 平日 8:45～16:45 休業期間中の 11:30～12:30 は閉室	5月下旬以前 南校舎1階 5月下旬以後 仮設A棟
教職課程センター	教職課程		南館地下1階
保健管理センター	健康診断・ヘルスケア	平日 8:45～11:30/13:00～16:15	北館1階
三田 ITC	keio.jp、PC 関連	授業期間中 平日 8:45～18:15 休業期間中は 8:45～17:00	大学院校舎地下1階

南校舎の建て替え工事に伴い、学事センターと学生総合センター、国際センターの事務室はそれぞれ5月下旬までに移転する予定です。詳細は掲示とホームページで適時お知らせします。

土曜、日曜、祝日、大学が定める休日および大学の事務一斉休業期間（三田）は閉室します。

大学が定める休日 …… 1月10日（福澤先生誕生記念日）、4月23日（開校記念日）

大学の事務一斉休業期間（三田） …… 8月中旬および年末年始

変更等は適時ホームページ「塾生の皆様へ」でお知らせします。

## 2 振鈴表

時 限	授業期間	定期試験期間		追加試験期間	
	三田・日吉	三田	日吉	三田	日吉
第1時限	9:00～10:30	9:00～10:30	9:30～10:30	9:00～10:20	9:30～10:30
第2時限	10:45～12:15	10:45～12:15	10:50～11:50	10:30～11:50	10:50～11:50
第3時限	13:00～14:30	13:00～14:30	12:50～13:50	12:30～13:50	12:50～13:50
第4時限	14:45～16:15	14:45～16:15	14:10～15:10	14:00～15:20	14:10～15:10
第5時限	16:30～18:00	16:30～18:00	15:30～16:30	15:30～16:50	15:30～16:30
第6時限	18:10～19:40	18:15～19:45	16:50～17:50	17:00～18:20	16:50～17:50

## 3 掲示板

掲示板は西校舎正面入口と西校舎地下1階、地下2階にあります。他学部設置科目を履修した場合は、その科目を設置している学部の掲示板を確認してください。他地区設置科目を履修した場合はその科目を設置している地区の掲示板を確認してください。諸研究所、各センター設置科目・講座等については、「共通」掲示板を確認してください。研究会に関する掲示は、西校舎501番教室後方入口前の掲示板を利用してください。掲示内容の一部については学事 Web システム、塾生ページでも確認できます。

学事センター（三田文学部担当）からのお知らせ：<http://www.gakuj.keio.ac.jp/mita/bun/index.html>

## 4 校舎と教室番号

第一校舎	大学院校舎	西校舎	南 館	南別館	仮設教室
101～147	313、321A～375C	501～545 西校舎ホール	2B11～2B42	621～672	K 11

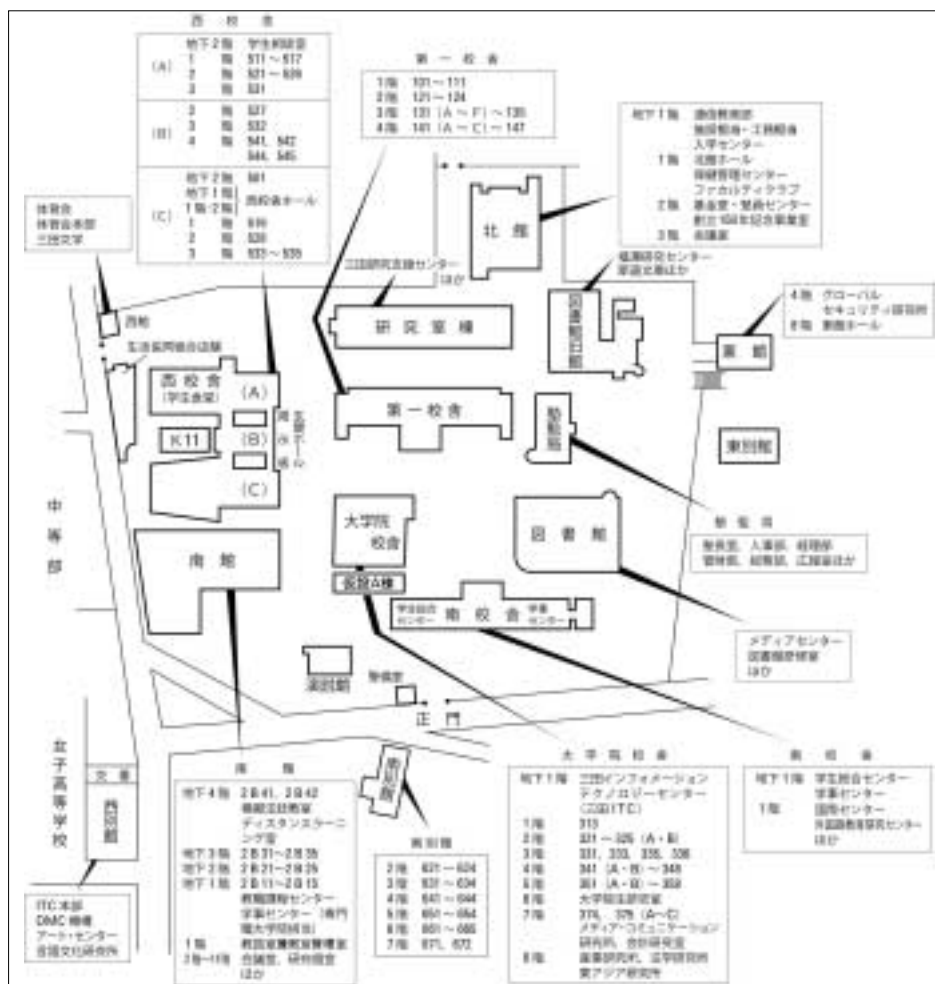
「仮設教室」は、「西校舎」地下2階の出口近辺に、2009年4月に竣工する予定です。

「南別館」は正門を出て直進数十メートルの距離にあります。時間には十分な余裕をもって移動してください。信号待ち、混雑状況等によっては、定刻に間に合わないことも考えられます。

## 5 三田キャンパスマップ（2009年4月現在）

「南校舎」は、2009年の5月下旬以降に建て替え工事に入る予定です。建て替え工事期間中の代替教室や各事務室の移転先等について、掲示やHPで確認をしてください。

「南別館」は正門を出て直進数十メートルの距離にあります。信号待ちのある国道を横断しなくてはなりません。



## 6 その他

### (1) PC アカウント・パスワード

三田キャンパス内の PC を利用するためには、新たに三田 ITC でアカウントとパスワードを作成する必要があります。日吉のアカウントとパスワードでログインすることはできません。

### (2) PC を利用できる場所

PC は第一校舎、大学院校舎、メディアセンター、南館図書室、東館等に設置されています。

### (3) 証明書自動発行機

証明書自動発行機は学事センター内に 1 台、南校舎中庭側に 3 台設置されています。ただし、南校舎建て替え工事の開始にあわせて、いずれも設置場所を移転します。掲示やホームページで確認してください。

### (4) コピー

コピーは生協購買部、生協食堂、メディアセンター等で行うことができます。

### (5) 食堂

三田キャンパス内には、西校舎に「山食(やましょく)」と「生協食堂」の 2 つの食堂があります。

【2・3・4年生】

共通

（07・04学則）



# 第2

文学部

## 学籍（休学・留学・退学・再入学）

### 1 休学

病気その他やむを得ない理由により欠席が長期にわたる場合は、学部学則第152条により、休学することができます。休学の期間は下記のとおり、適用学則によって異なります。

休学期間は在学可能な年数制限（学則第156条）や卒業に必要な在学期間（学則第44条）には算入されません。

休学 の 期 間	【07学則（1・2・3年生）】	【04学則（4年生）】
	通 年：4月1日～翌年3月31日	通 年：4月1日～翌年3月31日
	春学期：4月1日～9月21日 秋学期：9月22日～翌年3月31日	

#### 【休学願】

休学する場合は、保証人連署の上、所定の「休学願」に記入し、所属キャンパスの学事センターへ提出してください。病気・怪我が理由の場合は医師の診断書が、病気以外の場合は本人・保証人の「理由書」（書式は自由）が必要です。また1年生は学習指導と、2・3・4年生は専攻担任と面接が必要になります。詳細は、所属キャンパスの学事センターで相談してください。

2009年度 春学期休学願提出期限 : 2009年5月29日（金）まで

2009年度 秋学期・通年休学願提出期限 : 2009年11月30日（月）まで

#### 【就学届】

休学期間が終了し再び学業に戻る場合は、所定の「就学届」を所属キャンパスの学事センターへ提出してください。

(1)「就学届」用紙は9月中旬または3月中旬に、保証人宛に郵送します。

(2) 病気による休学の場合は、別途回復した旨の医師の診断書（休学理由が病気以外の場合、休学解除の理由書）を添付してください。あらかじめ診断書をご用意ください。

### 2 留学

#### 【国外留学申請書】

留学先大学の入学許可を取得し、「留学」を希望する学生は、原則として出発3ヶ月前までに所定の「国外留学申請書」を提出してください。「留学」が許可されるためには、面接（1年生は学習指導、2・3・4年生は専攻担任）の上、学部教授会の承認が必要です。留学希望先大学に正式な手続きを経て、正規生と同じ授業を受ける場合に限り「留学」として許可されます（語学学習のみの留学はこれに該当せず、休学対象になります）。

「留学」中の学業成果は、学部学則第153条により、復学後、取得単位の認定や在学期間の算入手続きののち、教授会において認められることがあります（下記【留学に伴う単位認定】参照）。

詳細は、国際センター発行の「留学の手引き」を参照の上、国際センターおよび所属キャンパスの学事センター窓口へ問い合わせてください。

#### 【就学届】

留学期間が終了し再び学業に戻る場合は、所定の「就学届」を提出してください。

#### 【留学に伴う単位認定】

30単位を超えない範囲で、学部学則の規定する単位の認定があります。認定を希望する場合は「留学に伴う単位申請書」に成績証明書と講義要綱等を添付して学事センターへ提出してください。

認定手続は以下の通りです。

(1) 認定される科目は原則として三田文学部設置**専門教育科目**に限ります。

(2) 所属専攻以外の科目については、以下のとおり内容確認を行った上で、認定処理担当教員欄に承認を受けてください。

所属専攻設置科目⇒所属専攻専攻担任

他専攻設置科目⇒各専攻の専攻担任

専攻に属さない文学部設置科目⇒学習指導主任

他学部の科目⇒ 認定不可

所属専攻以外の認定処理が全て完了してから、所属専攻担任が最終確認を行います。

【留学・休学の取り扱いについて】

	留 学	休 学
種類	教授会において適正と認められた海外の大学で正式な手続を経て正規生と同じ授業を受ける場合(「編入制度による留学」「STUDY ABROAD PROGRAM」等)。留学は「交換留学」「奨学金による留学」「私費留学」の3つに区別しています。	・語学研修(その他左記の留学と認定されない海外研修など) ・病気による休学(医師の診断書を添付してください) ・一身上の都合による休学(本人・保証人の理由書を添付してください)
期 間	申請期間 「留学」の開始日から半年以上1年まで。 「留学」は年度途中で開始し、年度の途中で終了することが可能です。 (例) 2009.9.22~2010.9.21	休学は、通年もしくは学期単位での申請となります。 【04学則】通年(4月1日~翌年3月31日) 【07学則】通年(4月1日~翌年3月31日)、春学期(4月1日~9月21日)、秋学期(9月22日~翌年3月31日) * 休学の期間は在学期間に算入されません。 * 複数年度・学期にわたって休学する場合は、新年度・学期に再度休学願を提出してください。 * 休学願の提出締切は春学期休学は5月末日、秋学期・通年休学は11月末日です(但し、履修申告をせずに休学する場合は、履修申告期間最終日までに休学願を提出してください)。
	延長 1回可能(最長で留学開始日から2年間まで) それ以降は「休学」となります。 * 「留学」を延長する場合は、「国外留学申請書(延長)」を提出してください。	留学の延長が出来ない場合(左記の延長期間を過ぎても留学継続を希望する場合など)の休学期間は、直近の留学申請期間終了日翌日より当該学期末もしくは年度末までとなります。
学費・渡航費	学費減免措置 【私費留学の場合】 「私費留学」により在学しなかった期間(学期単位)について、その学期の属する年度の授業料および実験実習費の年額の4分の1を学期毎に免除します(最長4学期まで)。 【奨学金留学の場合】 留学1年目の減免措置はありません。留学の延長が認められ、その許可された延長期間が留学開始日から起算して1年6ヶ月以上2年以内の場合は、留学開始日から1年を経過した日の属する年度の授業料および実験実習費の半額を免除します。 交換協定による留学(ダブルディグリーを含む)の場合は学費の減免措置はありません。 学費減免に関する詳細については、学事センター窓口で確認してください。	* 語学研修、その他留学と認定されない場合の減免制度はありません。 * 但し、上記以外で特別事情のある者および1年以上の休学者については、別に定めるところにより授業料その他が減免される事があります。詳細は、学生総合センター窓口にて確認してください。
	渡航 「交換留学」および「奨学金による留学」の場合には渡航費が補助される場合があります(国際センターに問い合わせてください)	なし
単位取得・認定	休学・留学期間をはさむ履修 年度の途中から「留学」する場合は、以下の場合に「留学」前に履修申告をした通年科目またはセット履修科目を「留学」後継続履修し、単位取得することが可能です。必ず「留学」前に各科目担当者へ、「留学」終了後に継続して履修する意志があることを伝えてください。 <継続履修が可能な科目> 文学部設置の専門教育科目で、同一担当者の通年・セット履修科目が当年度も存在している場合。ただし、同一担当者の授業が開講されていない場合は、講義内容等を勘案の上、科目担当者および専攻担任が承認した場合に継続履修を認める場合がある。 2年次の必修語学科目で、留学前に継続履修の許可を得ている場合。原則として同一担当者の科目とするが、当年度に同一担当者の授業が開講されていない等の理由で履修できない場合は、異なる担当者の科目でも可とする(必修語学の継続履修を希望する場合は、留学前および留学後に所定の申請書を学事センターに提出してください。提出がない場合は、継続履修は認められません)。 <b>総合教育科目は継続履修できません。</b> 教職課程センター設置科目については、継続履修が認められる場合があります。教職課程センター窓口にて確認してください。	07学則の学生で、秋学期および翌年度春学期に休学をした場合、左記の留学による継続履修の取扱いに準じて、継続履修が認められます。詳細は学事センター窓口で確認してください。
	単位認定 30単位を超えない範囲で、学部学則の規定する単位に認定することができます。認定を希望する場合は、就学後学事センターで所定の用紙を受け取り、提出してください。なお、認定される科目は三田文学部設置専門教育科目に限ります(総合教育科目・必修語学科目は含まれません)。	【04学則】休学年度の春学期に取得した単位が認定される場合があります。詳細は学事センター窓口にて問合せてください。 【07学則】通年休学を申請した場合は、当該年度の春学期に取得済みの科目があっても全て無効となります。また半期休業を申請した場合でも、セット履修科目の成績は春・秋ともに無効です。
就学後	「留学」終了後は、速やかに就学届を提出してください。なお、就学後の行事日程については、年度末に郵送される行事日程表を参照してください。	「休学」終了後は、速やかに就学届を提出してください(病気による休学については、医師による病気が回復した旨の診断書を添えてください)。なお、就学後の行事日程については、年度末に郵送される行事日程表を参照してください。
在学年数	「留学」の期間は1年間に限り在学年数に算入することができます。希望者は留学前に専攻担任と相談の上、「留学」終了後、必要な書類をそろえて学事センター窓口に出してください。	「休学」の期間は在学年数に算入されません。
進級・卒業	「留学」終了後の学年について 留学終了後の学年は、原則として留学開始前の学年と同じとなります(原級に留まります)。 ただし、専攻によっては在学期間算入および単位認定等により進級条件を満たせば、4月に遡って進級できる場合があります。専攻内規を確認の上、必ず留学前に専攻担任と相談してください。なお、4年生での留学は必ず原級に留まります(留学終了後に、3月に遡って卒業することはありません。)	【04学則】「休学」終了後は原級にとどまります。 【07学則】進級・卒業の時期は年度末となります。進級・卒業のためには、各学年・専攻における進級・卒業条件を充足するとともに、各学年において2学期以上在学する必要があります。秋学期休学の場合でも、第1~3学年では進級条件を充足し各学年2学期以上在学すれば進級できます。しかし、第4学年については、秋学期休学の場合には当該年度末に卒業することはできません。

### 3 退学

#### 【退学届】

事情により退学する場合は、所定の「退学届」用紙に退学の理由を具体的に明記し、保証人連署、捺印（本人と保証人は異なる印を使用してください）の上、学生証を添付して所属キャンパスの学事センターへ提出してください。1年生は学習指導と、2・3・4年生は専攻担任と面接の上、用紙に署名・捺印が必要です。詳細は所属キャンパスの学事センターに相談してください。

#### 【退学年月日】

- (1) 退学年月日は、学費納入済みの学期末以前で本人の希望日となります。
- (2) 退学年月日が3月31日の場合、当該年度に取得した成績および当該年度の在籍は有効となります。
- (3) 退学年月日が4月1日以降9月20日以前の場合、当該年度に取得した成績および当該年度の在籍は無効となります。
- (4) 退学年月日が9月21日以降3月30日以前の場合、春学期に取得した成績（セット履修科目以外）および春学期の在籍は有効となります。秋学期に取得した成績（セット履修科目を含む）および秋学期の在籍は無効となります。
- (5) 学費未納の場合、退学年月日は学費納入済みの学期末日まで遡及します（学部学則第171条）。退学後に完納された場合でも、無効となった在籍および成績は有効にはなりません。

#### 【学則第156条抜粋】

同一学年に2年在学し、なお進級し得ない者ならびに同一学部で8年（医学部では12年）在学し卒業し得ないものは退学させる。

（省略）

なお、休学期間は、在学年数に算入されません。（学部学則152条6項）

#### 【学則第156条適用に関する文学部内規】

##### 04学則

- (1) 第1学年、第2学年

第1学年・第2学年に、各々2年間ずつ在学することができる。

- (2) 第3学年、第4学年

第3学年から第4学年への進級条件科目がある専攻

（該当専攻：倫理学、美学美術史学、日本史学、東洋史学、西洋史学、民族学考古学、英米文学、図書館・情報学、心理学、教育学）

第3学年・第4学年に、各々2年間ずつ在学することができる。

第3学年から第4学年への進級条件科目がない専攻

（該当専攻：哲学、国文学、中国文学、独文学、仏文学、社会学、人間科学）

第3・第4学年に、計4年間在学することができる。

ただし、東洋史学専攻および民族学考古学専攻の学生で、2006年度に4年生で原級となり、04学則に移行した者については、3年次には93学則で進級しているため、04学則移行後も、第3・4学年に計4年間在学することができることとする。

##### 07学則

- (1) 第1学年、第2学年

第1学年・第2学年に、各々2年間ずつ在学することができる。

ただし、半期休学をした者で、学年末において同じ学年の在学年数が1.5年の者が原級となった場合、翌年度末までの在学が認められる。

- (2) 第3学年、第4学年

第3学年から第4学年への進級条件科目がある専攻

（該当専攻：倫理学、美学美術史学、日本史学、東洋史学、西洋史学、民族学考古学、英米文学、図書館・情報学、心理学、教育学）

第3学年・第4学年に、各々2年間ずつ在学することができる。

ただし、半期休学をした者で、学年末において同じ学年の在学年数が1.5年の者が原級となった場合、翌年度末までの在学が認められる。

第3学年から第4学年への進級条件科目がない専攻

(該当専攻：哲学、国文学、中国文学、独文学、仏文学、社会学、人間科学)

第3・第4学年に、計4年間在学することができる。

ただし、半期休学をした者で、学年末において第3・第4学年の通算在学年数が3.5年の者が原級となった場合、翌年度末までの在学が認められる。

#### 【学則第171条】

授業料その他必要諸経費を所定の期日までに納入しないときは退学させることがある。

#### 【学則第188条抜粋】

この学則若しくは、これに基づいて定められた学内諸規則に違反し、または学業を怠り、気品を害ね、その他学生としての本分にもとる行為のあった者については、懲戒として情状により譴責・減点・停学または退学の処分をする。ただし、懲戒退学は、次の各号の一つに該当する者に対してのみ、これを命ずるものとする。

- 1 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 2 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- 3 正当な理由がなくて出席常でない者
- 4 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

## 4 再入学

#### 【学則第155条】

退学したものが再入学しようとする場合には、事情を考慮した上で原級に編入することがある。

再入学にあたっては、入学考査料および入学金がかかります。「再入学を伴う退学」が承認されても、無条件で再入学が認められることにはなりません。

#### 【学則第155条に関する文学部での取り扱い】

退学年月日は従来通り学費が納入された時期までとする(全納の場合3月31日、春学期までの場合は9月21日)

(1) 正当な理由で一時的に修学が困難で、かつ現在の休学制度の適用を受けることができない学生に関して、再入学を認める。

(2) 再入学の可能性が認められる退学であるかどうかを専攻担任(1年生は日吉主任)および学習指導が面談の上判断し、教授会の承認を得ておくことを条件とする。

(3) 再入学の願いが出された時点で、再度面談の上、教授会の承認を得て、再入学を認める。

(4) 以下の場合は、再入学を認めない。

学則156条、171条、および188条による退学

留学を理由とする退学

再入学を認める退学が承認された教授会から1年以内もしくは10年以上経過しての再入学願

(5) 再入学を希望する場合、原則として再入学希望年度の前年度の12月末日までに申し出ることとする。

(6) 再入学後の取り扱い

退学時の原級に復学するのが原則とするが、復学と同時に上級学年への進級条件を充たす場合には、上級学年に復学するものとする。

再入学した時点での学則を適用する。

退学する以前に取得した単位は学則に照らして原則として全て認める。

退学時における在学年数はそのまま加算する。

(7) 施行期日 平成14年4月1日

平成13年度までに既に退学している学生に関しては、この運用内規は適用されない。

文学部において、退学後再入学を希望する場合には、退学の時点で教授会で検討のうえ、承認が必要となります。具体的な手続きに関しては、学習指導および専攻担任に問い合わせてください。



# 第3

## 学生証・諸届・証明書

### 1 学生証

学生証は本大学学生であることを証明する身分証明書です。様々な場面で必要になるので常に携帯してください。

#### (1) 再交付

学生証または学生証裏面シールを紛失、汚損した場合は、速やかに三田学事センターで再交付を受けてください。郵便やメール等窓口以外での届出は受け付けません。

**必要書類** ( 所定用紙 は学事センターにあります )

証明書用写真 ( 縦 4cm 横 3 cm, カラー光沢仕上げ, 脱帽・上半身正面・背景なし, 3 ヶ月以内に撮影されたもの ), 2,000 円 ( 証紙 証紙は学事センター内の券売機で販売しています ), 学生証再交付願 所定用紙

#### (2) 学生証の返却

再交付を受けた後に前の学生証が見つかった場合、また、退学・卒業等で離籍した場合はただちに三田学事センターへ返却してください。

#### (3) 国際学生証

国際学生証については生協事務室に問い合わせてください。( TEL : 03 3455 6651 )

### 2 住所変更 ( 本人・保証人 )

住所 ( 本人・保証人 ) を変更した場合は、速やかに三田学事センターへ届け出てください。住居表示・地番変更の場合も届け出てください。本人の住所変更の場合、学生証裏面シールの記載事項変更も同時に行い、窓口で証明印を受けてください。郵便やメール等窓口以外での届出は受け付けません。

**必要書類** ( 所定用紙 は学事センターにあります )

学生証, 在学カード 所定用紙

### 3 保証人変更

保証人を変更する場合は、速やかに三田学事センターへ届け出てください。保証人は日本国内に居住し一家計を立てている成年者で、本人の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者とし、父または母としてください。父母が保証人となり得ない場合は、兄、姉、伯父、伯母等後見人またはこれに準ずる方としてください。郵便やメール等窓口以外での届出は受け付けません。

**必要書類** ( 所定用紙 は学事センターにあります )

学生証, 保証人変更届 所定用紙, 在学カード 所定用紙, 誓約書 ( 本人・新保証人押印 ) 所定用紙, 新保証人の住民票

### 4 改姓・改名

改姓・改名をした場合は、速やかに三田学事センターへ届け出てください。届け出後、履修中の科目担当者に必ずその旨申し出てください。郵便やメール等窓口以外での届出は受け付けません。

**必要書類** ( 所定用紙 は学事センターにあります )

学生証, 改姓(名)届 所定用紙, 在学カード 所定用紙, 誓約書 ( 本人・保証人押印 ) 所定用紙, 学生証再交付願 ( 写真貼付 縦 4cm 横 3 cm, カラー光沢仕上げ, 脱帽・上半身正面・背景なし, 3 ヶ月以内に撮影されたもの, 手数料不要 ) 所定用紙, 新姓名の戸籍抄本

### 5 国籍変更

国籍を変更した場合は、速やかに三田学事センターへ届け出てください。郵便やメール等窓口以外での届出は受け付けません。

**必要書類**

学生証, 戸籍謄本 ( コピーでも可 ), 住民票

## 6 通学区間の変更

住所変更等に伴い学生証裏面に記入している通学区間を変更する場合は、速やかに三田学事センターへ届け出てください。郵便やメール等窓口以外での届出は受け付けません。

通学定期券の発売区間は「自宅最寄駅」から「学校最寄駅」の最も経済的な経路による区間に限ります。学生証裏面シールの通学区間欄は、必ず「自宅最寄駅」から「学校最寄駅」を明記してください。なお、通学区間が適正でない場合は、通学定期券の発売が停止されます。

### 必要書類

学生証

## 7 証明書（成績証明書・学割証等）

### (1) 証明書自動発行機

設置場所と利用時間（他キャンパス（日吉・矢上・藤沢・芝共立）に設置されている発行機も利用できます。）

南校舎1階（中庭側） 月～土 9:00 20:00 授業・定期試験のない土曜日は利用できません。

学事センター内 月～金 8:45 16:45 授業・定期試験のない日は8:45 11:30 / 12:30 16:45

5月下旬からの南校舎建て替え工事に伴う設置場所の移転先情報や、メンテナンス・故障等による利用停止情報は、適時HP等でお知らせします。http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/shoumei/index.html

### (2) 証明書の厳封

厳封を希望する場合は窓口で申し込んでください。発行済みの証明書を後から厳封することはできません。

なお、厳封には手数料はかかりませんが、発行する証明書の枚数分の手料は必要です。

### (3) 代理人による申請

代理人による証明書の申請は、学生本人が大学に行くことが困難な場合（留学中、入院中等）に限り受け付けます。郵便やメール等窓口以外での届出は受け付けません。

#### 必要書類

本人の学生証の写し、委任状、代理人の身分証明書

委任状には特に所定の書式はありませんが、例を参照のうえ、学生本人の意思が確認できるように作成してください。

#### [例] 委任状

私「(本人氏名)」は、「(代理人氏名)」に、証明書の申込みと受け取りを一任します。

20xx年 月 日・本人署名・捺印

身分証明書とは、慶應義塾大学学生証、免許証、パスポート、健康保険証、外国人登録証明書、住民基本台帳カード（写真付のもの）を原則とします。社員証、他大学学生証等は受け付けません。

### (4) 証明書一覧

証明書	言語	手数料	発行場所	発行日数	発行開始日	備 考
在学証明書	和文 英文	200円	自動発行機	即日	4月1日	
成績証明書	和文 英文	200円	自動発行機	即日	4月1日	
卒業見込証明書	和文 英文	200円	自動発行機	即日	5月7日	4年生のみ発行されます。
卒業見込付成績証明書	和文	400円	自動発行機	即日	5月7日	4年生のみ発行されます。
履修科目証明書	和文	200円	自動発行機	即日	6月1日	
	英文	200円	窓 口	即日		
健康診断証明書	和文	200円	自動発行機	即日	6月中旬	受診した年度の年度末まで発行されます。
	英文	保健管理センターに問い合わせてください。(TEL: 03-5427-1607)				
学割証	和文	無料	自動発行機	即日	4月1日	定期健康診断を未受診の場合は発行できません。1人1日10枚まで発行できます。
通学証明書	和文	無料	窓 口	即日		学生証で購入できない区間またはバスを利用する際に必要な証明書です。
旧司法試験受験用単位取得証明書	和文	200円	窓 口	数日 <sup>(注)</sup>		旧司法試験一次試験免除用の証明書です。発行スケジュールは適時掲示板でお知らせします。
各種資格試験等受験用単位取得証明書	和文	200円	窓 口	数日 <sup>(注)</sup>		
提出先所定の用紙(リクエストフォーム)に証明を要するもの	和文	200円	窓 口	数日 <sup>(注)</sup>		

(注) 発行までに時間がかかる場合がありますので、余裕をもって申請してください。

証明書発行には学生証が必要です。

2002年度以前の入学者が初めて英文の証明書を発行する場合は、窓口申し出てください。

学割証の有効期限は発行日から3ヶ月以内です(有効期間内でも学籍を失った場合は無効)。必要な枚数だけ発行するようにしてください。

特別学割証と団体旅行申込書(団体割引)を発行する場合は、窓口申し出てください。

学費未納の場合は、すべての証明書が発行できません。

# 第4 Webシステム

## 1 Webシステム概要

インターネットに繋がるパソコンがあれば、各種サービスを利用できます。

「塾生の皆様へ」ホームページ	
URL	<a href="http://www.gakuji.keio.ac.jp/">http://www.gakuji.keio.ac.jp/</a>
概要	塾生の皆様に向けて各種情報を提供するポータルサイトです。最新のお知らせや各種ホームページのリンク等を提供しています。
主な提供サービス	<b>授業 / 履修 / 試験</b> ・履修案内 / 講義要綱 / 時間割 (PDF) の公開 / 卒業発表 (学籍番号のみ公開) 等 <b>学生生活 / 進路</b> ・窓口利用案内 / イベントや奨学金についての情報等

学事 Web システム	
URL	<a href="http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/">http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/</a>
ID / パスワード	学籍番号 / 学事 Web パスワード
マニュアル	<a href="http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/">http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/</a>
概要	履修申告や登録済科目の確認、休講・補講情報の確認等ができます。学事 Web システムを利用するためには ID (学籍番号) と事前に通知した学事 Web パスワードが必要です。パスワードを忘れた場合は学事センターにお問い合わせください。
主な提供サービス	<b>履修申告</b> 時間割や登録番号から科目を選択し履修申告を行うシステムです。履修申告期間に何度でも申告内容の修正が行えます。受付期間中に時間割が変更する場合があります。各キャンパスの掲示板に注意し、必要があれば締め切りまでに申告の修正を行ってください。 <b>履修確認</b> 一定の期間に履修中科目の一覧を表示します。ただし、表示される履修中科目は暫定的な内容となります。最終的な履修科目は、履修申告科目確認表で確認してください。 <b>休講・補講</b> 休講・補講のある授業の一覧が表示されます。携帯端末からも利用できます。ただし、公式の情報は科目設置の各キャンパスの掲示板とします。休講・補講情報は変更することがありますので、直前にも掲示板を確認するようにしてください。 <b>連絡・呼出</b> 事務室からのお知らせやキャンパスの掲示板に掲示される呼出がある場合は、学事 Web システムにログインした直後にメッセージが表示されます。連絡・呼出は、携帯端末からのログイン時にも表示されます。

Web エントリーシステム	
URL	<a href="http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/">http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/</a>
ID / パスワード	学籍番号 / 学事 Web パスワード
マニュアル	<a href="http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/">http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/</a>
概要	各種の申込み (エントリー) を行うシステムです。 ログインには学事 Web システムと同じ学籍番号/学事 Web パスワードを利用します。パスワードを忘れた場合は学生証持参のうえ、学事センター窓口までお越しください。
主な提供サービス	<b>抽選エントリー</b> 事前抽選が必要な科目の抽選申込み (エントリー) を行うシステムです。ただし、科目によっては Web を使わずにエントリーシートを窓口提出する場合があります。また、受付期間が科目ごとに異なります。

keio.jp (共通認証システム)	
URL	http://keio.jp/
ID / パスワード	慶應 ID / パスワード
マニュアル	http://keiojp.itc.keio.ac.jp/
概要	共通の ID (慶應 ID) で様々なサービスを提供するためのシステムです。利用するには、慶應 ID の取得 (アクティベーション) が必要です。また、一部のサービスでは、厳密に個人認証を行うために第 2 パスワードとして学事 Web パスワードが必要となる場合もあります。
主な提供サービス	<p><b>学業成績表閲覧</b> 学事 Web パスワードを第 2 パスワードとして利用 保証人へ郵送した学業成績表の原本から、個人を特定できる項目を除いた学業成績表の閲覧が可能です。利用可能期間は、学部・研究科、学年等で異なります。詳細は「塾生の皆様へ」ホームページで告知します。</p> <p><b>健診結果お知らせ</b> 学事 Web パスワードを第 2 パスワードとして利用 当該年度に受診した学生のみ健康診断の結果の閲覧ができます。閲覧開始時期は健診受診時にお知らせします。結果についての質問等は保健管理センターにお問い合わせください。</p> <p><b>就職・進路支援システム</b> 進路希望、進路届、就職体験記、求人票等</p> <p><b>その他</b> ・慶應メール / 教育支援システム等 (詳しくは上記のマニュアルページでご確認ください)</p>
慶應 ID 取得	<p>慶應 ID を取得していない方は「アクティベーション」を行ってください。その際に個人認証として学籍番号と学事 Web パスワードが必要です。詳細は、以下を参照してください。 http://keiojp.itc.keio.ac.jp/manual/activation/stdact.html</p> <p>アクティベーションは 1 度しかできません。慶應 ID や設定したパスワードを忘れてしまった場合は、各キャンパスの ITC 窓口にお問い合わせください。</p>

## 2 Web システム操作上の注意

- (1) 複数のブラウザを起動して同時にログインしないでください。
- (2) Web システムにログインした後は、ブラウザの [戻る] および [進む] ボタンは使用しないでください。誤ってクリックしてしまい画面が正しく表示されなくなった場合には、[更新] ボタンを押してリロードしてください。
- (3) Web システムへログインしたまま長時間画面の前から離れた際に他人に悪用されないようにする等のセキュリティ上の目的で、長時間同じ画面が表示された場合は、次の画面には進めないようになっています。そのような場合は、一旦ブラウザを終了し、10 秒程度待ってから再度ブラウザを起動し直してください。
- (4) 氏名等に難しい字が使われている場合、画面上にうまく表示できない場合がありますが、システム上問題はありません。
- (5) Web システムは、推奨された環境ではない場合や各種設定 (Cookie, SSL, Proxy 等) を正しく行わない場合は、ログインできないことがあります。推奨環境、設定方法、操作方法については、各 Web システムのマニュアルを参照してください。

## 3 パスワード再発行

各 Web システムのパスワード再発行窓口は以下のとおりです。

	ログイン ID	ログインパスワード	再発行窓口	必要書類
学事 Web システム	学籍番号	学事 Web システムパスワード	学事センター	学生証
Web エントリーシステム	学籍番号	学事 Web システムパスワード	学事センター	学生証
keio.jp (共通認証システム)	慶應 ID	keio.jp パスワード	三田 ITC	学生証・慶應 ID
塾生の皆様へ	不要	不要		
三田キャンパス内の PC を利用するための ID およびパスワードは三田 ITC で再発行できます。				

# 第5

## 履修・授業・成績

### 1 学事 Web システムによる履修申告

学則および履修案内を熟読し、**秋学期科目も含めて本年度履修する全ての科目**を正しく申告してください。下記の期日までに履修申告をしない場合は、**就学の意志がないものとして退学処分になることがありますので、十分注意してください**（学部学則第 188 条）

履修申告は原則 Web で行い、やむをえない場合のみ履修申告用紙で行ってください。Web と申告用紙を併用することはできません。必ずどちらか一つの方法で履修申告を行ってください。

**履修申告に誤りがあれば登録されず、履修調整（抽選）の対象になりませんので十分注意してください。**

学事WebシステムURL <a href="http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/">http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/</a>	
履修申告	<p><b>4月10日（金）16:00～4月16日（木）10:00まで【厳守】</b> （ただし、保守のため午前4:00～1時間ほどは利用できません）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・操作方法については、学事 Web システムの画面上から参照できるオンラインマニュアルを参照してください。</li><li>・締切時間を過ぎると履修登録ができません。時間に余裕をもって履修登録を行ってください。</li><li>・申告期間中であれば、何回でも履修の修正が可能です。</li><li>・申告期間中に時間割が変更になる場合があります。各キャンパスの掲示板上に留意し、必要があれば上記申告期間内に履修の修正を行ってください。</li><li>・学事 Web システムによる登録後、登録科目一覧画面を印刷して保管しておいてください。学事センターでの閲覧・照会はできません。</li></ul>
履修確認	<p>学事Webシステムで、履修登録をした科目の確認ができます。履修申告期間終了後は数日停止しますが、4月20日（月）9:00より再開します（予定）。</p> <p><b>最終確認は、5月上旬に送付する「履修申告科目確認表」で、必ず行ってください。</b></p>

#### 注意事項

- ・学事 Web システムは、必ず4月7日（火）までにログインできることを確認してください。
- ・もし**学事 Web システムのパスワード**を忘れてしまった場合には、4月7日（火）までに学事センターでパスワード変更申請の手続きを行ってください（2008年度以前に入学した在学生の初期パスワードは、変更していない場合、2009年3月に送付した学業成績表に印字されています）。
- ・学内のパソコンを利用するための**Windows パスワード**を忘れてしまった場合には、三田インフォメーションテクノロジーセンター（三田 ITC：大学院棟地階）で変更申請の手続きを行ってください。

### 2 履修申告用紙による方法

用紙配布期間 4月9日（木）・10日（金） 8:45～16:45 学事センター

用紙提出日 4月16日（木） 8:45～10:00 学事センター文学部担当窓口

#### (1) 申告用紙の取扱い

今年度履修する科目をすべて記入します。

登録番号は、時間割に記載されている5桁の数字です。科目名・教員名・番号が正しく記入されても、マークを間違えると登録されません。

履修申告用紙提出前の科目の訂正および変更等は、無効マーク欄を塗りつぶして無効にした上で、改めて正しい科目を記入してください。

履修申告用紙の記入欄が足りない場合は、学事センター窓口申し出てください。

提出期限外の受付は一切できません。

履修申告用紙提出後の履修科目の変更・追加・取消は認められません。また履修申告用紙の閲覧、履修科目の照会にも応じません。

履修申告用紙の控え（コピー）を必ず手元に残すようにしてください。

## (2) 履修申告内容の確認とエラー修正申告

履修申告用紙提出後、科目登録の確認を5月上旬に行います。学事センターから「履修申告科目確認表」を郵送します。

手元に残した履修申告用紙の控えと科目名、担当者名、曜日、時限、分野等を必ず確認してください。

**履修の確認はエラー修正期間内(5月7・8・11日を予定)に行い、修正すべき点または疑問点があれば、エラー修正期間に必ず申し出なければなりません。**エラー修正期間以外の修正は受けません。

履修エラーが残っている場合は、進級条件や卒業要件に関わらず全て削除される場合があります。

エラー修正申告時は、氏名・学籍番号と修正申告する科目の情報のみを記入してください。

確認を怠ったために生じた申告漏れ、科目の間違いなどは各自の責任となりますので十分注意してください。

## 3 修正申告について

「履修申告科目確認表」に履修エラーがあった場合は、必ず下記の期間に修正申告をしてください。

**なお、修正申告期間は履修エラーを修正するための期間ですので、新たな履修科目の追加や履修エラーがない科目の修正・削除は一切認められません。**

**修正申告期間：5月7日(木)・8日(金)・11日(月)(予定)(8:45~16:45)**

## 4 秋学期追加履修申告について【07学則(2・3年生)のみ】

履修申告は、秋学期科目も含めて春学期の履修申告期間に行いますが、春学期の学業成績表が送付された際(9月中旬)に、以下の条件にあてはまる場合のみ、教授会で承認の上、秋学期追加履修申告を認める場合があります。申告日時・方法については、掲示等で別途指示します。

### 対象者

春学期の履修申告で進級・卒業条件を満たす申告を行っている者で、次のいずれかに該当する場合。

(ア) 春学期科目が不合格(Dまたは(未受験))のため、原級が確定してしまう者

(イ) 要件科目の履修者で、春学期分が不合格(Dまたは(未受験))のため、秋学期分の履修が削除された者

### 対象科目

(ア) 文学部設置の総合教育科目

(イ) 文学部設置の専門教育科目

(ウ) 他学部および諸研究所設置科目のうち、文学部生の秋学期追加履修が認められている科目

(ア)~(ウ)いずれの場合も、「追加履修願」に承認印(日吉設置科目は学習指導主任(日吉)および科目担当者、三田設置科目は所属の専攻担任および科目担当者の印)が必要。

### 追加履修の単位数

の(ア)に該当する者：秋学期の「追加履修可能単位数」は、春学期に不合格(Dまたは(未受験))となった単位数のうち、進級または卒業に必要な最低限の単位数とする。ただし、秋学期に進級・卒業条件科目が設置されていない場合は、それ以外の科目を追加履修可能単位数の範囲内で追加履修することができる。(なお、不合格となった科目と異なる単位数の科目を追加履修するケース等、必要に応じて1単位分の超過を認める場合がある。)

の(イ)に該当する者：履修が削除された秋学期科目の単位数を上限とする。

**履修申告用紙**

提出日 年 月 日

1. 登録欄には、曜日・時間・科目名・教員名・登録番号を記入し、必ず「無」・「欠」・「履修中」の欄に必ずマークしてください。登録番号は、登録簿を参照してマークしてください。登録の欄は必ず「無」・「欠」・「履修中」のいずれかを選択してください。登録の欄は必ず「無」・「欠」・「履修中」のいずれかを選択してください。登録の欄は必ず「無」・「欠」・「履修中」のいずれかを選択してください。

2. マークにはHとBの色のボールペンを使用してください。【ボールペン、サインペン、万年筆は不可】

3. 折り曲げたり、折し入れたりしてはいけません。

4. 訂正する際は、赤いボールペンで訂正してください。【黒いボールペンで訂正した場合は訂正欄に訂正箇所を記入してください。】

5. 所定欄外には、マークしないようにしてください。

特記欄

**文** 学部 修士 博士  
**人文社会** 学 科 (マルでかこむ)  
学 科 番 号  
学 年 組

学籍番号

校目 / 枚中

氏名

マークを  
忘れずに

①と②の  
塗り間違いに注意!

書き間違いは  
ここにマーク

分野は  
正しいですか?  
必ずB欄分野  
番号表を参照  
してください。

履 修 場

< 履修エラー修正期間 >

履修申告期間に登録した内容でエラー解消のために分野を修正する場合は、削除欄には記入せず、裏面の追加申告欄に正しく記入してください。

**履修申告用紙(修正申告用)**

提出日 年 月 日

1. 訂正する際は、赤いボールペンで訂正してください。【黒いボールペンで訂正した場合は訂正欄に訂正箇所を記入してください。】

2. マークにはHとBの色のボールペンを使用してください。【ボールペン、サインペン、万年筆は不可】

3. 折り曲げたり、折し入れたりしてはいけません。

4. 訂正する際は、赤いボールペンで訂正してください。【黒いボールペンで訂正した場合は訂正欄に訂正箇所を記入してください。】

5. 所定欄外には、マークしないようにしてください。

特記欄

**文** 学部 修士 博士  
**人文社会** 学 科 (マルでかこむ)  
学 科 番 号  
学 年 組

学籍番号

氏名

マークを  
忘れずに

A欄からB欄に変更する場合は  
削除欄は使用しない。  
(その逆も同じ)

正しく登録したい申告欄に  
記入してください。

## 5 成績評語について

成績評語は、A、B、C、Dの4段階で示されます。A、B、Cは合格、Dは不合格です。所定の授業へ出席し、試験を受けた後に評語が決まります。

また、教授会が認めた特定の授業科目は、評語をP、Fの2種とし、Pを合格、Fを不合格とします。なお、本塾・他大学で履修した科目の単位を認定した場合はGとします。

(1) 学業成績表は、保証人宛に郵送するほか、keio.jpからも閲覧することができます。

04学則適用者(4年生): 3月中旬に郵送します(春学期終了科目の成績についても学年末に通知します)。

07学則適用者(2・3年生): 9月中旬と3月中旬に郵送します。なお、通年履修を前提としている科目(セット履修科目)の成績は、3月中旬に通知します。

(2) 学業成績表は、再発行できませんので取り扱いには十分注意してください。

(3) 留年した場合、前年度に取得した成績評語はA、B、Cとも有効です。ただし、4年次において留年した場合、卒業試験の成績は無効とします。

(4) 成績証明書に取得した科目の成績が記載されるのは、07・04学則ともに翌年度の4月以降となります。ただし、卒業決定者の証明書については、申請方法を1月に掲示します。

(5) 文学部では、成績評語がDないし(未受験)の場合に限り、成績質問制度を利用することができます。詳細は、「第6 試験・レポート・質問制度・卒業論文提出要領」の項を参照してください。

(6) 学業成績表の見方

評語 評語 A、B、Cは合格、Dは不合格、Gは認定科目、印は未受験

判定欄 進級.....次学年に進級する者

保留.....追加試験の結果により判定が決定する者

原級(留学).....学則による「留学」が認められた者で原級に留まる者

原級(休学).....学則による「休学」が認められた者で原級に留まる者

原級.....進級条件を充たせず原級に留まる者

[セット履修科目の成績について]

セット履修科目の春学期と秋学期の評語は両方合格[A・B・C]か、または両方不合格[D・(未受験)]のいずれかとなります。(春が合格で秋が不合格というような成績の組合せはありません)。

## 6 教員を訪ねる場合

授業のある日に研究室か教員室を訪ねてください。学事センターで仲介等はいりません。メールでアポイントをとる場合は、各学部部のWeb上の教員紹介等を参照してください。(http://www.fbc.keio.ac.jp/professorate/index.html)なお、講義要綱も参照し、該当授業の訪問ルールに留意してください。

(1) 三田所属専任教員(教授・准教授・専任講師・助教).....研究室(研究室棟または南館)

(2) 日吉所属専任教員および塾外からの出講者(講師).....教員室(南館1階または南別館)

専任教員か講師か不明な場合は講義要綱等で確認してください。

**授業期間終了後に塾外からの出講者(講師)と連絡をとることはできません(学事センターで仲介・連絡等はいりません)。**

## 7 教室使用申請(三田)

### (1) 研究会の教室使用申請

所定の「学内集会届」を窓口へ提出し、「申請者控」を後日窓口で受け取ってください。なお、休業期間中の利用申請には、「学内集会届」に研究会担当教員の捺印が必要です。

使用不可期間	..... 土曜・日曜・祝日、大学が定めた休日、定期試験期間中
受付窓口	..... 三田学事センター教室担当
申込期日	..... 使用希望日の2週間前から事務取扱日換算の前日まで



## (2) 公認学生団体の教室使用申請

「第7 学生総合センター」の項を参照してください。

## (3) 外部団体の教室使用申請

詳細は管財部管財担当に問い合わせてください。施設使用費等が必要となります。

他地区の教室利用については、各地区で申請方法等を確認してください。

## 8 AV 機器の鍵・機材の貸出

貸出窓口 ..... 教員室（南館1階）  
休業期間中は学事センターが窓口  
手続 ..... 学生証提示

## 9 緊急時における授業の取扱い

政府や気象庁から「東海地震注意情報」が発せられた場合や、各種自然災害・大規模な事故等による鉄道等交通機関の運行停止、その他緊急事態が発生した場合の授業の取扱いは次のとおりとします。

### (1) 政府や気象庁から「東海地震注意情報」が発せられた場合

首都圏・東海地方を中心とする大規模な地震発生が予想され、政府や気象庁から「東海地震注意情報」が発せられた場合は、ただちに全学休校とします。なお、地震が発生することなく「東海地震注意情報」が解除されたときの対応については、ホームページ等を通じてお知らせします。

### (2) 鉄道等交通機関の運行停止やその他緊急事態発生の場合

台風・大雨・大雪・地震等の各種自然災害や大規模な事故等による鉄道等交通機関の運行停止、その他緊急事態の発生により、休講措置をとらざるを得ない場合はホームページ等を通じてお知らせします。

URL <http://www.gakujj.keio.ac.jp/index.html>

#### その他の注意事項

授業開始後に緊急事態が発生した場合は、状況により授業の短縮や早退など別途措置を講じます。

掲示や構内放送、上記のホームページによる大学からの指示に従ってください。

## 10 早慶野球戦時における授業の取扱い

授業は1時限のみとし、2時限以降は応援のため休講とします。雨天中止による延期や、同点終了による3回戦以降もこれに準じます。試合結果は、東京6大学野球連盟オフィシャルサイトで確認してください。

URL <http://www.big6.gr.jp/>

雨天等による当日試合中止の判断は、明治神宮野球場（神宮球場）の判断によります。

神宮テレフォンサービス：TEL 03 3236 8000

## 1 試験の種類

## (1) 定期試験

定期試験は春学期末と秋学期末に実施されます。日程は「学事関連スケジュール(三田)」の項を参照してください。

定期試験時間割, 持ち込み指示, 受験に関する注意事項等の詳細を掲示で必ず確認してください。

定期試験・追加試験の URL : <http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/shiken/index.html>

定期試験に関する注意

## a 学生証

(a) 学生証を必ず携帯し, 提示してください。

(b) 試験当日, 万一学生証を携帯しなかった場合は, 学事センターで必ず仮学生証(発行当日に限り全キャンパスで有効, 図書館入館も可)の交付を受けてください。なお, 仮学生証の発行には, 手数料 500 円が必要となります。

(c) 学生証または仮学生証を携帯せずに試験教室に入室することは一切認められません。

(d) 仮学生証の発行手続により, 試験教室への入室が遅れても試験時間の延長はありません。また, 追加試験の対象とはなりません。

## b 禁止事項

(a) 2 時限以降は, 前時限の監督者が退室しない限り, 試験場へ入室できません。

(b) 試験場(教室)を間違えないようにしてください。履修していない科目の試験場へは立ち入らないでください。

(c) 答案は必ず提出しなければなりません。未提出の場合, 不正行為と判断され, 処分の対象とされます。

## c 定期試験の実施時間

(a) 定期試験の振鈴は授業時の振鈴とは異なります。「第 1 三田キャンパスガイド」の項を参照してください。また, 定期試験の振鈴は日吉キャンパスと三田キャンパスで異なりますので注意してください。

(b) 三田キャンパスの追加試験の振鈴は定期試験の振鈴とは異なります。

## d 遅刻

(a) 試験開始後 20 分までの遅刻の場合は, 試験を受験することができません(試験時間の延長はありません)。ただし, 遅刻理由が電車遅延等追加試験の対象となるものの場合, 当該試験をそのまま受験するのか, あるいは追加試験の申請をするのかは, 本人の判断に依ります。電車遅延発生に伴い試験開始時間を遅らせる場合がありますので, 必ず試験会場に向かって試験監督の指示に従ってください。

## e 退室

(a) 試験開始後 20 分間および試験終了前 10 分間は退室を認めません。また, 試験開始後の体調不良等の理由で途中退室する場合は, 追加試験の対象とはなりません。

## f その他

(a) 試験時間割発表時に掲示する注意事項, 持ち込み等は, その都度掲示しますので注意してください。

(b) 答案用紙の担当者および科目名ならびに氏名・学籍番号の記入事項は, すべて略さず正確に記入してください。記入がない場合は成績はつきません。

定期試験時間割重複の取扱いについて

a 所属キャンパスで時間割が重複した場合, 所属キャンパスの学事センターで手続が必要です。

(a) 時間割確認後すぐに学事センターへ申し出てください。

(b) 期日に遅れると受験できません(申し込み期間は掲示します)。

(c) 受験料は不要です。

b 他キャンパスの試験と重複した場合は, いずれかの学事センター窓口で確認してください。

(a) 三田と日吉の試験が重複した場合は, その旨申し出てください。また, 矢上, 藤沢の各設置科目を追加試験とする場合は, 各地区に早急に確認してください。

## (2) 授業内試験

随時授業時間内に行われます。

## (3) 追加試験

追加試験は, 履修申告した授業科目を病気や不慮の事故等, やむを得ない理由で定期試験を受けることのできなかった者に対して行われる試験です。

**対象科目は, 定期試験期間内に行われる試験科目です。**

語学科目, 演習科目, 原典講読, 洋書講読, 体育実技, その他定期試験期間中に定期試験を行わず, レポート・平常点等により評価の定まる科目, ならびに研究会については追加試験対象外です。

他学部設置の授業科目を履修した場合, その実施の有無を含めて取扱いは当該学部の方針によります。

他学部・研究所が設置主体である併設科目についてもこれに準じます。

追加試験を受験する場合は、学事センターで所定の手続きが必要です。手続方法は試験時間割発表の際、文学部掲示板等で指示します。

\* 詳細は掲示、Web (URL : <http://www.gakuji.keio.ac.jp/>) で発表します。

### 追加試験注意事項

診断書・遅延証明・事故証明など正式書類のない場合は、学習指導との面接が必要となります。

定期試験期間中、当該科目の試験時間に試験教室に立ち入っていた場合は、追加試験の受験資格がありません。

追加試験申し込みは、試験時間割発表後から受け付けます。科目設置キャンパスの学事センター文学部窓口で行い、「追加試験受験票(学生保存用)」を受け取ってください。

「追加試験受験票(学生保存用)」を持参していないと受験できないことがあります。

追加試験の時間割変更、持込みの指示等は追加試験時間割発表時に掲示します。掲示は情報が入り次第、その都度追加しますので気をつけてください。

### 受験資格と必要書類と受験料

1. 時間割の重複によるもの 三田と日吉の定期試験の時間重複	受験料不要
2. バス以外の公共交通機関の遅延によるもの 交通機関が発行する試験当日日付の「遅延証明書」	受験料不要
3. 病気・怪我の場合 試験当日の日付を含む医師による「診断書」	受験料1科目2000円
4. 事故を理由とする場合 試験当日日付の「事故証明」	受験料1科目2000円
受験料の支払いは、科目設置キャンパスの学事センターの証紙販売機で証紙を購入し、追加試験申込用紙の「証紙添付欄」に添付してください。	

1. ~ 4. 以外の理由によって追加試験の受験を希望する場合、学習指導との面接による受験許可が必要です。

a. 「保証人連署の理由書」を用意してください( A4サイズ、本人と保証人の署名および捺印が必要となります )。

b. 就職活動が理由の場合、企業名と日付のある企業が発行した証明書を用意してください。

c. 事前に時間割設置地区の学事センターにて、追加試験申込用紙と面接申込名簿に理由、連絡先、科目等記入してください。

追加試験申請の面接時に「保証人連署の理由書」と「追加試験申し込み用紙」に学習指導の受験許可印を得てください。( \* 「保証人連署の理由書」には、本人と保証人の署名および捺印が必要となります。 )

病気・怪我が理由で試験当日日付の「診断書」がない場合、受験できなかった根拠となる試験当日日付以外の診断書を学習指導との面接に持参してください。

### 申込受付・追加試験日程

キャンパスにより、受付日程、時間等が異なりますのでご注意ください。また、受付時間などの変更があった場合、掲示にてお知らせします。

科目設置	追加試験受付	時間割発表	追加試験日程
三田設置科目	7月上旬、1月上旬 受付：三田学事センター 月～金曜日：8：45 16：45	8月・1月上旬 三田西校舎掲示板・web	8月上旬 2月下旬
	7月上旬、1月上旬 受付：日吉学事センター 月～金曜日：8：45 16：45		
日吉設置科目	7月上旬、1月上旬 受付：日吉学事センター 月～金曜日：8：45 16：45	8月・1月上旬 日吉第4校舎 J11番前掲示板・web	8月上旬 2月下旬

### (4) 再試験

文学部学生に対してはその履修する科目がいずれの学部・諸研究所の設置科目であっても再試験は行いません。

## 2 レポート

レポートを三田学事センターへ提出する場合は以下を厳守してください。

指定された期間に指定された場所へ提出してください。それ以外は受け付けません。

一度提出したレポートの変更・訂正は、提出期間内でも認めません。

学事センターへ提出を指示された場合は、所定のレポート提出用紙(2枚複写式)に必要な事項を記入し、レポートに添付して提出してください(2枚とも)。レポート提出用紙は三田学事センターにあります。

学事センターレポートボックス受付時間(時間厳守)

	受付曜日	受付時間
三田地区	火・水曜日、木・金曜日	8:45～16:45

受付曜日・時間等を変更する場合は、掲示等でお知らせします。

授業期間中であっても、都合により閉室することがあります。

	授業・定期試験のある時		授業のない時(夏・冬・春季休業中)	
日吉地区	月～金曜日	8:45～16:45	月～金曜日	8:45～11:30, 12:30～16:45

授業期間中であっても、都合により閉室することがあります。

### 3 卒業試験

- (1) 卒業論文は、卒業を左右する重要な試験ですから、提出日・提出場所・提出手続を厳守してください。この手続を怠った場合は、卒業に支障が生じることになるので、十分に注意してください(「6 卒業論文提出要領」参照)。
- (2) 卒業試験は原則として卒業論文によって行われますが、社会学、人間科学の各専攻はそれ以外の方法によって卒業試験とすることができます。方法は専攻により異なりますので所属専攻の内規を確認し把握しておいてください。
- (3) 第4学年において留年した場合、卒業論文の成績は無効になるので注意してください。その場合、卒業論文は翌年度に再度提出が必要となります。

### 4 不正行為

定期試験の他、授業内試験やレポートにおいても、代筆やカンニング、答案用紙持ち帰り、持込みが許可されていないものの持込みなどの行為があった場合は不正行為とみなされ学則第 188 条により厳重に処罰されます。不正行為およびそれと誤認されるような行為のないよう真摯な態度で臨んでください。

#### レポート・論文の執筆上の注意

レポートや論文の執筆・提出は、定期試験、教場試験と並んで大学での勉学の成果の証となる重要なものです。ところがレポートや論文の書き方のルールを守らないため、不合格になったり、場合によっては不正行為と判定されて処分の対象となったりすることもあります。そこで執筆上の最も重要なポイントを挙げておきます。

1. 自分の意見とそれ以外の部分を明確に分ける。
2. 他人の意見などを引用する場合は必ず出典を挙げる。
3. 文言を引用するときは、誤字も含めて一字一句正確に引用する。
4. 出典の示し方はルールに従う。(下記の文献参照)
5. インターネットからの引用は URL とその取得日を載せる。

これらのルールを守らない場合、剽窃、盗作と判定され、定期試験での不正行為と同様の扱いで処分が行われることがあるので、レポートや論文の執筆にあたっては十分に注意してください。

以下のうち最低 1 点に目を通しておくことを勧めます。出典の示し方の一般的な方法については、これらの参考書で学んでください。

佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦著『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』  
(慶應義塾出版会、2006 年)

木下是雄著『理科系の作文技術』(中公新書、1981 年)

[本書は理科系、文科系を問わず必読]

木下是雄著『レポートの組み立て方』(ちくま学芸文庫、1994 年)

澤田昭夫著『論文の書き方』(講談社学術文庫、1977 年)

澤田昭夫著『論文のレトリック』(講談社学術文庫、1983 年)

野口悠紀雄著『「超」文章法』(中公新書、2002 年)

## 5 試験における不正行為の取り扱いに関する文学部内規

### 【第1条（不正行為の報告）】

本学部学生に関する試験において、不正行為があったときは、監督者は学事センターに報告し、学事センターは学習指導主任にこれを報告しなければならない。学習指導主任は、直ちに学部長に報告しなければならない。

### 【第2条（処分案作成）】

前条の報告をうけた学部長は、速やかに運営準備会を召集し、不正行為の処分案を作成する。処分案作成に際しては当該学生の事情聴取を原則とする。また、必要に応じて、関係者の出席を求めその意見を徴することができる。

### 【第3条（処分の決定）】

運営準備会は処分案を運営委員会に提出し、運営委員会は学則第188条により、その処分の決定を行う。

### 【第4条（処分通知および報告）】

運営委員会が処分を決定したときは、学部長は、直ちに該当学生およびその保証人に処分の内容を通知しなければならない。

## 6 成績評語に関する質問制度について

### (1) 制度対象

文学部所属の学生

成績評語に対して疑義があり、確固たる根拠をもって問い合わせたいと考える者（これは成績変更を嘆願する制度ではありません）

対象学生が履修した文学部設置科目で

- 評語が『D：不合格』もしくは『：未受験』の場合
- 日吉キャンパス設置科目は「文学部1年生授業時間割」に記載されている科目  
上記以外については対象外とします。

### (2) 手続き方法など

用紙の記入・提出

- 科目設置キャンパスの学事センター備え付けの所定用紙を使用してください。
- 科目が設置されているキャンパスの学事センターに提出してください。

締め切り

2009年9月18日（金）16：45（春学期に成績評語が出た科目について）

2010年3月17日（水）16：45（年度末に成績評語が出た科目について）

**春学期に評語が出た科目については、春学期の成績質問期間だけ受け付ける（年度末の成績質問の対象からは除外する）。**

事前に用意するもの

- 学生証
- 学業成績表（コピー不可）
- 350円分の切手3セット（学事 教員、教員 学事、学事 学生の速達郵送料）
- 封筒1枚（返信用：回答の返信先を記入してください）

その他

条件を満たしている場合のみ科目担当教員へ送付し、回答があった場合には返信します。なお、担当教員への回答の催促は一切行いません。また、回答に関する問い合わせは一切受け付けません。

### (3) その他

この質問制度は、専任教員に直接質問することを妨げるものではありません。当制度を利用せず、直接専任教員とコンタクトをとることも認められます。ただし、成績評語について確固たる根拠もなく、成績変更を嘆願する目的で教員とコンタクトをとることは認められません。

## 7 卒業論文提出要領

提出日時、場所：詳細は掲示にてお知らせします。

### (1) 注意事項

論文と一緒に、所定提出用紙（水色）を添えて提出してください（学事センター窓口にて事前配布）。提出場所での提出用紙の配布は行いません。必ず事前に学事センター窓口で受け取り、すべての項目の記入を済ませてから提出してください。

提出用紙を論文の表紙に貼ったり、切り離したりせず、論文と一緒に提出してください。

論文は散逸しないよう綴じ、外表紙に提出年度、論文題目、大学名、学部名、専攻、学籍番号、氏名を必ず記入してください。

フロッピーディスク・CD-ROM等のみの提出はできません。また、主論文以外に資料（副論文、写真、FD、CD-ROM等）がある場合は、主論文と一緒に一つの封筒に入れ、バラバラにならないようにして提出してください。その際、封筒にも提出年度、論文題目、大学名、学部名、専攻、学籍番号、氏名を必ず明記してください。

昨年度卒業論文を提出して卒業しなかった学生は、再度期日に卒業論文を提出しなければなりません。

### (2) 文学部卒業論文の体裁について

必ずファイル（例：生協等で販売しているフラットファイル）に綴じるか、製本してください。ファイルに綴じていない論文（または製本されていない論文）ホチキス止め、クリップ止め、はさむタイプのバインダー、クリアファイルでの提出はできません。

綴じ方は、縦でも横でも構いません。研究会で論文の書式を指定されている場合は、その指示に従ってください。

表紙見本

○	2009年度 卒業論文
	論文題目
○	慶應義塾大学 文学部
	専攻:○○学専攻
	学籍番号:1XXXXXXX
	氏名:○○ ○○

○	○
2009年度 卒業論文	
論文題目	
慶應義塾大学 文学部	
専攻:○○学専攻	
学籍番号:1XXXXXXX	
氏名:○○ ○○	

### (3) 表紙の項目（見本参照）

2009年度 卒業論文  
論文題目  
大学名（慶應義塾大学）  
学部名（文学部）  
専攻  
学籍番号  
氏名

○	論文題目	2009年度 卒業論文
	氏名	慶應義塾大学 文学部
○	学籍番号	○○ ○○
	専攻	○○学専攻
		○○ ○○

○	○	2009年度 卒業論文
論文題目		
氏名		慶應義塾大学 文学部
○	○	○○ ○○
		○○学専攻
		○○ ○○



# 第7 学生総合センター

## 1 窓口案内

### (1) 学生生活支援

課外活動，課外教養，奨学金，学生健康保険互助組合等に関することを取り扱っています。

### (2) 就職・進路支援

就職・進路相談，OB・OG 情報，就職ガイダンス，求人情報等に関することを取り扱っています。

### (3) 学生相談室

さまざまな悩みや相談を受け付けています。

## 2 学生生活支援

### (1) 教室等の使用申請

対象 ..... 公認学生団体の会合

使用可能期間 ..... 授業期間中のみ使用可能。

ただし，日曜・祝日・大学が定めた休日，定期試験期間中・休業期間中は不可。

使用可能時間 ..... 月～金曜日 9:00～20:00

土曜日 9:00～18:00

音楽団体指定時間

月～金曜日 18:10～20:10

土曜日 13:00～18:00

手続 ..... 「学内集会届」を学生総合センター受付窓口に提出

「申請者控」を後日窓口で受け取ってください。

申込期日 ..... 使用希望日の2週間前から事務室開室日換算の3日前まで

備考 ..... 教室以外に使用できるスペースとして，「学生談話室 A・B」と「音楽練習室」があります。

研究会で使用する場合は「第5 履修・授業・成績」の項を参照してください。

### (2) 学生食堂の使用申請

対象 ..... 公認学生団体・研究会・教職員・塾員等のパーティー

使用可能期間 ..... 日曜・祝日以外

手続 ..... 予約後2週間以内に，窓口に「学内集会届」を提出して正式申込をしてください。

備考 ..... 「学内集会届」が提出されなかった場合，予約が取り消されます。食事の内容等については「学内集会届」提出後に，当該食堂に直接相談をしてください。

### (3) 学外行事の届出，団体割引の届出

対象 ..... 公認学生団体や研究会の学外行事 [例] 合宿，コンサート，懇親会

手続 ..... 窓口に「学外行事届」を提出

申込期日 ..... 行事の4日前（土・日・祝日を除く）まで

備考 ..... 受理されると傷害保険の対象となります（学生教育研究災害傷害保険の項参照）。また，団体割引やゴルフ場使用税免除に関する証明も受け付けます。

### (4) 備品借用の申請

対象 ..... 公認学生団体の備品借用 [例] ステッカー，ワイヤレスマイク，塾旗，水差，椅子，机等

手続 ..... 窓口に「借用書」を提出

申込期日 ..... 借用希望日の4日前（土・日・祝日を除く）まで

### (5) 郵便物の取扱い

対象 ..... 外部から送付される公認学生団体宛の郵便物

取扱い ..... 学生総合センター内のメールボックスに区分けしてあります。責任者が定期的に取りに来てください。

備考 ..... 個人宛の郵便物は一切取り扱いません。

### (6) 組織届

対象 ..... クラブ，サークル等を新設し，公認学生団体の認定を希望する組織

手続 ..... 窓口に「組織届」を提出

### (7) 掲示・チラシ配布の申請

対象 ..... ポスターの掲示やチラシ・パンフレットの配布

手続 ..... 窓口に「届出書」を提出

申込期日 ..... 行事の4日前（土・日・祝日を除く）まで

### (8) 伝言板および「DENGON」

対象 ..... 塾生間の連絡用

手続 ..... 窓口に申し出て「掲示物受付簿」を記入

備考 ..... A4 用紙 1 枚のみ掲示可能



### (9) 車輛入構の申請

塾生の車輛入構は認められていません。やむを得ず車輛入構の必要がある場合のみ下欄を参照してください。

手続 …… 窓口に「届出書」を提出

申込期日 …… 入構希望日の4日前(土・日・祝日を除く)まで

### (10) 大学生生活懇談会

講演会や見学会をはじめ、スキー企画等さまざまな催物を随時開催しています。企画内容については構内のチラシやポスター、学生総合センターホームページを参照してください。

### (11) 配布物・閲覧物関係

財団法人セミナーハウスの利用案内や展覧会等の割引券・招待券が置いてあります。また、ボランティア募集や公募関係の案内もファイル等で公開しています。

## 3 遺失物の取扱い

届出のあった遺失物は、学生総合センター学生生活支援窓口にて保管しています。

ただし、学生証のみの拾得については、学事センター(総合窓口)にて保管します(学生証が、財布や定期入れ等に入っている場合は、学生総合センターで保管されます)。

## 4 奨学金

### (1) 「奨学金案内」

学生総合センターで「奨学金案内」を配布し、「奨学金案内」にて別途詳細を案内しています。「奨学金案内」は、概ね4月初旬に配布し、配布後に随時出願受付を行います。

### (2) 主な奨学金の概略

募集日程は、その都度西校舎1階中央ホール学生総合センター掲示板に掲示します。

慶應義塾大学奨学金〔給付〕

5月下旬に出願受付を行います。

慶應義塾大学特別奨学金〔給付〕

家計支持者の死亡・失職等により家計状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になった者を援助することを目的とします。年2回出願受付を行います。

慶應義塾維持会奨学金〔給付〕

募集は4月に行います。

指定寄付奨学金〔給付〕

募集は主に4月に行います。

日本学生支援機構奨学金〔貸与〕

4月上旬から中旬に出願受付を行います。第一種(無利子)と、第二種(有利子)があり、その他に家計急変者を対象とした緊急採用(第一種)・応急採用(第二種)もあります。

地方公共団体、社・財団法人等の各種奨学金〔給付・貸与〕

募集は主に4・5月に行います。

### (3) 奨学融資制度(利子給付奨学金制度付き学費ローン)

学生諸君の学費の調達の手助けになるよう配慮した制度で、学生本人に金融機関が低金利で学費を直接貸し出しする方式です。在学であれば、誰でも申請することが可能です。在学中の借りに伴う利子は、本人の申請に基づいて規程に従い、慶應義塾が奨学金として給付します。入学年度等により、適用制度が異なりますので、詳細は奨学金窓口までお問い合わせください。

## 5 就職・進路支援

就職・進路支援は、就職活動に関するさまざまな情報を収集して提供しています。企業からの求人票・説明会案内をはじめ、会社案内、OB・OG情報、インターンシップ情報等を、学生総合センター事務室、就職資料室にて、提供しています。また、keio.jp上から求人票や就職活動体験記を閲覧することもできます。

3年生に対しては、10月から2月にかけて多様な専門家等による講演会、就職ガイダンス、公務員志望者のための説明会、OB・OGや内定者によるパネルディスカッション等をキャンパス内で開催しています。また、就職活動の進め方を解説した『就職ガイドブック』を作成し、3年生全員に配布しています。皆さんが就職活動をする中でわからないこと、困ったこと等があった場合には、いつでも個別相談にも応じています。

## 6 学生相談室

学生相談室は、学生生活を送っていく中で出会うさまざまな事柄について、気軽に相談できる場所です。

相談には、可能な限りその場で応じますが、原則として予約制となります(電話予約可)。相談内容については、固く秘密を守ります。友人や家族と一緒に来談されても結構です。また、相談内容によっては、必要に応じて他部署・他機関への紹介も行います。また、学生相談室では、カウンセリングだけでなくより豊かで充実したキャンパスライフをおくれるよう、さまざまなグループ企画を用意しています。参加ご希望の方はお問い合わせください。

## 7 学生健康保険互助組合

保険証を提示し、病院や診療所で受診した場合、学生健保から医療費給付が受けられます。給付手続は、医療機関によって異なりますので、以下に従って手続してください。なお、給付方法は銀行振込（ゆうちょ銀行は不可）となりますので、口座登録が必要です。

- 慶應病院で受診した場合... 病院で診察を受ける際、保険証と学生証を提示してください。また「医療給付金振込口座届」を学生生活支援窓口へ提出し、振込口座を登録してください。通院は受診月の翌月 20 日に、入院は翌々月 20 日に給付金が振り込まれます。
- 一般病院で受診した場合... 学生生活支援窓口においてある「医療費領収証明書」に、病院で 1 か月ごとの診療内容を記入してもらい、塾生記入欄には各自記入して、学生生活支援窓口へ提出してください。ただし、「学生氏名」「保険点数または保険適用金額」「負担割合」の 3 点が明示された領収証が発行されている場合は領収証の添付でかまいませんが、必ず「医療費領収証明書」に保険者番号、傷病名等を記入して提出してください。受診月を含め、4 か月以内に提出されない場合は無効となります。振込日は証明書を提出した月の翌月 20 日です。

組合ではこのほか、契約旅館に対する宿泊費補助や、海の家、スキーハウスの開設等を行っています。また、日吉塾生会館内にトレーニングルームを設置しています。

その他、入学時に配布した「健保の手引き」でさまざまな案内をしていますので、詳細を確認してください。「健保の手引き」は学生総合センター窓口でも閲覧可能です。

## 8 学生教育研究災害傷害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために、大学で保険料の全額を負担し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。この保険の適用を受ける「教育研究活動中」とは次の場合をいいます。

### (1) 正課を受けている間

講義、実験・実習、演習または実技による授業（総称して以下「授業」といいます）を受けている間をいい、次に掲げる間を含みます。

指導教員の指示に基づき、卒業論文研究または学位論文研究に従事している間。ただし、もっぱら被保険者の私生活にかかわる場所において、これらに従事している間を除きます。

指導教員の指示に基づき、授業の準備もしくは後片付けを行っている間、または授業を行う場所、大学の図書館・資料室もしくは語学学習施設において研究活動を行っている間。

### (2) 学校行事に参加している間

大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式等の教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間。

### (3) (1) (2) 以外で学校施設内にいる間

大学が教育活動のために所有、使用または管理している施設内にいる間。ただし、寄宿舎にいる間、大学が禁じた時間もしくは場所にいる間、大学が禁じた行為を行っている間を除きます。

### (4) 学校施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間

大学の規則に則った所定の手続により、大学の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動または体育活動を行っている間。ただし山岳登山やハングラライダー等の危険なスポーツを行っている間を除きます。

保険金は本人（被保険者）の申請に基づき支払われますので、上記活動中に万一事故にあった場合は、学生生活支援窓口で相談のうえ、所定の手続を行ってください。また、本保険の適用が円滑に行われるよう、ゼミ合宿を学外で行う場合、および公認学生団体が学外で活動する場合は、その都度「学外行事届」を提出してください。その他この保険に関する詳細については、直接学生生活支援窓口で尋ねてください。

## 9 任意加入の補償制度

任意加入の補償制度としては、以下の 2 種類があります。資料請求や加入希望の場合は直接連絡をしてください。

### (1) 「学生総合補償制度」

(株)慶應学術事業会（慶應義塾関連会社）TEL 03 3453 3846

### (2) 「学生総合共済」・「学生賠償責任保険」

慶應生活協同組合 TEL 045 563 8489

## 定期健康診断

定期健康診断は学校保健法に基づいて全学年を対象に年 1 回実施しています。学則第 179 条にも「学生は毎年健康診断を受けなければならない」と定められていますので必ず受診してください。未受診の場合には「体育実技」の履修および健康診断証明書・学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）の発行はできません。

また学内における麻疹の集団感染を予防するために、母子健康手帳等を確認し、ワクチン未接種でかつ罹患したことがない方、あるいはワクチンを 1 回接種し 10 年以上経過した方は、かかりつけ医師と相談し、ワクチン接種を受けることをお勧めします。また、風疹・水痘（みずぼうそう）・流行性耳下腺炎（おたふく）等の感染症予防についてもかかりつけ医師とご相談ください。学内集団感染予防のため、ご協力ください。

**【2・3年生】**  
**（07学則）**



## 1 単位について

## (1) 講義科目

週1回半年の授業で2単位、週1回通年の授業で4単位、週2回半年の集中講義で4単位となります。

## (2) 語学科目・演習科目

週1回半年の授業で1単位、週1回通年の授業で2単位となります。

## (3) 自然科学の実験科目

講義と実験がセットになった授業を週1回半年履修すると3単位、週1回通年履修すると6単位となります。

## 2 卒業に必要な単位数

卒業するためには次の表に示してあるように合計128単位以上(英語を選択しない場合は130単位以上)を修得し、かつ卒業試験に合格しなければなりません。

科目	単位数	
総合教育科目	38 単位以上	人文科学系列 社会科学系列 自然科学系列 系列外科目 } 各系列最低 8 単位以上
必修語学科目	14 単位(14 単位語学専攻) 英語を選択しない場合 16 単位 または 18 単位(18 単位語学専攻) 英語を選択しない場合 20 単位	14 単位語学専攻: 国文学、中国文学、独文学、 仏文学 18 単位語学専攻: 上記 4 専攻以外すべての専攻
専門教育科目	76 単位以上(14 単位語学専攻) または 72 単位以上(18 単位語学専攻)	
合計	128 単位以上(英語を選択しない場合は 130 単位以上)	

## 3 科目の種類

## 【半期科目】

春学期か秋学期に週1コマ独立して開講される科目。半期ごとに履修可能。半期ごとに成績がつきます。

## 【セット科目】(時間割表では、科目名のうしろに(セ)と表記されます)

春学期・秋学期を通して開講される科目。半期のみの履修は不可。春学期・秋学期とも年度末に成績がつきます。  
なお、セット科目の評語は、春学期・秋学期ともに合格[A・B・C]か、または両方不合格[D・(未受験)]のいずれかです(春が合格で秋が不合格というような成績の組合せはありません)。

## 【通年科目】

1年間連続して週1コマ開講される科目。年度末に成績がつきます。

## 【要件科目】(時間割表では、科目名のうしろに(要)と表記されます)

春学期科目( )を修得しなければ、秋学期科目( )の履修が認められない科目(前年度以前に春学期科目( )を修得済みであれば、今年度秋学期科目( )のみの履修は認められます)。半期ごとに成績がつきます。  
**秋学期科目( )の履修申告も4月に行いますが、春学期科目( )が不合格[D・(未受験)]だった場合、秋学期科目( )の履修は自動的に削除されます。**

## 【半期集中科目】

半期に週2コマ開講される科目。半期ごとに成績がつきます。

## 4 必修語学科目および総合教育科目一覧

科目種別	分野番号	設置	授業科目名(単位)		三田設置科目は1年生履修不可 **は休講科目 *は言文研設置科目				
必修語学科目	10-10-11	1年	英語 (1)	英語 (1)					
	10-10-13	1年	英語 上級(1)	英語 上級(1)					
	10-10-14	1年	英語 初修(1)	英語 初修(1)					
	10-10-21	2年	英語 (1)	英語 (1)					
	10-10-23	2年	英語 上級(1)	英語 上級(1)					
	10-20-11	1年	ドイツ語 (1)	ドイツ語 (1)					
	10-20-12	1年	ドイツ語 中級(1)	ドイツ語 中級(1)					
	10-20-13	1年	ドイツ語 上級(1)	ドイツ語 上級(1)					
	10-20-21	2年	ドイツ語 (1)	ドイツ語 (1)					
	10-30-11	1年	フランス語 (1)	フランス語 (1)					
	10-30-12	1年	フランス語 中級(1)	フランス語 中級(1)					
	10-30-21	2年	フランス語 A(1)	フランス語 B(1)	フランス語 A(1)	フランス語 B(1)			
	10-40-11	1年	中国語 (1)	中国語 (1)					
	10-40-12	1年	中国語 中級(1)	中国語 中級(1)					
	10-40-21	2年	中国語 A(1)	中国語 B(1)	中国語 A(1)	中国語 B(1)			
	10-40-23	2年	中国語 上級A(1)	中国語 上級B(1)	中国語 上級A(1)	中国語 上級B(1)			
	10-50-11	1年	スペイン語 (1)	スペイン語 (1)					
	10-50-21	2年	スペイン語 (1)	スペイン語 (1)					
	10-60-11	1年	イタリア語 (1)	イタリア語 (1)					
	10-60-21	2年	イタリア語 A(1)	イタリア語 B(1)	イタリア語 A(1)	イタリア語 B(1)			
	10-70-11	1年	朝鮮語 (1)	朝鮮語 (1)					
	10-70-21	2年	朝鮮語 (1)	朝鮮語 (1)					
	10-80-11	1年	ロシア語 (1)	ロシア語 (1)					
	10-80-21	2年	ロシア語 (1)	ロシア語 (1)					
	10-90-11	1年	日本語 A(1) 日本語 A(1)	日本語 B(1) 日本語 B(1)	日本語 C(1) 日本語 C(1)				
	10-90-21	2年	日本語 A(1)	日本語 B(1)	日本語 A(1)	日本語 B(1)			
	10-91-21	2年	アラビア語 (1) トルコ語 (1) ペルシア語 (1)	アラビア語 (1) トルコ語 (1) ペルシア語 (1)	アラビア語 (1) トルコ語 (1) *ペルシア語初級 (1)	アラビア語 (1) トルコ語 (1) *ペルシア語初級 (1)			
	2種類の語学を選択	人文科学系列8単位以上							
		20-10-10	日吉	音楽 (2) 言語学 (2) 哲学 (2) 文学 (2) 倫理学 (2) 論理学 (2)	音楽 (2) 言語学 (2) 哲学 (2) 文学 (2) 倫理学 (2) 論理学 (2)	**音楽(4) 言語学(4) **哲学(4) 文学(4) **倫理学(4) **論理学(4)	**漢文 (2) 国語国文 (2) 美術 (2) 文化人類学 (2) 歴史 (2)	**漢文 (2) 国語国文 (2) 美術 (2) 文化人類学 (2) 歴史 (2)	漢文(4) 国語国文(4) **美術(4) **文化人類学(4) **歴史(4)
			三田	美術 (2) 歴史 (2)	美術 (2) 歴史 (2)	**美術(4) **歴史(4)			
20-10-20		日吉	人文科学特論 (2)	人文科学特論 (2)	人文科学特論(4)				
社会科学系列8単位以上									
20-20-10		日吉	教育学 (2) 経済学 (2) 政治学 (2) 法学 (憲法を含む) X2)	教育学 (2) 経済学 (2) 政治学 (2) 法学 (憲法を含む) X2)	**教育学(4) **経済学(4) **政治学(4) 法学 (憲法を含む) X2)	近代思想史 (2) 社会学 (2) 地理学 (2) **法学(憲法を含む) X4)	近代思想史 (2) 社会学 (2) 地理学 (2) **法学(憲法を含む) X4)	**近代思想史(4) 社会学(4) 地理学(4) **法学(憲法を含む) X4)	
		三田	近代思想史 (2) 経済学 (2) 法学 (憲法を含む) X2)	近代思想史 (2) 経済学 (2) 法学 (憲法を含む) X2)	**近代思想史(4) **経済学(4) **法学(憲法を含む) X4)				
20-20-20		日吉	社会科学特論 (2)	社会科学特論 (2)	社会科学特論(4)				
自然科学系列8単位以上									
20-30-10		日吉	心理学 (2) 数学 (2) **天文学 (2) 化学 (実験を含む) X3) 生物学 (実験を含む) X3)	心理学 (2) 数学 (2) **天文学 (2) 化学 (実験を含む) X3) 生物学 (実験を含む) X3)	**心理学(4) **数学(4) 天文学(4) 化学 (実験を含む) X3) 物理学 (実験を含む) X3)	**人類学 (2) 地学 (2) 生命の科学(2)	**人類学 (2) 地学 (2) 生物学 (実験を含む) X3) 物理学 (実験を含む) X3)	人類学(4) **地学(4) 生物学(4) 物理学(4)	
		三田	基礎化学(2) 数学 (2) 統計学 (2)	人類学 (2) 数学 (2) 統計学 (2)	人類学 (2) **数学(4) **統計学(4)	**人類学(4) 生命科学概論(2)			
20-30-20		日吉	自然科学特論 (2)	自然科学特論 (2)	**自然科学特論(4)				

		系列外科目			
		20-40-10	日吉	基礎情報処理(2) 総合教育セミナー (2)	書物の世界 (2) 朝鮮文化・文学の歴史 (2)
	三田	基礎情報処理(2) 芸術と文明(2) 人の尊厳(2)	映画演劇論 (2) 現代芸術 (2) ロシア文学 (2)	映画演劇論 (2) 現代芸術 (2) ロシア文学 (2)	映画演劇論 (2) 詩学 (2) 詩学 (2)
20-40-20	日吉	イタリア語入門 (1) 英語インテンシブ A(1) 朝鮮語既習 (1) ドイツ語会話中級 (1) ラテン語中級 (1)	イタリア語入門 (1) 英語インテンシブ B(1) 朝鮮語既習 (1) ドイツ語会話中級 (1) ラテン語中級 (1)	英語インテンシブ A(1) 古典ギリシア語初級 (1) ドイツ語会話初級 (1) ラテン語初級 (1)	英語インテンシブ B(1) 古典ギリシア語初級 (1) ドイツ語会話初級 (1) ラテン語初級 (1)
	三田	アラビア語 (1) イタリア語初級A (1) イタリア語初級B (1) イタリア語中級A (1) 英語インテンシブ A(1) 英語インテンシブ A(1) 古典ギリシア語初級 (1) 現代ギリシア語初級 (1) スペイン語初級 (1) 中国語初級 (1) 中国語会話 (1) 朝鮮語上級 (1) トルコ語 (1) 日本語 A(1) ペルシア語 (1) ラテン語中級 (1) ロシア語中級 (1)	アラビア語 (1) イタリア語初級B (1) **イタリア語初級C (1) イタリア語中級B (1) 英語インテンシブ B(1) 英語インテンシブ B(1) 古典ギリシア語初級 (1) 現代ギリシア語初級 (1) スペイン語初級 (1) 中国語初級 (1) 中国語会話 (1) 朝鮮語上級 (1) トルコ語 (1) 日本語 B(1) ペルシア語 (1) ラテン語中級 (1) ロシア語中級 (1)	アラビア語 (1) **イタリア語初級C (1) イタリア語中級A (1) イタリア語上級 (1) 英語インテンシブ C(1) 英語インテンシブ C(1) 古典ギリシア語中級 (1) 現代ギリシア語中級 (1) スペイン語中級 (1) 中国語会話 (1) 朝鮮語初級 (1) ドイツ語初級 (1) トルコ語 (1) 日本語 A(1) ラテン語初級 (1) ロシア語初級 (1)	アラビア語 (1) イタリア語初級A (1) イタリア語中級B (1) イタリア語上級 (1) 英語インテンシブ D(1) 英語インテンシブ D(1) 古典ギリシア語中級 (1) 現代ギリシア語中級 (1) スペイン語中級 (1) 中国語会話 (1) 朝鮮語初級 (1) ドイツ語初級 (1) トルコ語 (1) 日本語 B(1) ラテン語初級 (1) ロシア語初級 (1)
20-40-30		教授会の認める各学部の総合教育相当科目			
教授会の認める次の研究所等付属施設の授業科目または講座					
20-50-10		体育研究所設置講座(講義)	体育学講義(2)	体育学演習(1)	
20-50-11		体育研究所設置講座(実技)	体育実技A(1)	体育実技B(1)	
20-50-20		国際センター(日吉設置科目・講座)			
20-50-30		情報処理教育室設置講座			
20-50-40		教養研究センター			
20-50-50以降		その他の研究所等付属施設 (外国語教育研究センター特設科目、保健管理センター科目)			
自由科目(卒業および進級単位にはなりません)					
99-99-99		文学部の時間割にない他学部設置の総合教育科目 同一科目を重複して履修する場合(専攻内規で許可されている場合を除く) 外国語教育研究センター オープン科目 教職課程センター設置「教育実習」「教育実習」「教育実習基礎」「教職・介護等体験」 など			

(注1) 科目名のあとの( )内は単位数を表します。例えば、「哲学(4)」は、総合教育科目の人文科学系列で4単位の科目です。

(注2) 時間割表に掲載のない科目は開講しておりませんので注意してください。

(注3) 分野とは卒業・進級に必要な科目を学則や専攻内規に基づいて分類したもので、下例のように6桁の分野番号(分野コード)で表されます。

《例1》10 - 10 - 11

《例2》30 - 01 - 11

必修 英語 設置地区またはレベル等  
語学

専門 哲学 必修  
科目 専攻 科目

分野番号の体系は、学則(07学則・04学則)や学年、専攻によって異なります。

## 5 必修語学科目

必修語学科目は、進級および卒業にあたって必ず履修しなければならない科目です。

- (1) 指定された必修語学を履修し、合格することが3年生への進級条件です。
- (2) クラス指定のある科目は、時間割どおりに履修してください。

### 必修語学の進級条件

		語 種	英語とそれ以外の1語種を履修する場合	英語以外の2語種を履修する場合		
1年		英語	4単位			
		ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語・ロシア語・スペイン語・イタリア語 日本語(留学生)	6単位	6単位	6単位	
		小計	10単位	12単位		
		語 種(専攻により異なる)	必修語学		必修語学	
2年	1語種	国文学	4単位		4単位	
		中国文学				中国語
		独文学				ドイツ語
		仏文学				フランス語
	2語種	哲学系・史学系各専攻、 英米文学専攻、図書館・情報学 専攻、人間関係学系各専攻	1年次履修した語種と同一の2語種(*)	4単位 4単位	4単位 4単位	
	小計	4単位	8単位	4単位	8単位	
		1年・2年 合計	14単位	18単位	16単位	20単位

(\*) 東洋史学専攻の学生は、1年生で履修した2語種のうち、1語種をアラビア語、ペルシア語、トルコ語のうちいずれか一つに振り替えることができます。詳細は東洋史学専攻ガイダンスまたは履修案内(東洋史学専攻)で確認してください。

(注) 2年生の必修語学履修については、P. 40【専攻における語学履修諸注意】を必ず確認してください。

## 6 総合教育科目

卒業までに38単位以上(内訳として、人文科学系列、社会科学系列、自然科学系列それぞれ8単位以上)を取得してください。

- (1) 同一名称科目(同一単位数)が日吉と三田に設置されていますが、講義内容に水準の差はありません。
- (2) 化学(実験を含む)・化学(実験を含む)、生物学(実験を含む)・生物学(実験を含む)、物理学(実験を含む)・物理学(実験を含む)は、2時限連続180分授業で行われ、半期で3単位が取得できます。は春学期、は秋学期科目です。

履修希望者は、希望する時限の第1回目の授業時間のガイダンス(前半)に出席してください。詳細は、履修案内(日吉キャンパス1年生)をご確認ください。

## 7 総合教育科目の系列外科目

総合教育科目の系列外科目として以下の科目を含みます。

- (1) 必修として履修しない語学科目(学則第34条:分野10-10-11~10-91-21)  
但し、ドイツ語Ⅰ・(D)・フランス語Ⅰ・(D)・中国語Ⅰ・(D)・スペイン語Ⅰ・(D)・イタリア語Ⅰ・(D)・朝鮮語Ⅰ・(D)・ロシア語Ⅰ・(D)は系列外科目として履修することはできません。
- (2) 教授会の認める各学部設置の総合教育相当科目



他学部設置少人数セミナー形式授業（日吉キャンパス）

自由研究セミナー(2ㄩ経)	自由研究セミナーa/b(各2ㄩ経)	自然科学研究会(2ㄩ法)
自然科学研究会(2ㄩ法)	人文科学特論(2ㄩ法)	人文科学特論(2ㄩ法)
自然科学総合講座(2ㄩ法)	自然科学総合講座(2ㄩ法)	総合教育セミナーD(4ㄩ商)
総合教育セミナーS(2ㄩ商)	総合教育セミナー(2ㄩ理)	総合教育セミナー(2ㄩ理)

(3) 教授会の認める次の研究所等附属施設の授業科目または講座

体育研究所（総合教育科目の系列外として履修できるのは合計4単位まで）

国際センター（日吉設置科目・講座）

情報処理教育室

教養研究センター

履修の手続等に関しては、各研究所設置講座の履修要領、講義要綱およびガイダンス等を参考にしてください。

(4) 本年度教授会の認める総合教育科目（系列外科目）

三田キャンパス設置科目

死と再生(2)	死と再生(2)
---------	---------

日吉キャンパス設置科目（履修にあたっての特別な手続・所定用紙は必要ありません）

科学と社会(2単位、半期)	経済人類学(2単位、半期)	経済人類学(2単位、半期)
ジェンダー論I(2単位、半期)	ジェンダー論II(2単位、半期)	宗教学(4単位、通年)
宗教学I(2単位、半期)	宗教学II(2単位、半期)	女性学(2単位、半期)
地域研究-スペイン事情I(2単位、半期)	地域研究-スペイン事情II(2単位、半期)	地域研究-中国事情I(2単位、半期)
地域研究-中国事情II(2単位、半期)	地域研究-中国事情III(2単位、半期)	地域研究-中国事情IV(2単位、半期)
地域研究-北米事情I(2単位、半期)	地域研究-北米事情II(2単位、半期)	地域生態文化論(2単位、半期)
中国事情(2単位、半期)	21世紀の実学(2単位、半期)	比較文化論(4単位、通年)
表象文化論(4単位、通年)	民族文化論(2単位、半期)	科学技術と現代社会(2単位、半期)
動物行動学(2単位、半期)	医療・福祉の行政(2単位、半期)	バリアフリー/ユニバーサル・デザイン入門(2単位、半期)
バリアフリー/ユニバーサル・デザイン入門(2単位、半期)	東アジア宗教文化概論(2単位、半期)	東アジア宗教文化概論(2単位、半期)
フランス事情(2単位、半期)	フランス事情(2単位、半期)	

外国語教育研究センター特設科目（日吉・三田）

履修可能な科目は「文学部時間割表」に掲載されている科目のみとなります。

福澤研究センター設置科目（日吉）

保健管理センター設置科目（日吉・三田）

平成20年度国際センター春季在外研修プログラム

平成21年度国際センター夏季在外研修プログラム

平成20年度外国語教育研究センター主催海外研修プログラム

～ の科目は、文学部時間割表、諸研究所設置時間割表を参照してください。

～ の科目は、国際センター・外国語教育研究センターで登録番号を確認して、履修申告してください。履修申告がない場合は、単位はつきません。

、については、平成20年度（平成21年2～3月）の研修の単位が、平成21年度春学期の単位として認定されます。なお、平成20年度に卒業・退学した者については、単位は認定されません。

8 専門教育科目（選択科目としても履修できる科目）

(1) 学則第 35 条に定める文学部設置の専門教育科目

哲学系	哲学倫理学原典講読 (2)	哲学倫理学原典講読 (2)	哲学概論 (2)	哲学概論 (2)	西洋哲学倫理学史 (2)
	西洋哲学倫理学史 (2)	西洋哲学倫理学史 (2)	西洋哲学倫理学史 (2)	論理学入門 (2)	論理学入門 (2)
	科学の哲学 (2)	科学の哲学 (2)	中級論理学 (2)	中級論理学 (2)	知識の哲学 (2)
史学系	知識の哲学 (2)	形而上学 (2)	形而上学 (2)	現代論理学の諸問題 (2)	現代論理学の諸問題 (2)
	心の哲学 (2)	心の哲学 (2)	言語の哲学 (2)	言語の哲学 (2)	現象学 (2)
	現象学 (2)	宗教の哲学 (2)	宗教の哲学 (2)	哲学原典研究 (2)	哲学原典研究 (2)
	哲学原典研究 (2)	哲学原典研究 (2)	哲学原典研究 (2)	哲学原典研究 (2)	哲学原典研究 (2)
	哲学原典研究 (2)	哲学倫理学特殊 (2)	哲学倫理学特殊 (2)	哲学研究会 (1)	哲学研究会 (1)
	哲学研究会 (1)	哲学研究会 (1)	印度哲学 (2)	印度哲学 (2)	宗教学 (2)
	宗教学 (2)				
	倫理学概論 (2)	倫理学概論 (2)	倫理学の基礎 (2)	倫理学の基礎 (2)	哲学倫理学原典講読 (2)
	哲学倫理学原典講読 (2)	西洋哲学倫理学史 (2)	西洋哲学倫理学史 (2)	西洋哲学倫理学史 (2)	西洋哲学倫理学史 (2)
	倫理学の課題 (2)	倫理学の課題 (2)	倫理学の課題 (2)	倫理学の課題 (2)	哲学概論 (2)
哲学概論 (2)	哲学倫理学特殊 (2)	哲学倫理学特殊 (2)	日本倫理思想 (2)	日本倫理思想 (2)	
東洋倫理思想 (2)	東洋倫理思想 (2)	キリスト教概論 (2)	キリスト教概論 (2)	倫理学研究会 (1)	
倫理学研究会 (1)	倫理学研究会 (1)	倫理学研究会 (1)	倫理学洋書講読 (2)	倫理学洋書講読 (2)	
中国哲学 (2)					
芸術研究基礎 (1)	芸術研究基礎 (1)	美学美術史学原典講読 (1)	美学美術史学原典講読 (1)	美学美術史学演習 (1)	
美学美術史学演習 (1)	美学美術史学原典講読 (1)	美学美術史学原典講読 (1)	美学概論 (2)	美学概論 (2)	
芸術学(2)	東洋美術史概説 (2)	東洋美術史概説 (2)	西洋美術史概説 (2)	西洋美術史概説 (2)	
西洋音楽史概説 (2)	西洋音楽史概説 (2)	美学特殊 (2)	美学特殊 (2)	美術史特殊 (2)	
美術史特殊 (2)	音楽史特殊 (2)	音楽史特殊 (2)	美学美術史学研究会 (1)	美学美術史学研究会 (1)	
美学美術史学研究会 (1)	美学美術史学研究会 (1)				
文学系	日本史史料講読 (1)	日本史史料講読 (1)	史学概論 (2)	史学概論 (2)	日本史概説 (2)
	日本史概説 (2)	日本史概説 (2)	日本史概説 (2)	古文書学 (2)	古文書学 (2)
	古文書学 (2)	古文書学 (2)	日本史特殊 (2)	日本史特殊 (2)	日本史演習 (1)
	日本史演習 (1)	日本史研究会 (1)	日本史研究会 (1)	日本史研究会 (1)	日本史研究会 (1)
	日本史洋書講読 (1)	日本史洋書講読 (1)			
	東洋史研究入門 (1)	東洋史研究入門 (1)	東洋史講読 (1)	東洋史講読 (1)	東洋史概説 (2)
	東洋史概説 (2)	東洋史概説 (2)	東洋史概説 (2)	東洋史概説 (2)	東洋史概説 (2)
	東洋史特殊 (2)	東洋史特殊 (2)	史学概論 (2)	史学概論 (2)	東洋史研究会 (1)
	東洋史研究会 (1)	東洋史研究会 (1)	東洋史研究会 (1)	東洋史演習 (1)	東洋史演習 (1)
	史学概論 (2)	史学概論 (2)	西洋史学原典講読 (1)	西洋史学原典講読 (1)	西洋史演習 (1)
西洋史演習 (1)	西洋史概説 (2)	西洋史概説 (2)	西洋史概説 (2)	西洋史概説 (2)	
西洋史概説 (2)	西洋史概説 (2)	西洋史特殊 (2)	西洋史特殊 (2)	西洋史研究会 (1)	
西洋史研究会 (1)	西洋史研究会 (1)	西洋史研究会 (1)			
民族学考古学原典講読 (2)	民族学考古学原典講読 (2)	史学概論 (2)	史学概論 (2)	民族学考古学研究法 (1)	
民族学考古学研究法 (1)	民族学考古学研究法 (1)	民族学考古学研究法 (1)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	
民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	
民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	
民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	
民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	民族学考古学特殊 (2)	
考古学 (2)	民族学 (2)	民族学 (2)	民族学 (2)	人類学概論 (2)	
人類学概論 (2)	民族学考古学研究会 (1)	民族学考古学研究会 (1)	民族学考古学研究会 (1)	民族学考古学研究会 (1)	
国文学原典講読 (1)	国文学原典講読 (1)	国語学 (2)	国語学 (2)	国語学 (2)	
国語学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	
国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	
国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	
国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	国文学 (2)	
国文学史 (2)	国文学史 (2)	国文学史 (2)	国文学史 (2)	国文学史 (2)	
国文学史 (2)	国文学史 (2)	国文学史 (2)	国文学史 (2)	国文学史 (2)	
国文学演習 (1)	国文学演習 (1)	国文学演習 (1)	国文学演習 (1)	国文学演習 (1)	
国文学演習 (1)	国文学演習 (1)	国文学演習 (1)	国文学演習 (1)	国文学演習 (1)	
国語学演習 (1)	国語学演習 (1)	日本語文法 (1)	日本語文法 (1)	漢文講読 (1)	
漢文講読 (1)	国文学研究会 (1)	国文学研究会 (1)	日本語学 (2)	日本語学 (2)	
日本語教授法 (2)	日本語教授法 (2)				
中国古典文学史 (2)	中国古典文学史 (2)	中国現代文学史 (2)	中国現代文学史 (2)	中国語学概論 (2)	
中国語学概論 (2)	中国文学特殊 (2)	中国文学特殊 (2)	中国語学特殊 (2)	中国語学特殊 (2)	
中国語表現演習 (1)	中国語表現演習 (1)	中国語表現演習 (1)	中国語表現演習 (1)	中国語表現演習 (1)	
中国語表現演習 (1)	中国語表現演習 (1)	中国語表現演習 (1)	中国語表現演習 (1)	中国語表現演習 (1)	
中国文学演習 (1)	中国文学演習 (1)	中国文学演習 (1)	中国文学演習 (1)	中国文学演習 (1)	
中国文学演習 (1)	中国文学演習 (1)	中国文学演習 (1)	中国文学演習 (1)	中国文学演習 (1)	
中国語学・中国文学研究会 (1)	中国語学・中国文学研究会 (1)	中国語学・中国文学研究会 (1)	中国語学・中国文学研究会 (1)	中国語学・中国文学研究会 (1)	



人間関係学系	社会学特殊 (2) 社会学特殊 (2) 社会学特講 (2) 社会学研究会 (1) 社会学洋書講読 (1)	社会学特殊 (2) 社会学特殊 (2) 社会学特講 (2) 社会学研究会 (1) 社会学洋書講読 (1)	社会学特殊 (2) 社会学特講 (2) 社会学特講 (2) 社会学研究会 (1)	社会学特殊 (2) 社会学特講 (2) 社会学特講 (2) 社会学原典講読 (1)	社会学特殊 (2) 社会学特講 (2) 社会学研究会 (1) 社会学原典講読 (1)
	知覚心理学 (2) 行動分析学 (2) 心理測定論(2) 心理学原典講読 (1) 心理学研究会 (1) 認知心理学特殊(2) 心理学特殊 (2)	知覚心理学 (2) 認知心理学 (2) 心理学史(2) 心理学実験 (2) 心理学研究会 (1) 生物心理学特殊(2) 心理学特殊 (2)	発達心理学 (2) 認知心理学 (2) 心理統計 (2) 心理学実験 (2) 知覚心理学特殊(2) 心理学特殊 (2) 臨床心理学 (2)	発達心理学 (2) 生物心理学 (2) 心理統計 (2) 心理学研究会 (1) 発達心理学特殊(2) 心理学特殊 (2) 臨床心理学 (2)	行動分析学 (2) 生物心理学 (2) 心理学原典講読 (1) 心理学研究会 (1) 行動分析学特殊(2) 心理学特殊 (2)
	教育学概論 (2) 教育史 (2) 教育心理学概論 (2) 教育学演習 (1) 教育学特殊E(2) 教育学特殊 J (2) 教育学特殊 O (2) 教育学研究会 (1) 教育学文献研究E(2) 教育研究法 (2)	教育学概論 (2) 教育学史 (2) 教育心理学概論 (2) 教育学特殊A(2) 教育学特殊F(2) 教育学特殊 K (2) 教育学特殊 P (2) 教育学文献研究A(2) 教育学文献研究F(2)	教育学原典講読 (1) 教育学史 (2) 教育学演習 (1) 教育学特殊B(2) 教育学特殊G(2) 教育学特殊 L (2) 教育学研究会 (1) 教育学文献研究B(2) 教育測定実験 (2)	教育学原典講読 (1) 比較教育学 (2) 教育学演習 (1) 教育学特殊C(2) 教育学特殊H(2) 教育学特殊M(2) 教育学研究会 (1) 教育学文献研究C(2) 教育測定実験 (2)	教育史 (2) 比較教育学 (2) 教育学演習 (1) 教育学特殊D(2) 教育学特殊 I (2) 教育学特殊 N(2) 教育学研究会 (1) 教育学文献研究D(2) 教育研究法 (2)
	人間科学基礎(2) 人間科学諸領域 (2) 人間科学演習(2) 人間科学特殊 (2) 人間科学研究会 (1)	人間科学研究法基礎(2) 人間科学研究法(2) 人間科学演習 (1) 人間科学特殊 (2) 人間科学卒業研究(2)	人間科学諸領域 (2) 人間科学研究法(4) 人間科学演習 (1) 人間科学研究会 (1)	人間科学諸領域 (2) 人間科学研究法 (2) 人間科学特殊(2) 人間科学研究会 (1)	人間科学諸領域 (2) 人間科学研究法 (2) 人間科学特殊(4) 人間科学研究会 (1)

(2) 学則第 35 条に定める文学部設置の全専攻共通科目

全専攻共通科目	教育学概論(学芸員)(2) 文化財科学 (2) 博物館学実習 (2) 博物館学特殊 (2) 博物館学特殊 (2) 応用情報処理 (2) 応用情報処理 (2) 言語学概論 (2) 言語学概論 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 中国語会話特殊 (1) 西洋古典研究会 (1) 古典ギリシア語文献講読 (1) ロシア語文献講読 (1) イタリア文学演習 (1) 自然科学研究会 (1) カウンセリングワークショップ (2) 芸術の現在 (2) ドイツ語名著研究 (1) 演劇の歴史 (2) 音楽学 (2) 論文フランス語 (初級)(1) 比較精神史 (2)	生涯学習概論(2) 文化財科学 (2) 博物館学実習 (2) 博物館学特殊 (2) 漢文講読 (1) 応用情報処理 (2) 応用情報処理 (2) 言語学概論 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 中国語会話特殊 (1) 西洋古典研究会 (1) 現代ギリシア語文献講読 (1) ロシア語文献講読 (1) スペイン語圏文化研究 (1) 自然科学研究会 (1) アート・マネジメント (2) 芸術の現在 (2) フランス語名著研究 (1) 演劇の歴史 (2) 英書講読 (1) 論文フランス語 (初級)(1) 環境問題と大学(2)	視聴覚教育メディア論(2) 博物館学 (2) 博物館学実習 (2) 博物館学特殊 (2) 漢文講読 (1) 応用情報処理 (2) 情報と職業(2) 言語学概論 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 中国語会話特殊 (1) 古典ギリシア語文献講読 (1) 現代ギリシア語文献講読 (1) イタリア語文献講読 (1) スペイン語圏文化研究 (1) カウンセリング概論 (2) アート・マネジメント (2) 仏教学概論 (2) フランス語名著研究 (1) 音楽学 (2) 英書講読 (1) 論文フランス語 (中級)(1) 文章と表現 (2)	文化財科学 (2) 博物館学 (2) 博物館学特殊 (2) 博物館学特殊 (2) 漢文講読 (1) 応用情報処理 (2) 情報と倫理 (2) 言語学概論 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 西洋古典学 (2) 古典ギリシア語文献講読 (1) ラテン語文献講読 (1) イタリア語文献講読 (1) 自然科学研究会 (1) カウンセリング概論 (2) アート・プロデュース (2) 仏教学概論 (2) 比較文学 (2) 音楽学 (2) デジタル書物学 (2) 論文フランス語 (中級)(1) 文章と表現 (2)	文化財科学 (2) 博物館学実習 (2) 博物館学特殊 (2) 博物館学特殊 (2) 漢文講読 (1) 応用情報処理 (2) 情報と倫理 (2) 言語学概論 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 言語学特殊 (2) 中国語会話特殊 (1) 西洋古典学 (2) 古典ギリシア語文献講読 (1) ラテン語文献講読 (1) イタリア文学演習 (1) 自然科学研究会 (1) カウンセリングワークショップ (2) アート・プロデュース (2) ドイツ語名著研究 (1) 比較文学 (2) 音楽学 (2) デジタル書物学 (2) 比較精神史 (2)
---------	--	---	--	--	---

### (3) 本年度教授会の認める専門教育科目（全専攻共通科目）

三田キャンパス設置科目

文献学の世界（2）	辞書・事典（2）
-----------	----------

極東証券寄付講座

アート・センター設置科目

クリエイティブ産業研究（2）	クリエイティブ産業研究（2）
----------------	----------------

### (4) 本大学設置の専門教育科目

教授会の認める各学部設置の専門教育相当科目

必ず以下の専門教育相当科目かどうか各学部の履修案内で確認し、授業担当者の口頭による承認を得てください。  
また、複数の学則がある学部については、最新学則の科目を履修してください。

学部	学則	専門教育相当科目
経済学部	05	専門教育科目
法学部	57	法律学科目、政治学科目
商学部	05	専攻科目
理工学部	96	専門教育科目
総合政策学部	07	先端導入科目、先端開拓科目
環境情報学部	07	先端導入科目、先端開拓科目
看護医療学部	09	専門教育科目

教授会の認める研究所等付属施設の授業科目または講座

言語文化研究所、教職課程センター<sup>1</sup>、斯道文庫、メディア・コミュニケーション研究所、国際センター（三田）<sup>2</sup>、日本語・日本文化教育センター、知的資産センター、福澤研究センター（三田）設置の授業科目または講座

#### 1 教職課程センター設置科目の履修上の注意事項

教職課程センターの指示に従い、教職課程センターで教職課程の登録をすると同時に、**文学部の科目として履修申告を行わなければなりません。**

2 ただし、国際センター設置の春季・秋季の在外研修は総合教育科目（系列外）となります。

### (5) 文学部教職課程教科に関する科目

書道 (4)	法学概論 (2)	政治学 I (2)	政治学 II (2)	口語英語 (2)
英作文 (2)	比較文化論 (2)			

## 9 自由科目

進級および卒業に必要な単位としては計算されません。

- (1) 同一科目を重複して履修する場合は、専攻別内規で許可されている場合を除き、どちらか一方を自由科目の B 欄分野番号【99】を指定のうえ登録してください。詳細は「B 欄による申告方法」を参照してください。
- (2) 自由科目として取得した科目を後から必修語学科目・総合教育科目・専門教育科目に変更することはできません。
- (3) 教職課程センター設置の「教育実習 I」、「教育実習 II」、「教育実習基礎」、「教職介護等体験」は、自由科目となります。

## 1 一般的注意事項

## 【学則について】

学則とは、学校が制定する諸規程のうち学務に関する事項、入学・退学・卒業、学生の身分に関する取扱い、入学試験、学位、そして教育課程に関する事項について規定したものをいいます。

今年度の文学部は、2004年度(平成16年度)に制定された【04学則】と、2007年度(平成19年度)に制定された【07学則】の2種類の学則が適用されます。【04学則】と【07学則】の適用対象者は、以下のとおりです。

**【04学則】：2009年度4年生在籍者**

**【07学則】：2009年度1・2・3年生在籍者**

## 【同一科目の重複履修】

原則として、単位を取得した同一名称の科目を必修科目、選択科目として2度以上履修することはできません。しかし、所属する専攻によっては、専攻別内規に示す範囲で2度以上の履修が認められる場合があります。詳しくは各専攻内規を確認のうえ、各専攻の専攻担任に問い合わせてください。

## 【分野変更】

一度履修・修得・認定した科目の分野は変更できません。

## 【留学】

在学中に留学する場合は、留学前および帰国後に、専攻担任および学事センターから履修科目に関するガイダンスを受けてください。(P.10参照)

## 【専攻変更】

原則として認められません。ただし、真にやむを得ない理由のある場合に限り、教授会の議を経て認められる場合があります。これに関わる問題については、学事センターおよび専攻担任に申し出て指示を受けてください。

## 2 2年生への注意事項

## 【2年生から3年生への進級条件】

- (1) 学則に定められた各専攻別必修語学の総単位数を満たすこと。(P.34参照)
- (2) 各専攻で進級条件に定められた専門教育科目を履修し、合格すること。

## 【専攻における語学履修諸注意】

- (1) 哲学系各専攻、日本史学・西洋史学・民族学考古学専攻、英米文学専攻、図書館・情報学専攻、人間関係学系各専攻  
1年次に履修した2語種を各4単位履修してください。
- (2) 東洋史学専攻  
1年次に履修した2語種のどちらかに代えて、アラビア語、ペルシア語、トルコ語のいずれかを必修語学の語種として履修することができます。東洋史学専攻内規を熟読し、専攻担任の許可を受けたうえで履修申告してください。
- (3) 国文学専攻  
1年次に履修した2語種のうち、いずれか1語種を履修してください。
- (4) 中国文学・独文学・仏文学専攻  
1年次に履修した2語種のうち、専攻関連語学(中文：中国語、独文：ドイツ語、仏文：フランス語)を1語種4単位履修してください。  
所属専攻の専攻関連語学を1年次に履修しなかった学生は、授業開始に先立って、専攻別ガイダンスで必ず専攻担任に相談してください。

## 【1年次必修語学科目履修単位不足者】

- (1) 原則として、日吉設置の語学科目は履修できません。
- (2) 各語種については、以下の要領で三田設置の科目を履修してください。  
英語：4月2日(木)の「英語ガイダンス」に出席し、指示に従って履修申告してください。  
他言語：ドイツ語Ⅰ・(D)、フランス語Ⅰ・(D)、中国語Ⅰ・(D)、スペイン語Ⅰ・(D)、イタリア語Ⅰ・(D)、朝鮮語Ⅰ・(D)、ロシア語Ⅰ・(D)の中から履修してください。

## 【他学部設置の専門教育科目】

他学部設置の専門教育科目は、上級学年(3・4年生)設置科目のため、2年生は履修できません。

## 3 2年生での必修語学の履修方法

2年生で英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・イタリア語を履修するものは、事前に「エントリーシート」による語学クラス選択申請が必要です。不明な点は、まずこの「履修案内」を熟読してください。決して憶測や風説を元にエントリー手続きを進めないようにしてください。

### 【英語必修科目の履修について】

第1学年に引き続き、専攻課程で重要となる「読解力」をすでに持つかどうかを基準に、レベル別クラス編成を行います。プレイメントテストの判定結果に基づき、各自の必要と学習目標に即した履修クラスを選択してください。

#### ・履修上の注意

##### (1) 上級

文学部設置の上級クラス、あるいは外国語教育研究センター設置「英語最上級 アドバンスト英語(a)・(b)」と併設科目である「英語 上級・ 上級」から計2コマを履修します。すでに十分な英語力、英語読解力を持つ学生が、英語を使つての様々なコミュニケーション能力を高めることを目的としています。

「帰国生対象」と「一般学生対象」の区別はありません。

外国語教育研究センター設置「英語最上級 アドバンスト英語(a)・(b)」に併設する「英語 上級・ 上級」を履修する為には、4月2日の「英語ガイダンス」に出席し、面接の上、履修許可を得ることが必要です。また履修申告にあたっては、「英語 上級・ 上級」の登録番号で登録してください。

##### (2) レベル3

レベル3のクラスから2コマを履修します。主に日本人教員が担当する英語読解トレーニングのクラスと、主にネイティブ・スピーカーが担当するそれ以外のクラスが設置されています。自分の必要に応じて、バランスの取れた英語力を養成することを目標としています。

##### (3) レベル2

レベル2のクラスから2コマを履修します。いずれのクラスも、専攻で必要とされる英語読解力の養成を主眼としています。

##### (4) レベル1

対象者は、レベル1のクラスを1コマ「指定」されています。それに加えて、レベル2のクラスから各自1コマを選択し、合計2コマを履修します。

#### ・エントリーシート記入上の注意

1コマのみエントリーシートによる抽選を受ける場合でも、第8希望まで記入すること。加えて、エントリーシートの特記欄に「1コマのみ」と明記すること。

##### (1) 上級

「英語 上級・ 上級」を2コマ履修する場合 上級のクラスから第8希望まで記入。

文学部設置「英語 上級・ 上級」を1コマ、外国語教育研究センター設置「英語最上級 アドバンスト英語(a)・(b)」に併設する「英語 上級・ 上級」を1コマ履修する場合 文学部設置の上級のクラスから第8希望まで記入(エントリーシートの特記欄に「1コマのみ」と明記)。

の場合、外国語教育研究センターにて別途「英語最上級 アドバンスト英語(a)・(b)」の履修手続きを行ったうえで、文学部設置の「英語 上級・ 上級」(登録番号:19635)を履修申告すること。

##### (2) レベル3

レベル3のクラスから第8希望まで記入。

##### (3) レベル2

レベル2のクラスから第8希望まで記入。

##### (4) レベル1

レベル1の1コマはクラス指定されているので、記入不要。レベル2のクラスから第8希望まで記入(エントリーシートの特記欄に「1コマのみ」と明記)。

#### ・履修までの手続き

(1) 4月2日(木)の「レベル分け」発表で各自の判定レベルを確認し、『講義要綱・シラバス』の「英語」もしくは「英語 上級・ 上級」の中から、上記の注意に従って履修したいクラスを選択する。

レベル分け発表:( 掲示 ) 西校舎地下2階掲示板 4月2日(木)9:00(予定)

(2) 「エントリーシート」用紙に

学籍番号・氏名・科目番号・科目名などを記入

履修を希望する講座番号欄に希望順位をマークする(3月31日(火)に配布する講座番号表参照)

注意：同じクラスを複数回記入した場合、また決められた希望順位まで記入しない場合は、反則と見なされ抽選から除外される。この場合、抽選終了後に、自動的に空きクラスへと割り振られる。

- (3) 記入済みの「エントリーシート」のコピーを取り、手元に控えとして保管する。
- (4) 4月2日(木)の「英語・ガイダンス」終了時に「エントリーシート」を提出する。
- (5) コンピュータ処理による抽選により希望クラス調整が行われ、その結果は、4月6日(月)に発表される。発表されたクラスは必ず履修申告を行うこと。

クラス発表：(掲示) 西校舎地下2階掲示板 4月6日(月) 10:00(予定)

【中国語 A・B、A・B、フランス語 A・B、A・B】

エントリーシート提出：4月1日(水) 8:45~11:30 のみ 学事センター前受付 BOX

結果発表： 4月2日(木) 9:00~ 西校舎地下2階掲示板

科目名		履修	エントリーシート	履修申告
中国語 A・A	(指定クラス)	各1コマ、合計2コマを履修	×(不要)	(必要)
中国語 B・B	(選択クラス)		(必要)	(必要)
フランス語 A・A	(指定クラス)	各1コマ、合計2コマを履修	×(不要)	(必要)
フランス語 B・B	(選択クラス)		(必要)	(必要)

(1)「中国語 A・A、フランス語 A・A」(指定クラス)

指定クラスは、自動的にその1つに割り振られます。「平成21年度文学部2年生語学指定クラス表」(別紙)に従って履修してください。特別な事情によって指定クラスの履修が困難な場合は、学事センターに申し出てください。

(2)「中国語 B・B、フランス語 B・B」(選択クラス)

選択クラスは、「エントリーシート」により事前に学生が選択希望を申告し、必要に応じて抽選により決定します。所属専攻の必修科目・指定専門教育科目など、今年度必ず履修しなければいけない科目と授業時間が重ならないクラスを、各自で選択してエントリーシートを提出してください。

・履修方法

講義要綱を熟読のうえ、履修したいクラスを中国語は第3希望以上、フランス語は第6希望以上選んでください。(別紙「必修語学(諸国語)履修要領」講座番号表参照)

「エントリーシート」に学籍番号・氏名・科目番号・科目名を記入し、履修を希望する講座番号の欄に希望順位をマークしてください。

注意：指定クラスを選択クラスとして履修することはできません。

希望者数が定員を超えるものについては抽選を行います。決定したクラスの変更は認めません。

但し、特別な事情で変更の必要が生じた場合は、速やかに学事センターに申し出てください。

【ドイツ語・、スペイン語・、イタリア語 A・B、A・B】

エントリーシート提出：4月1日(水) 8:45~11:30 のみ 学事センター前受付 BOX

結果発表： 4月2日(木) 9:00~ 西校舎地下2階掲示板

科目名	履修	エントリーシート	履修申告
ドイツ語・	2コマ履修	(必要)	(必要)
スペイン語・	2コマ履修	(必要)	(必要)
イタリア語 A・A(A群)	A群、B群より 各1コマ履修	(必要)	(必要)
イタリア語 B・B(B群)			

- (1) 各語種とも、曜日と時限を自由に選ぶことができます。

・履修方法

講義要綱を熟読のうえ、履修可能な授業全てを選んでください。(別紙「必修語学(諸国語)履修要領」講座番号表参照)

「エントリーシート」に学籍番号・氏名・科目番号・科目名を記入し、履修を希望する講座番号の欄に希望順位をマークしてください。

イタリア語のみ、2枚のエントリーシート(A群用、B群用)を提出してください。

注意：2年生で履修しなくてはならない他の科目と重ならないよう注意してください。

## 4 2年編入の学生への注意事項

- (1) 2年編入者は、一般入学者と条件が異なる場合が多いので、必ず各専攻の担当者から特別ガイダンスを受けてください。



日 時：4月7日(火)9:00～

集合場所：研究室会議室 B (三田校舎 研究室棟 1階) 名前を呼ばれるまで待機しててください。

- (2) 2年編入者で必修語学として英語の履修を希望する学生は、英語プレイスメントテストを受験してください  
(4月1日(水)13:00～15:00 西校舎 501番教室)。

## 5 学士入学の学生への注意事項

- (1) 学士入学者は、2年生の各専攻指定必修科目などを3年生において併せて履修してください。  
(2) 学士入学者は、一般入学者と条件が異なる場合が多いので、必ず各専攻の担当者から特別ガイダンスを受けてください。

日 時：4月7日(火)9:00～

集合場所：研究室会議室 B (三田校舎 研究室棟 1階) 名前を呼ばれるまで待機しててください。

## 6 学芸員資格の取得について【07学則】

学芸員の資格を取得しようとする場合は、以下の学科目を履修し、ガイダンスに出席して所定の手続きを行ってください。ガイダンスは、4月初めの博物館学実習ⅠA～Dおよび博物館学実習 A・Bいずれか(文学部全専攻共通科目)の初回授業で行われます。必ず出席し、登録・申請をしてください。なお、実習費として3,000円が必要になります。

実習費支払締切日：2009年5月29日(金) 学事センター文学部係

博物館学実習・および・両方を履修した場合、それぞれに実習費3,000円が必要になります。博物館学実習は、履修希望者が多数の場合は履修者数の調整を行っています。履修が許可された者は、必ず履修申告してください(履修の削除はできません)。

また履修者数に応じて、事前に実習のための教材を準備しています。履修申告をした学生は、授業の参加・不参加にかかわらず、期日までに必ず実習費をお支払いください。

【学芸員資格取得に必要な科目】 [セ]はセット履修科目、( )内は単位数を表す。

	授業科目名	備考	時間割設置
必修科目	[セ] 博物館学 (2) 博物館学 (2)	必修	全専攻共通科目
	[セ] 博物館学実習 (2) 博物館学実習 (2)		
	[セ] 博物館学実習 (2) 博物館学実習 (2)		
	[セ] 博物館学特殊 (2) 博物館学特殊 (2)	このうち 1種類(計4単位) 必修	
	[セ] 博物館学特殊 (2) 博物館学特殊 (2)		
	[セ] 博物館学特殊 (2) 博物館学特殊 (2)		
	[セ] 博物館学特殊 (2) 博物館学特殊 (2)		
	[セ] 文化財科学 (2) 文化財科学 (2)	このうち1種類 (計4単位) 必修	
	[セ] 文化財科学 (2) 文化財科学 (2)		
	生涯学習概論(2) (注)	必修	
視聴覚教育メディア論(2) (注)			
教育学概論(学芸員)(2) (注)			
選択科目	[セ] 民族学 (2) 民族学 (2)	このうち 2種類(計8単位)	民族学考古学 専攻
	[セ] 考古学 (2) 考古学 (2)		美学美術史学 専攻
	[セ] 東洋美術史概説 (2) 東洋美術史概説 (2)		
	[セ] 西洋美術史概説 (2) 西洋美術史概説 (2)		
	[セ] アート・マネジメント (2) アート・マネジメント (2)		全専攻共通科目
[セ] アート・プロデュース (2) アート・プロデュース (2)			

(注) 平成8年度までに、社会教育(2)視聴覚教育(2)教育原理(4)の各単位を取得した場合は、上記生涯学習概論(2)視聴覚教育メディア論(2)教育学概論(2)の各単位を取得したものとみなします。

## 7 よくある質問

項目	質問	適用学年	回答
履修	履修申告は何単位までできますか？	2・3・4年生	文学部2・3・4年生には履修単位の上限はありません。
	総合教育科目はどれでも履修申告できる？	2・3・4年生	他学部設置の総合教育科目はP.35に掲載されている「少人数セミナー形式授業」以外は履修申告できません。文学部の時間割に掲載されているもののみになります。
	総合教育科目(日吉)の履修制限について	2・3・4年生	履修申告期間中に正しく申告ができた学生に限り、抽選の対象となります。抽選結果発表は、日吉・三田キャンパス掲示板および Web で行います。URL: <a href="http://www.hc.keio.ac.jp/gakuji/">http://www.hc.keio.ac.jp/gakuji/</a>
	必修語学の履修要領が分かりません。	2年生	履修案内 P.40および必修語学履修要領配布プリントをよく読んでください。
	必修としてではなく、語学を履修したい。	2・3・4年生	「全学部共通外国語科目履修案内(別冊)」に掲載されている科目や、外国語教育研究センター設置特設科目を総合教育科目(系列外)として履修する事ができます。
	選択科目って？	2・3・4年生	履修案内 P.36～39に掲載されている科目のことを指します。
	他専攻の科目も履修できますか？	2・3・4年生	専門教育科目の選択科目として履修する事ができます(A欄申告してください)。
	他学部の専門科目は履修できますか？	2年生	上級学年設置科目のため、2年生では履修できません。
	他学部の研究会は履修できますか？	2年生	上級学年設置科目のため、2年生では履修できません。
	他学部のゼミで卒論を提出し卒業したい。	3・4年生	文学部所属専攻の要件を満たさないと卒業できません。
	体育科目を履修したい。	2・3・4年生	時間割の該当(体育研究所)ページおよび履修案内を参照の上、必ず体育研究所のガイダンスに出席してください。締切、抽選等がありますので十分注意してください。また、4単位までが卒業単位(総合教育科目(系列外))になります。
	メディア・コミュニケーション研究所の授業がとりたい。	2・3・4年生	入所説明会や手続を経て研究生になった学生以外はオープン科目しか履修できません。詳細は、講義要綱を参照のうえ、メディア・コミュニケーション研究所にご確認ください。
	外国語教育研究センターの科目を履修したい。	2・3・4年生	文学部の時間割に掲載されている科目以外は履修申告できません。外国語教育研究センターのガイダンスに出席し、所定の手続を経た上で履修申告を行ってください。
他専攻の科目の重複履修はできますか？	2・3・4年生	他専攻の科目を選択科目として重複履修することはできません。例えば、美学美術史学専攻以外の学生は、「美術史特殊」を複数履修することはできません(2つ目以降は自由科目として履修することはできます)。	
資格	学芸員資格について教えてください。	2・3・4年生	履修案内 P.43 を参照してください。
	教職課程で必要な科目を履修した場合は？	2・3・4年生	教職課程センター設置科目は、専門教育科目(選択科目)として履修できます。但し、教育実習・教育実習基礎・教職介護等体験は自由科目になります。教員免許取得に必要な科目が、専攻に設置されている場合は、教職と専攻の単位数両方の要件を満たすこととなります。但し、履修申告期間中に正しく履修申告がなされている場合に限りです。
その他	専攻別学生カードの提出先は？(2・3年のみ)	2・3年生	4月中に専攻担任に提出してください。詳細は専攻別ガイダンスで確認してください。
	三田には科目ガイダンス週間がありますか？	2・3・4年生	ありません。4月8日から授業を開始しますので履修申告する科目は出席してください。
	他学部や、他地区の時間割・講義要綱を閲覧したい。	2・3・4年生	学事センター閲覧コーナー(閲覧のみ)もしくはメディアセンター1F複写カウンター(閲覧、コピー)で可能です。Webでも閲覧する事ができます。
	専攻担任ってなんですか？	2・3・4年生	所属専攻学生全員を取りまとめて受け持つ先生のことです。留学・休学・退学を希望する場合は必ず専攻担任の面接と承認が必要になります。また、所属専攻内の事で相談したいことがある場合はまず専攻担任に相談してください。
	先生の連絡先を教えてください。	2・3・4年生	学事センターでは、先生の個人情報は一切お教えできません。
	授業内やレポートボックス回収で提出できなかったレポートを先生に転送してほしい。	2・3・4年生	学事センターでは、レポートに限らず、担当教員への書類の転送は一切行っていません。
	研究会(ゼミ)に関する情報はどこにありますか？	2・3・4年生	西校舎地下2階の掲示板に掲出しています。



# MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

文学部では学則の他に専攻ごとに専攻内規を定めています。各自、所属する専攻の内規を熟読の上、不明な点がある場合は、履修申告の前に、専攻担任に必ず相談してください。

## 【目次】

哲 学 専 攻 .....	48
倫 理 学 専 攻 .....	50
美学美術史学専攻 .....	52
日 本 史 学 専 攻 .....	54
東 洋 史 学 専 攻 .....	56
西 洋 史 学 専 攻 .....	58
民族学考古学専攻 .....	60
国 文 学 専 攻 .....	62
中 国 文 学 専 攻 .....	64
英 米 文 学 専 攻 .....	66
独 文 学 専 攻 .....	68
仏 文 学 専 攻 .....	70
図書館・情報学専攻 .....	72
社 会 学 専 攻 .....	76
心 理 学 専 攻 .....	78
教 育 学 専 攻 .....	80
人 間 科 学 専 攻 .....	82

# 哲学専攻

(平成 21 年度第 2・第 3 学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-01-11	哲学倫理学原典講読 ・ (各 2) … 2 年進級条件科目(同一語種の ・ に限る)	48単位	
	30-01-21	哲学概論 ・ (各 2)		のうち 6 科目(12)
		西洋哲学倫理学史 ・ (各 2)		
		西洋哲学倫理学史 ・ (各 2)		
		論理学入門 ・ (各 2)		
	30-01-22	科学の哲学 ・ (各 2)		のうち 10 科目(20)
		中級論理学 ・ (各 2)		
知識の哲学 ・ (各 2)				
形而上学 ・ (各 2)				
現代論理学の諸問題 ・ (各 2)				
心の哲学 ・ (各 2)				
言語の哲学 ・ (各 2)				
現象学 ・ (各 2)				
宗教の哲学 ・ (各 2)				
哲学原典研究 ・ (独)(各 2)				
哲学原典研究 ・ (仏)(各 2)				
30-01-23	哲学倫理学特殊 ・ (各 2) … のうち 4 科目(8)			
研究会	30-01-31	哲学研究会 ・ (各 1)		
	30-01-32	哲学研究会 ・ (各 1)		
卒試	30-01-41	卒業試験(卒業論文)		
選択科目	30-01-55	大学設置(学部学則第 35 条 3 項参照)の専門教育科目 哲学専攻設置の次の科目を含める 印度哲学 ・ (各 2) 宗教学 ・ (各 2)	24単位以上	

## 2 必修科目

必修科目として、上に掲げた授業科目系列表に示された 48 単位を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない(倫理学専攻設置の哲学倫理学原典講読 ・ (英)は卒業に必要な単位に含まれない)。

### 【第 2 学年】

#### (1) 進級条件科目

哲学倫理学原典講読 ・ のうち同一語種の 2 科目(倫理学専攻設置の哲学倫理学原典講読 ・ (英)は含まれない)

#### (2) 基礎コースの科目は第 2 学年で履修することが望ましい。

## 【第3学年】

## (1) 学年指定必修科目

いずれかの研究会 ・ (同一担当者のもの)

進級条件科目ではないが、研究会 ・ を必修科目として履修し、その単位を取得していないと、4年次で研究会 ・ の履修が認められない。

(2) 研究会 ・ を同一学年で2組以上履修する場合は1組を必修科目として履修申告し(A欄)、他は選択科目として履修申告(B欄55)すること。

(3) 専門コースの科目は第3・4学年で履修することが望ましい。

## 【第4学年】

## (1) 学年指定必修科目

いずれかの研究会 ・ (同一担当者のもの)

3年次に必修科目として履修した研究会 ・ の単位を取得していないと、研究会 ・ の履修は認められない。なお、3年次に必修科目として履修した研究会と同じ担当者の研究会を2年継続して履修しなくともよい。

(2) 研究会 ・ を同一学年で2組以上履修する場合は、1組を必修科目として履修申告(A欄)し、他は選択科目として履修申告(B欄55)すること。

(3) 卒業試験は卒業論文によって行い、必修科目として履修する研究会の担当教員に提出する。4年生は文学部時間割に記載されている研究会担当教員の「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修申告すること(研究会とは別の登録番号)。

(4) 専門コースの科目は第3・4学年で履修することが望ましい。

## 3 選択科目

選択科目として、授業科目系列表に示した24単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

## 4 各学年共通

(1) 単位取得済科目の重複履修は、授業科目系列表内の必修科目(倫理学専攻設置のものを含む)に限り、次の場合には何度でも選択科目として認められる(A欄申告)。

(ア) 担当者が異なる場合

(イ) 担当者は同じだが内容が異なる場合(この場合は、履修届提出日前に専攻担任(平成21年度は飯田隆、堀江聡、納富信留)の判断を求め、履修届(WEB履修の場合、画面のプリントアウト)に認定のサインを受けること)

(2) 1グループから一定数の科目を履修するよう指定された科目(分野30-01-21・30-01-22・30-01-23)を、指定数を超えて履修(A欄申告)した場合は選択科目とみなし、取得した単位は卒業単位として取り扱う。

(3) 専門コースで「中級論理学 ・ 」,「現代論理学の諸問題 ・ 」を履修する予定の者は先に基礎コースで「論理学入門 ・ 」を履修しておくこと。

# 倫理学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	必修	30-02-11 倫理学概論 ・ (各2) 倫理学の基礎 ・ (各2)	36単位	
		30-02-12 哲学倫理学原典講読 ・ (英)(各2) 哲学倫理学原典講読 ・ (独)(各2) 哲学倫理学原典講読 ・ (仏)(各2) 哲学倫理学原典講読 ・ (露)(各2)		のうち2科目(4) (ただし同一語種に限る)
		30-02-13 西洋哲学倫理学史 ~ (各2)		
	選択必修	30-02-21 倫理学の課題 ~ (各2) 哲学概論 ・ (各2) 哲学倫理学特殊 ・ (各2)		のうち4科目(8)
		30-02-22 日本倫理思想 ・ (各2) 東洋倫理思想 ・ (各2) キリスト教概論 ・ (各2) 仏教学概論 ・ (各2)[全専攻共通科目]		のうち2科目(4)
	研究会	30-02-31 倫理学研究会 ・ (各1)		
		30-02-32 倫理学研究会 ・ (各1)		
	卒試	30-02-41 卒業試験(卒業論文)		
	選択科目	30-02-55 大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目 倫理学専攻設置の次の科目を含める 倫理学洋書講読 ・ (各2) 中国哲学 ・ (各2)		36単位以上

## 2 必修科目

必修科目として、授業科目系列表に示された36単位を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 【第2学年】

- (1) 特別の理由がない限り、倫理学概論 ・ ，倫理学の基礎 ・ ，哲学倫理学原典講読 ・ を履修しなければならない。特別の理由がある者は、履修相談日に専攻担任に申し出て、許可状の発行を受け、履修申告期間中に学事センターに提出すること。ただし、これらの科目は進級条件科目ではない。
- (2) 哲学倫理学原典講読の主な目的は、研究会で使用する英語以外の外国語(ドイツ語・フランス語・ロシア語)の修得であるから、日吉でドイツ語・フランス語・ロシア語を履修した者は同一語種を選択することを原則とし、英語を選択することはできない。

日吉で中国語を履修した者で中国思想を研究したい者は、中国文学専攻設置の中国文学演習 ~ のうち4科目を履修し、すべての単位を取得すれば、当専攻の哲学倫理学原典講読の単位として認定する。希望者は必ず履修相談日に来談し、専攻担任から許可状の発行を受けること。

日吉で中国語を履修した者で中国思想を研究しない者および日吉でイタリア語・スペイン語・朝鮮語を履修した者は、ドイツ語・フランス語・ロシア語・英語のうちから、自分が研究したい領域の言語を選択すること。



この場合、英語以外は第3学年での履修を例外的に認めることがあるので、希望者は必ず履修相談日に来談し、専攻担任から許可状の発行を受けること。

### 【第3学年】

#### (1) 進級条件科目

倫理学研究会 ・

第3・4学年の2年間継続して、同一担当者の研究会を必修科目として履修すること。

### 【第4学年】

#### (1) 学年指定必修科目

倫理学研究会 ・

第3・4学年の2年間継続して、同一担当者の研究会を必修科目として履修すること。

#### (2) 卒業試験は卒業論文によって行い、必修科目として履修する研究会の担当教員に提出する。4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験（卒業論文）」を必ず履修申告すること（研究会とは別の登録番号）。

## 3 選択科目

選択科目として、授業科目系列表に示した36単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

## 4 各学年共通

- (1) 必修科目のなかで、1グループから一定数の科目を履修するように指定された科目（分野30-02-21・30-02-22）を、指定単位数を超えて履修（A欄申告）した場合は、選択科目とみなし、取得した単位は卒業単位として取り扱う。
- (2) 単位取得済科目の重複履修は、分野番号30-02-11から30-02-32までのうち、30-02-12を除き、次の場合に限り選択科目として許可する。
  - (ア) 担当者が異なる場合
  - (イ) 担当者は同じだが、内容が前（々）年度と異なる場合（この場合は、履修相談日に専攻担任の判断を求め、許可状の発行を受けること）
- (3) 履修申告の前に、専攻担任による履修相談日を設ける。来談して専攻担任の許可状の発行を受けなければならない者は上記に該当する場合であるが、その他の例外に該当する者も来談すること。許可状は、履修申告期間中に学事センターに提出すること。

# 美学美術史学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-03-11	[セ] 芸術研究基礎 ・ (各1)	38単位	
	30-03-12	[セ] 美学美術史学原典講読 ・ (英)(各1) [セ] 美学美術史学演習 ・ (各1)		
	30-03-13	[セ] 美学美術史学原典講読 ・ (独・仏・伊・日)(各1)		
	30-03-14	[セ] 美学概論 ・ (各2) 芸術学(2)		
	30-03-21	[セ] 東洋美術史概説 ・ (各2)		のうち2種類以上にわたり6科目(12)
	30-03-22	[セ] 西洋美術史概説 ・ (各2)		
	30-03-23	[セ] 西洋音楽史概説 ・ (各2)		
	30-03-24	美学特殊 ・ (各2) 美術史特殊 ・ (各2) 音楽史特殊 ・ (各2)		のうち1種類もしくは2種類で2科目(4)
	30-03-25	[セ] アート・マネジメント ・ (各2)[全専攻共通科目] [セ] アート・プロデュース ・ (各2)[全専攻共通科目]		のうち1種類で2科目(4)
	30-03-31	[セ] 美学美術史学研究会 ・ (各1)		研究会
30-03-32	[セ] 美学美術史学研究会 ・ (各1)			
卒試	30-03-41	卒業試験(卒業論文)		
選択科目	30-03-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	34単位以上	

## 2 必修科目

卒業時まで専門教育科目については上に掲げた授業科目系列表にしたがって、必修科目として38単位を取得しなければならない。

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

第1, 第2学年を通じて、語学科目計18単位(英語を選択していない場合は20単位)を取得すること。

#### (2) 学年指定必修科目

「芸術研究基礎 ・ 」, 「美学美術史学原典講読 ・ 」, 「美学美術史学演習 ・ 」は必ず履修すること(ただし進級条件科目ではない)。

### 【第3学年】

#### (1) 進級条件科目

「美学美術史学研究会 ・ 」

研究会を履修する場合、学年初めに必ず各研究会の担当教員に面接し、履修の許可を得なければならない。

## (2) 学年指定科目

「美学美術史学原典講読 ・ 」,「美学概論 ・ 」,「芸術学」,「アート・マネジメント ・ 」,「アート・プロデュース ・ 」は本学年で履修することが望ましい(ただし進級条件科目ではない)。

- (3)「美学美術史学原典講読 ・ 」のうち,独語・仏語・伊語については,原則として,第1・2学年次に履修した第2外国語と同じ語種の授業を選択すること。ただし,本授業と並行して別に初等文法を学ぶことを条件に未修者についても履修を認める。日本語については,研究上特に日本語原典の読解能力の修得を必要とする者,第2外国語として独語・仏語・伊語以外の語種を履修した者,あるいは,すでに「美学美術史学原典講読 ・ 」の独語・仏語・伊語のいずれかの授業を履修した者にのみ履修を認める。なお,いずれの語種についても,学年初めに必ず担当教員から履修の許可を得なければならない。

## 【第4学年】

### (1) 学年指定必修科目

「美学美術史学研究会 ・ 」

研究会を履修する場合,学年初めに必ず各研究会の担当教員に面接し,履修の許可を得なければならない。

- (2) 卒業試験は論文試験とし,必修として履修した「美学美術史学研究会 ・ 」の担当教員による「卒業試験(卒業論文)」(研究会とは別の登録番号が文学部時間割に記載されている)を必ず履修し,その担当教員(指導教授)に卒業論文を提出すること。

- (3) 第4学年で留年した者は,「美学美術史学研究会 ・ 」について,たとえ単位を取得していても,再度必ず履修すること。

## 3 選択科目

選択科目として,34単位以上を卒業までに履修し,単位を取得しなければならない。

## 4 各学年共通

- (1)「芸術研究基礎 ・ 」は,原則として本専攻第2学年次の学生のみが履修を認められる科目であり,第2学年次に単位を取得できなかった者についてのみ第3学年次以降での履修を認める。
- (2) 概説科目(「東洋美術史概説 ・ 」,「西洋美術史概説 ・ 」,「西洋音楽史概説 ・ 」)は,2種類以上にわたり計6科目12単位を必修とするが,そのうち1種類については,担当者の異同を問わず,計8単位までを必修科目として認める。
- (3) 特殊科目(「美学特殊 ・ 」,「美術史特殊 ・ 」,「音楽史特殊 ・ 」)は,そのうち1種類もしくは2種類( , の組み合わせは自由)で2科目4単位を必修とする。
- (4) 全専攻共通科目の「アート・マネジメント ・ 」と「アート・プロデュース ・ 」については,そのうち1種類2科目4単位を本専攻の必修とする。
- (5)「芸術研究基礎 ・ 」を除く美学美術史学専攻の授業科目は,必修および選択科目として,担当者の異同を問わず,何度でも履修できる(他専攻の専門教育科目,全専攻共通科目については重複して履修することはできない)。
- (6) 同一年度に必修科目として指定単位数を超えて履修し,その単位を取得した場合,超過分は選択科目とみなし,卒業単位として取り扱う。
- (7) 必修科目として履修したものと同名の科目を選択科目として履修する場合も,履修申告用紙のA欄に記入すること。
- (8) 在学中に留学を考えている者は,当該年度の履修申告に際して必ず専攻担任に相談し,留学が決まりしだい学事センターに申し出ること。

# 日本史学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-04-11	[セ] 日本史史料講読 ・ (各1)	42単位	
	30-04-12	史学概論 ・ (各2)		
	30-04-13	日本史概説 ~ (各2)		
	30-04-20	古文書学 ・ (各2)のうち1科目(2) 古文書学 ・ (各2)のうち1科目(2)		
	30-04-21	日本史特殊 ・ (各2)のうち6科目(12)		
	30-04-22	[セ] 日本史演習 ・ (各1)のうち4科目(4)		
	30-04-23	[セ] 東洋史概説 ・ (各2) } [東洋史学専攻設置] [セ] 東洋史概説 ・ (各2) } [セ] 東洋史概説 ・ (各2) } 西洋史概説 ~ (各2) } [西洋史学専攻設置] [セ] 考古学 ・ (各2) } [民族学考古学専攻設置] [セ] 民族学 ・ (各2) }		のうち2科目(4)
	30-04-31	[セ] 日本史研究会 ・ (各1)		
	30-04-32	[セ] 日本史研究会 ・ (各1)		
	研究会	30-04-41		卒業試験(卒業論文)
卒試				
選択科目	30-04-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	30単位以上	

## 2 必修科目

必修科目として、授業科目系列表に示した42単位を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

日本史史料講読 ・

### 【第3学年】

#### (1) 進級条件科目

日本史研究会 ・ (担当者の許可を得たもの)(第2学年では履修することができない)

#### (2) 学年指定必修科目

日本史演習 ・ (担当者の許可を得たもの)(第2学年では履修することができない)

### 【第4学年】

#### (1) 学年指定必修科目

日本史研究会 ・ (担当者の許可を得たもの)(第2・3学年では履修することができない)

## 【各学年共通】

- (1) 史学概論 ・ は、日本史学専攻の登録番号で履修すること。
- (2) 日本史概説 ～ すべてを卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。
- (3) 古文書学 ・ のうち1科目、古文書学 ・ のうち1科目を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。
- (4) 日本史特殊 ・ は、卒業までに6科目12単位を履修し、単位を取得しなければならない。
- (5) 東洋史概説 ～ ，西洋史概説 ～ ，考古学 ・ ，民族学 ・ の中から2科目を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。
- (6) 卒業試験について  
卒業論文によって行う。4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修申告すること(日本史研究会 ・ とは別の登録番号がある)。

## 3 選択科目

授業科目系列表に選択科目として示された科目の中から、卒業までに30単位以上を履修し、単位を取得しなければならない。

## 4 履修に関する特記事項

- (1) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い  
指定単位数を超えて修得した必修科目は、選択科目(30-04-55)とみなし、卒業単位として取り扱う。履修申告では、必修単位として挙げられている科目は全てA欄に記入すること。
- (2) 重複履修の取り扱いについて  
日本史学専攻以外の設置科目については、重複履修を認めない。  
日本史学専攻の設置科目については、日本史史料講読 ・ ，日本史研究会 ～ を除き、必修科目・選択科目ともに、担当者の異同を問わず、同一科目の重複履修を認める。
- (3) 研究会の履修方法  
各研究会は指定された学年で履修しなければならない。  
各学年で3科目以上履修することはできない。

# 東洋史学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-05-11	[セ] 東洋史研究入門 ・ (各1)	40単位	
	30-05-12	[セ] 東洋史講読 (A)~(E)・ (A)~(E)(各1)		
	30-05-13	[セ] 東洋史概説 ・ (各2)		
		[セ] 東洋史概説 ・ (各2)		
		[セ] 東洋史概説 ・ (各2)		
	選択必修	30-05-21		東洋史特殊 (A)~(K)・ (A)~(K)(各2) のうち8科目(16)
		30-05-22		史学概論 ・ (各2)[史学系設置科目] 日本史概説 ~ (各2)[日本史学専攻設置] 西洋史概説 ~ (各2)[西洋史学専攻設置] } のうち2科目(4)
研究会	30-05-31	[セ] 東洋史研究会 (A)~(E)・ (A)~(E)(各1) のうち2科目(2)		
	30-05-32	[セ] 東洋史研究会 (A)~(E)・ (A)~(E)(各1) のうち2科目(2)		
卒試	30-05-41	卒業試験(卒業論文)		
選択科目	30-05-51	東洋史特殊 (A)~(K)・ (A)~(K)(各2) [セ] 東洋史研究会 (A)~(E)・ (A)~(E)(各1) [セ] 東洋史研究会 (A)~(E)・ (A)~(E)(各1) } 合計12単位まで	32単位以上	
		大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目 東洋史学専攻設置の次の科目を含める [セ] 東洋史演習 (A)~(C)・ (A)~(C)(各1)		

## 2 必修科目

必修科目として、授業科目系列表に示された24科目40単位を卒業までに履修し、かつ単位取得しなければならない。

### 【第2学年】

(1) 進級条件科目

東洋史研究入門 ・

### 【第3学年】

(1) 進級条件科目

東洋史講読 (A)~(E)のうち1科目, 東洋史講読 (A)~(E)のうち1科目

東洋史研究会 (A)~(E)のうち1科目, 東洋史研究会 (A)~(E)のうち1科目

### 【第4学年】

卒業試験は卒業論文によって行う。第4学年は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修申告すること(研究会とは別の登録番号がある)。

### 【各学年共通】

(1) 東洋史講読 (A)~(E)のうち1科目, 東洋史講読 (A)~(E)のうち1科目を第2学年または第3学年において必修科目としてセット履修し、かつ単位取得しなければならない。

- (2) 東洋史概説は と , と , と をそれぞれセット履修し, かつ単位取得しなければならない。
- (3) 必修の東洋史特殊 ・ のうち, 8科目 (16単位) を必修科目として履修しなくてはならないが, 4科目 (8単位) は専任教員が担当する科目であることが望ましい。
- (4) 史学概論 ・ は東洋史学専攻の【授業科目系列表】に示されている分野番号で登録しなければならない。
- (5) 東洋史研究会 ・ ・ ・ は同一担当者の科目を第3・4学年においてそれぞれ必修科目の単位として2科目ずつ2年間連続して履修することを原則とする。同一学年において4科目以上履修することをさまたげないが, その場合, 2科目を必修科目として履修し, 残りは選択科目 (B欄51) としなければならない。第3・4学年に連続して同一担当者の東洋史研究会を必修科目として単位取得することが望ましいが, 事情により第3学年に選択科目として単位取得した東洋史研究会 ・ と同一担当者の東洋史研究会 ・ を第4学年において必修科目として履修し, その担当者の「卒業試験 (卒業論文)」を履修申告することもできる。
- (6) 卒業試験 (卒業論文) を履修申告した者で, すでに東洋史研究会 ・ ・ ・ を必修科目として単位取得済みの者 (たとえば第4学年で卒業論文を提出しなかった場合) は卒業試験 (卒業論文) 担当者の東洋史研究会 ・ を選択科目または自由科目として履修することが望ましい。
- (7) 第2学年において必修語学科目のうち1語種をアラビア語, ペルシア語, トルコ語のうちいずれかひとつの語種に変更することができるが, 同一語種を4科目 (4単位) 履修し, 単位取得しなければならない。その場合, アラビア語とトルコ語については文学部設置のアラビア語 , アラビア語 , アラビア語 , アラビア語 , またはトルコ語 , トルコ語 , トルコ語 , トルコ語 を履修し, かつ単位取得しなければならない。またペルシア語については, 2科目は文学部設置のペルシア語I, ペルシア語 を, もう2科目は言語文化研究所特殊講座のペルシア語初級 , ペルシア語初級 を履修し, かつ単位取得しなければならない (B欄91)。

### 3 選択科目

選択科目は, 授業科目系列表に示した科目のなかから卒業までに32単位以上を履修し, かつ単位取得しなければならない。

### 4 各学年共通

- (1) 必要単位数を超えて履修した必修科目の取り扱い
- ・ 必修科目のなかで, ひとつのグループから一定数の科目を履修するように指定されている科目について指定単位数を超えて履修し, かつ単位取得した場合は選択科目の単位とみなす (A欄申告)。
  - ・ 東洋史特殊 (A)~(K)・ (A)~(K), 東洋史研究会 (A)~(E)・ (A)~(E)・ (A)~(E)・ (A)~(E) は必修科目の指定単位数を超えて単位取得した場合, 合計12単位まで指定選択科目 (分野番号は30-05-51) として認める。
- (2) 重複履修の取り扱いについて
- ・ 東洋史講読 (30-05-12) は, 担当者の異同にかかわらず選択科目 (30-05-55) の単位とみなされる (A欄申告)。
  - ・ 東洋史概説 ・ ・ ・ ・ (30-05-13) は, 担当者が異なれば選択科目 (30-05-55) とみなされる (A欄申告)。
  - ・ 東洋史特殊 ・ (30-05-21) は, 同一担当者の授業を繰り返し履修し, かつ単位取得した場合にも必修科目 (必修科目の必要単位数を超えた場合は指定選択科目 (30-05-51)) として加算される (A欄申告)。
  - ・ 東洋史演習 ・ (30-05-55) は, 同一担当者の授業を繰り返し履修し, かつ単位取得した場合にも選択科目 (30-05-55) として加算される (A欄申告)。
- (3) 研究会の履修方法
- 第2学年で履修する場合は, 選択科目 (30-05-51) として履修申告できる (B欄51)。  
各学年で4科目履修する場合, 2つは (30-05-31 または 32), 2つは (30-05-51) とする (B欄51)。  
ただし, 第3学年で4科目 (4単位) を修得しても卒業要件を満たさない。
- (4) 東洋史演習 (A)~(C), (A)~(C), 文学部設置のアラビア語, ペルシア語, トルコ語, 中国語, 朝鮮語, それに言語文化研究所特殊講座のアジア諸言語をできるだけ積極的に履修することが望ましい。

# 西洋史学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位
必修科目	必修	30-06-11 史学概論 ・ (各2)	40単位
		30-06-12 [セ] 西洋史学原典講読 ・ (各1)	
		30-06-13 [セ] 西洋史演習 ・ (各1)	
		30-06-14 西洋史概説 ~ (各2)	
	選択必修	30-06-21 西洋史特殊 (A)~(J)・ (A)~(J)(各2) のうち4科目(8)	
		30-06-22 日本史概説 ~ (各2) [日本史学専攻設置]のうち2科目(4)	
		30-06-23 [セ] 東洋史概説 ・ (各2) [セ] 東洋史概説 ・ (各2) [セ] 東洋史概説 ・ (各2) } [東洋史学専攻設置]のうち2科目(4)	
	研究会	30-06-31 [セ] 西洋史研究会 (A)~(G)・ 西洋史研究会 (A)~(G)(各1)	
		30-06-32 [セ] 西洋史研究会 (A)~(G)・ 西洋史研究会 (A)~(G)(各1)	
	卒試	30-06-41 卒業試験(卒業論文)	
選択科目	30-06-55 大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	32単位以上	

## 2 必修科目

必修科目として、上に掲げた授業科目系列表に示された24科目40単位を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

西洋史学原典講読 ・

第2学年の在籍者で、次のいずれかの条件に該当する者は、第2学年の初めに専攻別ガイダンスで指示を受けること。

- ・ 必修語学として英語を履修していない。
- ・ 必修語学として独語・仏語・伊語・西語・露語のうちいずれの言語も履修していない。

### 【第3学年】

#### (1) 進級条件科目

西洋史研究会 (A)~(G)・ (A)~(G)の2科目

西洋史演習(独語・仏語・伊語・西語・露語のいずれか) ・



## 【第4学年】

### (1) 指定必修科目

西洋史研究会 (A)~(G)・ (A)~(G)の2科目

(2) 卒業試験は卒業論文によって行う。第4学年は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修申告すること。

## 【各学年共通】

(1) 西洋史概説は ~ のそれぞれを履修しなければならない。

(2) 西洋史特殊 (A)~(J)および (A)~(J)は4科目8単位を必修科目として履修しなければならない。同一担当者の科目を重複履修することはできない。

(3) 史学概論 ・ は西洋史学専攻の【授業科目系列表】に示されている分野番号で登録しなければならない。

## 3 選択科目

選択科目は、大学および諸研究所・センター設置の専門教育科目(学部学則35条3項)の中から卒業までに32単位以上を履修し、かつ単位を取得しなければならない。

## 4 履修上の注意

(1) 西洋史学原典講読 ・ と西洋史演習 ・ は、それぞれ2単位は必修科目として、それ以上は選択科目として上限を設けずに履修を認める。なお、同一担当者の科目を何度重複履修してもさしつかえない。

(2) 西洋史特殊 (A)~(J)および (A)~(J)を4科目を超えて必修科目として履修し単位を取得した場合、4科目までは必修科目、5科目めからは選択科目の単位とみなす。ただし、すでに取得済みの科目と同一担当者による同一科目名の科目を選択科目として履修することはできない(同一科目名でも担当者が異なる場合は選択科目として履修できる)。

(3) 日本史概説 ~ と東洋史概説 ~ を、それぞれ必修科目として指定されている4単位を超えて履修し単位を取得した場合は、選択科目とみなす。ただし、同一のローマ数字の科目を選択科目として重複履修することはできない。

(4) 史学概論 ・ , 西洋史研究会 ~ の重複履修は選択科目として認めない。

(5) 西洋史概説 ~ は、同一科目名でも担当者が異なる場合は、選択科目として履修できる。

(6) 西洋史研究会 ~ は第2学年で履修することはできない。第3・4学年において同一担当者の西洋史研究会 ・ , ・ を継続して履修することを原則とする。また同一学年で異なるアルファベットの西洋史研究会を同時に履修することはできない。

(7) 西洋史演習(独語・仏語・伊語・西語・露語) ・ は第2学年で履修することはできない。

# 民族学考古学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目, [要]: 要件科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位		
必修科目	必修	30-07-11 [要] 民族学考古学原典講読 ・ (各2)	40単位		
		30-07-12 史学概論 ・ (各2)			
		30-07-13 [セ] 民族学考古学研究法 ・ (各1) [セ] 民族学考古学研究法 ・ (各1)			
	選択必修	30-07-21 民族学考古学特殊 ~ (各2) のうち4科目(8)		いずれか4科目(8)	
		30-07-22 [セ] 考古学 ・ (各2) [セ] 民族学 ・ (各2) [セ] 人類学概論 ・ (各2)			
		30-07-23 日本史概説 ~ (各2) [日本史学専攻設置]			日本史概説・東洋史概説・西洋史概説の3つの系列のうちから2つの系列にわたって4科目(8)を必修として履修すること。
		30-07-24 [セ] 東洋史概説 ・ (各2) [東洋史学専攻設置]			
		30-07-24 [セ] 東洋史概説 ・ (各2)			
	30-07-25 西洋史概説 ~ (各2) [西洋史学専攻設置]				
	研究会	30-07-31 [要] 民族学考古学研究会 (A)~(E) ・ (A)~(E)(各1)		[要] 民族学考古学研究会 (A)~(E) ・ (A)~(E)(各1)	
		30-07-32 [要] 民族学考古学研究会 (A)~(E) ・ (A)~(E)(各1)			
卒試	30-07-41 卒業試験(卒業論文)				
選択科目	30-07-55 大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目		32単位以上		

## 2 必修科目

### 【第2学年】

(1) 進級条件科目

民族学考古学原典講読 ・

### 【第3学年】

(1) 進級条件科目

民族学考古学研究会 ・

### 【第4学年】

(1) 学年指定必修科目

民族学考古学研究会 ・

(2) 卒業試験は卒業論文によって行う。第4学年は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修申告すること(研究会とは別の登録番号がある)。

## 【各学年共通】

- (1) 民族学考古学研究法 ・ ・ ・ は2年生で履修するのが望ましい。
- (2) 民族学考古学研究会 ・ は第3学年において履修し， ・ は第4学年（卒論指導）において履修する。第3学年において民族学考古学研究会 ・ （計2単位）を取得しない場合は，第4学年に進級できない。
- (3) 民族学考古学特殊 ～ （分野 30-07-21）は4科目8単位を必修とする。また，民族学考古学専攻の学生については，同一担当者の科目でも選択科目としての重複履修を認める。

## 3 選択科目

選択科目として，卒業までに32単位以上を履修し，かつ単位取得しなければならない。

## 4 各学年共通

- (1) 重複履修の取り扱いについて  
担当者の異同に関わらず，民族学考古学専攻設置科目に限り，重複履修を認める。
- (2) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い  
必修科目の中で，1グループから一定数の科目を履修するように指定のある科目（分野 30-07-21 ・ 30-07-22 ・ 30-07-23 ・ 30-07-24 ・ 30-07-25）について指定単位数を超えて履修し，単位を修得した場合は選択科目の単位とみなし，卒業単位として取り扱う。
- (3) 研究会の履修方法  
第3学年，第4学年で履修することをすすめるが，第2学年で履修することも可能。その場合は選択科目（分野 30-07-55）とみなし，卒業単位として取り扱う（B欄55）。第3・第4学年でそれぞれ4科目以上研究会を履修する場合，うち2科目を必修（A欄）とし，その他を選択科目（B欄55）とする。

# 国文学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位
必修科目	30-08-11	[セ]国文学原典講読 ・ (各1)	34単位
	30-08-20	国語学 ~ (各2) のうち2科目(4)	
	30-08-21	国文学 ~ (各2) のうち4科目(8)	
	30-08-22	国文学史 ~ (各2) のうち4科目(8)	
	30-08-23	[セ]国文学演習 ~ (各1) [セ]国語学演習 ・ (各1) } のうち8科目(8)	
	30-08-24	日本語文法 ・ (各1) 漢文講読 ・ (各1) } のうち2科目(2)	
	研究会	30-08-31	
卒試	30-08-41	卒業試験(卒業論文)	
選択科目	30-08-51	国語学 ~ (各2) 国文学 ~ (各2) 国文学史 ~ (各2) [セ]国文学演習 ~ (各1) [セ]国語学演習 ・ (各1) 日本語文法 ・ (各1) 漢文講読 ・ (各1) } のうち必修科目として履修していない 12単位を含めなければならない。	42単位以上
	30-08-55	本大学設置の専門教育科目(学部学則第35条3項参照) 国文学専攻設置の次の科目を含める 日本語学 ~ (各2) 日本語教授法 ~ (各2)	

## 2 必修科目

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

「国文学原典講読 ・ 」のうち、2科目を修得しなければならない。そのクラス分けは、新学期に発表する。

### 【第3・4学年】

#### (1) 指定科目

選択必修科目としての「国文学演習 ~ 」「国語学演習 ・ 」(各1単位)は、第3学年、第4学年において重複とされない8科目を履修すること。

### 【国文学研究会】

セット履修とする。国文学研究会 ・ (各1単位 計2単位)のうち、同一担当者の2科目(2単位)のみを履修すること。

## 【卒業試験】

卒業試験は卒業論文によって行うので、4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験（卒業論文）」を必ず履修申告すること（研究会とは別の登録番号がある）。

## 3 選択科目

卒業に必要な42単位以上の選択科目には、「国語学 ～ 」、「国文学 ～ 」、「国文学史 ～ 」、「日本語文法 ・ 」、「漢文講読 ・ 」、「国語学演習 ・ 」、「国文学演習 ～ 」の中から必修科目として履修しない12単位を指定選択科目として、履修しなければならない。

ただし、履修申告の際には、必修科目と指定選択科目を区別せず、すべてを必修科目としてA欄申告すること（必修科目としての単位数を超えた段階で、以降の科目が自動的に指定選択科目として処理されるため）。

## 4 各学年共通

### (1) 必要単位数を超えて履修した必修科目の取り扱いについて

「国語学 ～ 」、「国文学 ～ 」、「国文学史 ～ 」、「国文学演習 ～ 」、「国語学演習 ・ 」、「日本語文法 ・ 」、「漢文講読 ・ 」に関しては、それぞれ必修科目としての単位数を超えて履修した科目の単位は、自動的に選択科目の単位となる（履修申告は必修科目としてA欄申告すること。ただし重複履修の場合は4 - (2)を参照）。

### (2) 必修科目の重複履修の取り扱いについて

すでに履修した必修科目を重複履修する際は、以下の点に注意すること。特に、選択科目として履修できる単位数の制限と、履修申告の際の申告欄に注意すること。

「国語学 ～ 」、「国文学 ～ 」、「国文学史 ～ 」、  
「国文学演習 ～ 」、「国語学演習 ・ 」、「日本語文法 ・ 」、「漢文講読 ・ 」

担当者が異なる場合

**担当者が異なる場合は、同じ科目名でも別科目とみなし、再履修・再々履修は共に必修科目として履修できる（A欄申告）。**

担当者が同じ場合

**同じ科目名で担当者も同一の場合は、再履修は選択科目（B欄51）となり、再々履修は自由科目（B欄99）となる。**

なお、同一担当者の科目を再履修する場合、～ の科目群においては、それぞれの科目群につき合計8単位まで、の科目群においては2単位までは選択科目として履修できるが、それ以降は自由科目となる。

### (3) 研究会の履修方法

国文学研究会 ・ は(A)藤原・(B)川村・(C)佐藤・(E)石川・(F)屋名池・(G)松村担当のうち同一担当者によるいずれか1組(2科目)を第4学年で履修する。これは卒業論文指導であるから、論文のテーマ等を考え、指導を受けようとする教員の研究会を選ぶこと。なお、第2学年と第3学年では国文学研究会 ・ は履修できない。また、第4学年で2組以上の「国文学研究会」を履修することはできない。

# 中国文学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-09-11	[セ]中国古典文学史 ・ (各2)	38単位	
		[セ]中国現代文学史 ・ (各2)		
	[セ]中国語学概論 ・ (各2)			
	30-09-12	中国文学特殊 ・ (各2) 中国語学特殊 ・ (各2) 中国語表現演習 ~ (各1)		
	30-09-21	中国文学演習 ~ (各1) のうち8科目(8)		
研究会	30-09-31	中国語学・中国文学研究会 ・ (各1)		
卒試	30-09-41	卒業試験(卒業論文)		
選択科目	研究会	30-09-32	中国語学・中国文学研究会 ・ (各1)	} のうち12単位以上を含めなければならない。 38単位以上
	指定選択	30-09-51	必修科目として履修しない中国文学演習 ~ (各1) 中国語会話特殊 ~ (各1) [全専攻共通科目] 漢文講読 ~ (各1) [全専攻共通科目] 中国哲学 ・ (各2) [倫理学専攻設置] [セ]東洋史概説 ・ (各2) } [東洋史学専攻設置] [セ]東洋史概説 ・ (各2) [セ]東洋史概説 ・ (各2)	
	選択	30-09-55	上記以外の大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	

## 2 必修科目

【第2学年】

(1) 進級条件科目

「中国古典文学史 ・ 」, 「中国現代文学史 ・ 」, 「中国語学概論 ・ 」

(2) 指定必修科目(第2学年で履修することが望ましい)

「中国語表現演習 ・ ・ ・ 」, 「中国文学演習 ・ ・ ・ 」

【第3・4学年】

(1) 指定科目(第3学年または第4学年のいずれで履修してもよい)

「中国文学特殊 ・ 」, 「中国語学特殊 ・ 」, 「中国語表現演習 ~ 」, 「中国文学演習 ~ 」

「中国語学・中国文学研究会 ~ 」

【卒業論文】

卒業試験は卒業論文によって行う。4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修申告すること(研究会とは別の登録番号がある)。

### 3 選択科目

指定選択科目の中には、下記(1)～(6)の科目のうちから12単位以上を含めること。

- (1)「中国語学・中国文学研究会 Ⅰ」(各1)
- (2)必修科目として履修しない「中国文学演習 Ⅰ」(各1)
- (3)「中国語会話特殊 Ⅰ」(各1)
- (4)「漢文講読 Ⅰ」(各1)
- (5)「中国哲学 Ⅰ」(各2)
- (6)「東洋史概説 Ⅰ」(各2)

### 4 各学年共通

#### (1) 重複履修の取り扱いについて

第3学年ですでに単位を取得した中国文学専攻設置の必修科目・選択科目を第4学年で再度履修する場合は、科目担当者が異なる場合、8単位まで選択科目として認める。この際、専攻担任の承認が必要である。

#### (2) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い

「中国文学演習 Ⅰ」は、計12科目のうち8科目を必修科目として履修する。それ以上さらに履修する場合は、選択科目として履修することができる(A欄申告)。

#### (3) 研究会の履修方法

研究会は、第3・4学年と続けて、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に履修することが望ましい。Ⅰは春学期科目、Ⅱは秋学期科目であるが、原則としてⅠとⅡをそれぞれ同一学年で続けて履修すること。学則上、ⅠとⅡは必修科目、Ⅲは選択科目であるが、Ⅲは卒業論文指導を主体とする必修に準ずる科目であるので履修することが望ましい。履修しない場合は、必ず専攻担任に申し出ること。

また、第3学年で研究会Ⅰが不合格だった場合は、第4学年で再度履修し単位を取得しなければ卒業できない。

# 英米文学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [要]: 要件科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位
必修科目	30-10-11	[要] 英語史 ・ (各2) [要] 英文学史 ・ (各2) [要] 米文学史 ・ (各2) [要] 現代英語学 ・ (各2) [要] 英語英米文学基礎講読 (A)~(G)・ (A)~(G)(各1)・・・2年指定必修	40単位
		30-10-12	
	30-10-21	英語学演習 ~ (各1) 英文学演習 ~ (各1) 米文学演習 ~ (各1) } のうち10単位	
	30-10-31	[要] 英語学研究会 ・ (各1) [要] 英語学研究会 ・ (各1) [要] 英文学研究会 ・ (各1) [要] 英文学研究会 ・ (各1) } のうち同分野同担当者4科目(4)	
		[要] 米文学研究会 ・ (各1) [要] 米文学研究会 ・ (各1)	
30-10-41	卒業試験(卒業論文)		
選択科目	30-10-51	英米文学専攻設置の以下の科目を含める 英語学 ~ (各2) 英文学 ~ (各2) 米文学 ~ (各2) [要] アカデミック・ライティングA~E ・ A~E (各1)	32単位以上
	30-10-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	

## 2 必修科目

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

必修科目の「英語史 ・ 」,「英文学史 ・ 」,「米文学史 ・ 」,「現代英語学 ・ 」,「英語英米文学基礎講読 ・ 」のうち3種類6科目以上。これらは要件科目であり,各科目の ・ 双方の単位を取得した場合のみ進級条件を満たしたものとみなす。また,「英語英米文学基礎講読 ・ 」および「 ・ 」は第2学年で取得することが望ましい。しかし,第2学年において,「英語英米文学基礎講読 ・ 」あるいは「 ・ 」が不合格となっても,上記の5種類10科目中3種類6科目に合格していれば,進級条件を満たすことになる。

### 【第3学年】

#### (1) 進級条件科目

「研究会 ・ 」および「研究会 ・ 」

### 【卒業論文】

4年生は「研究会 ・ 」ならびに「研究会 ・ 」とともに必ず「卒業試験(卒業論文)」も履修申告すること。「卒業試験(卒業論文)」は,「研究会」とは別の登録番号があるので注意されたい。第4学年で留年した場合,



前年度すでに「卒業試験（卒業論文）」に合格していても、再度履修する必要がある（ただし、既に取得した「研究会」「研究会」の単位は有効）。

### 3 選択科目

選択科目として、授業科目系列表に示した32単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 4 各学年共通

#### (1) 必要単位数を超えて履修した必修科目の取り扱い

選択必修科目である「英語学演習 ～ 」、「英文学演習 ～ 」、「米文学演習 ～ 」（分野30-10-21）の3種類のみ、必修指定単位数（10単位）を超えて履修した場合は選択科目とみなし、卒業単位として扱う。

#### (2) 重複履修の取り扱い

選択必修科目である「英語学演習 ～ 」、「英文学演習 ～ 」、「米文学演習 ～ 」（分野30-10-21）の3種類のみ、同一担当者の同一科目の重複履修が認められる。その場合、1度目は必修科目として、2度目は選択科目として認められるが、3度目以降は自由科目となる。また、同一科目だが担当者が異なる場合は別科目と認め、それぞれ必修科目として履修することができる。

英米文学専攻設置の選択科目の「英語学 ～ 」、「英文学 ～ 」、「米文学 ～ 」、「アカデミック・ライティングA～E ・A～E 」は、たとえ同一科目であっても担当者が異なれば別科目と認める。同一担当者による同一科目は自由科目として履修すること。

#### (3) 要件科目の取り扱い

要件科目である「英語史 ・ 」、「英文学史 ・ 」、「米文学史 ・ 」、「現代英語学 ・ 」、「英語英米文学基礎講読 ・ 」、「古代中世英語学 ・ 」、「英語音声学 ・ 」、「アカデミック・ライティングA～E ・A～E 」においては、先に取得した各科目「 」の単位は担当者を問わず有効であるとみなし、別担当者による「 」の履修を認める。

#### (4) 演習科目の履修上の注意

「英語学演習 ～ 」、「英文学演習 ～ 」、「米文学演習 ～ 」は、原則として英米文学専攻の学生を対象とする。ただし、教職課程（英語科）履修者の場合は、定員の範囲内で他専攻の学生も受け入れる場合がある。演習は原則として定員を15名とする。

「英語学演習 ～ 」、「英文学演習 ～ 」、「米文学演習 ～ 」は、第2学年では2単位、第3学年では8単位までしか履修を認めない。第4学年では特に上限を設けない。

#### (5) 「研究会」の履修上の注意

第3・4学年の2年間にわたって同一担当者の科目を履修する。第3学年においては、「研究会 」および「研究会 」を、第4学年においては「研究会 」および「研究会 」を履修すること。

「研究会 」、「研究会 」、「研究会 」、「研究会 」のそれぞれを、同一学年で2科目以上履修することできない。またこれらを第2学年で履修することはできない。

### 5 その他

#### (1) 「研究会」志望上の注意

第3学年においてどの「研究会」を選ぶかは、第2学年中に行われるガイダンスに出席して各自の希望で決め、定められた期日までに志望票を提出すること。ただし、希望者多数の研究会では選抜が行われることがある。なお、以上の手続きを経たうえで担当教員の承認を受けなければ、「研究会」の履修は認められない。

#### (2) 各学年共通の注意

留年者、復学者、学士入学者、第2学年編入者は、必ず英米文学専攻担任の面接を受けること。

履修案内を熟読してもなお不明の点がある場合は、必ず専攻担任に尋ねて疑問を解消し、後に困難な事態に立ち至らぬよう留意されたい。

# 独文学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 [要]: 要件科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必 要単位	
必修科目	30-11-11	テキスト研究中級 ・ (各1)	44単位	
	30-11-12	[要]ドイツ文学史 ・ (各2) ドイツ文化史 ・ (各2)		
	30-11-13	ドイツ語学研究 ・ (各2)		
	30-11-14	現代ドイツ研究 ~ (各2)		
	30-11-21	テキスト研究上級 ~ (各1) のうち2科目(2)		
	30-11-22	ドイツ語作文初級 ・ (各1) ドイツ語作文中級 ・ (各1) コミュニケーション・ドイツ語中級 ~ (各1) コミュニケーション・ドイツ語上級 ~ (各1) ドイツ文法研究 ・ (各1) } のうち6科目(6)		
	30-11-23	演劇・メディア研究 ・ (各2) ゲーテ時代研究 ・ (各2) ドイツ文化研究 ~ (各2) [要]プロゼミナール ・ (各2) } のうち4科目(8)		
	ゼミ	30-11-31		ドイツ語学文学ゼミナール ~ (各1) のうち6科目(6)
	卒試	30-11-41		卒業試験(卒業論文)
	選択科目	30-11-55		大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目

## 2 必修科目

### 【第2学年】

#### (1) 指定科目

以下の科目は、第2学年で履修すべき科目として指定されている。第2学年で単位を取得できなかった場合は、第3学年で再度履修することが望ましい。ただし、学生個々の進度に応じて学年にこだわらずに履修することも認められる。

- ア 「テキスト研究中級 ・ 」
- イ 「ドイツ文学史 ・ 」
- ウ 「ドイツ語作文初級 ・ 」, 「ドイツ語作文中級 ・ 」のうち2科目
- エ 「コミュニケーション・ドイツ語中級 ・ ・ ・ 」(この4科目を同一学年で並行して履修することが望ましい)
- オ 「プロゼミナール ・ 」(春秋連続して履修することが望ましい)
- カ 「現代ドイツ研究 ・ 」

## 【第3学年】

### (1) 指定科目

以下の科目は、第3学年で履修すべき科目として指定されている。第3学年で単位を取得できなかった場合は、第4学年で再度履修すること。ただし、学生個々の進度に応じて学年にこだわらずに履修することも認められる。

ア 「テキスト研究上級 ～ 」のうち2科目

イ 「コミュニケーション・ドイツ語上級 ・ ・ ・ 」(この4科目は同一学年で並行して履修することが望ましい)

ウ 「現代ドイツ研究 ・ 」

## 【卒業論文】

卒業試験は卒業論文によって行う。

4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修申告すること(研究会とは別の登録番号があります)。

## 3 選択科目

選択科目として、授業科目系列表に示した32単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

## 4 各学年共通

### (1) 重複履修の取り扱いについて

- ・ 「ドイツ語学文学ゼミナール(研究会)」以外の必修科目に関しては、選択科目として重複履修が認められる(A欄申告)。
- ・ 「ドイツ語学文学ゼミナール」は例外的に6単位まで必修科目として重複履修が可能である(A欄申告)。

### (2) 必要単位数を超えて履修した必修科目の取り扱い

必修科目の取得単位が必要単位数を超えたときには、自動的に選択科目の単位とみなされる。

### (3) 「ドイツ語学文学ゼミナール」の履修方法

「ドイツ語学文学ゼミナール」のいずれかの担当者を指導教授として、卒業論文作成にあたっての承認と指示を受けること。指導を受けたいと望む教員のゼミナールには、第3学年と第4学年の2年間、継続して履修することが望ましい。

ドイツ語学文学ゼミナール ～ はいくつ履修してもよいが、6単位までを必修単位とし、それを超えて履修する場合には選択科目とみなす(A欄申告)。

# 仏文学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】 以下の表を用いて履修申告する授業科目の分野番号を確認すること。

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位		
必修科目	基礎コース	30-12-11 フランス語学演習 ・ (各1) フランス語表現演習 ~ (各1)	40単位		
		30-12-12 フランスの文化と歴史 ・ (各2) フランス文学史 ・ (各2)			
	専門コース	30-12-21 フランス文学と近代 ~ (各2) フランス文学と現代 ・ (各2)		} のうち6科目(12)	
		30-12-22 フランス文学史 ・ (各2) フランス語学 ・ (各2)			
		30-12-23 フランス語学演習 ~ (各1) フランス語表現演習 ~ (各1) フランス文学演習 ~ (各1)		} のうち12科目(12)	
		30-12-31 フランス語学文学研究会 ・ (各1) : 3年次履修			
		30-12-32 フランス語学文学研究会 ・ (各1) : 4年次履修			
		30-12-41 卒業試験(卒業論文)			
	選択科目	30-12-55		大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	36単位以上

## 2 必修科目

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

第3学年に進級するためには、「フランス語学演習 ・ 」,「フランス語表現演習 ~ 」のうち5科目(5単位)以上を修得しなければならない(基礎コースの他の科目も第2学年で履修することが望ましい)。

#### (2) 第2学年インテンシヴ科目

専門コースの演習科目の中には,初級フランス語終了者の学力強化を目的とした科目が設けられている(詳細は「講義要綱」を参照)。2年生で集中的に学習したい者は履修すること。

### 【第3学年】

#### (1) 指定科目

「フランス語学文学研究会 」,「フランス語学文学研究会 」

(2) 専門コースの科目は第3・4学年で履修することが望ましい。ただし,上記の「第2学年インテンシヴ科目」は除く。

### 【第4学年】

#### (1) 学年指定必修科目

「フランス語学文学研究会 」,「フランス語学文学研究会 」

## (2) 卒業論文

卒業試験は卒業論文によって行う。ただし、第4学年で留年した場合は、再度提出が必要。

4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験（卒業論文）」を必ず履修申告すること（研究会とは別の登録番号がある）。

## 3 選択科目

「4-(1)：重複履修の取り扱いについて」と「4-(2) 超過履修の取り扱い」を参照のこと。

## 4 各学年共通

### (1) 重複履修の取り扱い

同一名称の科目の重複履修は認めない。文学部時間割表の科目名の後ろのアルファベットが異なっても同一科目名とみなされる。

ただし、「フランス語学演習 ～ 」、「フランス語表現演習 ～ 」、「フランス文学演習 ～ 」（分野番号 30-12-23）に限り、選択科目として重複履修が可能である。（分野 30-12-55:履修申告の際は B 欄分野番号 55 を記入）

### (2) 超過履修の取り扱い

必修科目専門コースの単位を指定数を超えて取得した場合は、これらを選択科目の単位とみなし、卒業単位として取り扱う。

### (3) 研究会の履修方法

「フランス語学文学研究会 ・ 」は、第3学年で指定科目として履修し、「フランス語学文学研究会 ・ 」は、第4学年で必修科目として履修すること。なお、第4学年で留年しても、研究会の単位自体は有効である。

また、第2学年では研究会は履修できない。第3学年以上でも、原則として1学年の間に3科目以上履修することはできない。但し、第3学年時に留学する場合に限り、帰国後第4学年の秋学期に集中して研究会を履修することができる。

# 図書館・情報学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 注意事項

- (1) 履修の際の注意点は、学年初めのガイダンスで指示するので、必ず出席すること。
- (2) 学士入学者、留年者は、専攻担任のガイダンスを必ず受けること。
- (3) 2年生は、授業開始までに三田ITCでアカウント申請手を済ませること。

## 2 専門教育科目およびその単位数

図書館・情報学専攻における専門教育科目の必修科目および選択科目とその単位数は次の通りである。

必修科目		選択科目	
図書館・情報学基礎 (2) 図書館・情報学文献講読 (各1) 情報サービス基礎 (2) 情報サービス基礎 (2) 情報検索基礎 (2) 情報検索基礎 (2) 情報メディア基礎 (2) 情報メディア基礎 (2) 図書館・情報学研究法 (2) [セ] 図書館・情報学研究会 (各1)	20 単 位 以 上	図書館の計画と経営 (2) レファレンス・サービス論 (2) 図書館資料論 (2) 資料組織論 (2) コミュニケーション史 (2) 児童サービス論 (2) [セ] 図書館実習 (各1) 図書館活動論 (各2)	28 単 位 以 上
		情報メディア概説 (2) 情報メディアの構造と分析 (2) 情報認識の基礎 (2) 印刷メディア (2) デジタルメディア (2) 学術情報メディア論 (2) 社会情報論 (2)	
		情報検索概説 (各2) 情報探索行動 (2) データベース論 (2) デジタルアーカイブ論 (2) 情報処理技術 (2) 自然言語処理の基礎 (2) 画像・映像処理の基礎 (2)	
		書誌学 (各2)	
卒業試験 (卒業論文)		本大学設置 (学部学則第35条3項参照) の専門教育科目	24単位以上

[セ]: セット履修科目

## 3 履修上の注意

### 【各学年共通】

- (1) 図書館・情報学を専攻する者は、図書館・情報学専攻専門教育科目の必修科目20単位、指定選択科目28単位以上およびその他の専門教育科目24単位以上、計72単位以上を修得しなければならない。ただし、その他の専門教育科目に図書館・情報学専攻設置の専門教育科目を含めることはできない。
- (2) 必修科目20単位は、特別の場合を除き、第2学年において16単位、第3学年において2単位、第4学年において2単位を履修するように配分されている。
- (3) 第2学年の必修科目および第3学年以降のコース必修科目をその年次で修得しなかった場合、時間割の関係上翌年度に両科目を履修することが不可能になり、卒業が遅れることがあるので留意されたい。
- (4) 図書館・情報学研究法は3年次に、また図書館・情報学研究会は4年次に、それぞれ指定された必修科目であって、他の学年次および他の専攻の者は自由科目としても履修できない。
- (5) 司書教諭資格の取得を希望する者は、教員免許取得に必要な科目の他、原則として教職課程センターに設置されている「学校経営と学校図書館」、「学校図書館メディア論」、「学習指導と学校図書館」、「読書教育論」、「情報メディア利用論」の5科目を履修しなければならない。希望者は必ず専攻担任に相談すること。

(6) 「情報」科をはじめとする各教科の教員免許の取得を希望する者は、教職課程センターが実施するガイダンスに必ず出席すること。

### 【2年生】

(7) 原則として、2年生は図書館・情報学専攻が設置する指定選択科目を履修することはできない。ただし、2年生で留年した者については、専攻担任と面談のうえ、履修を認める場合がある（その場合は必ずB欄申告すること）。

(8) 第3学年に進級するためには、第2学年に配分されている必修科目9科目（16単位）のうち、6科目以上を修得しなければならない。

### 【3年生】

(9) 図書館コース、情報メディアコース、情報検索コースのいずれか一つのコースを選択する。各コースごとに、コース必修科目と、コース選択科目が授業科目系列表のように定められているので、その指示通りに履修しなければならない。

(10) 3年生は履修申告に際して所属コースを明記すること。

(11) 司書資格の取得を希望するものは、図書館・情報学専攻を卒業し、図書館コースで指定されている必修8科目、および「図書館活動論 ～ 」のうちから2科目以上を修得しなければならない。なお、これらの科目は、情報メディアコースおよび情報検索コースで指定されているコース選択科目の中を含めることができる。

(12) 第4学年に進級するためには、「図書館・情報学研究法」を修得しなければならない。

### 【4年生】

(13) 4年生は履修申告に際して所属コースを明記すること。

(14) 文学部時間割に記載されている「卒業試験（卒業論文）」を必ず履修申告すること（研究会とは別の登録番号である）。卒業試験は卒業論文によって行う。卒業論文提出にあたっては、9月に開催される中間発表会および提出後に行われる最終面接に出席しなければならない。

(15) 司書資格の取得を希望するものは、上の（11）の指示に従うこと。

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)				卒業必要単位	
必修科目	必修2年 30-13-01	2年次	図書館・情報学基礎(2) 図書館・情報学文献講読・(各1) 情報サービス基礎(2) 情報サービス基礎(2) 情報検索基礎(2) 情報検索基礎(2) 情報メディア基礎(2) 情報メディア基礎(2)		20 単位		
	研究会 30-13-02	3年次 4年次	図書館・情報学研究法(2) [セ] 図書館・情報学研究会・(各1)				
	卒業試験 30-13-11	卒業試験(卒業論文)					
指定選択科目 3・4年次	図書館コース		情報メディアコース		情報検索コース		
	分野 (B欄)	授業科目名(単位)	分野 (B欄)	授業科目名(単位)	分野 (B欄)	授業科目名(単位)	
	図必修 30-13-21 (21)	図書館の計画と経営(2) レファレンス・サービス論(2) 図書館資料論(2) 資料組織論(2) コミュニケーション史(2) 児童サービス論(2) [セ] 図書館実習・(各1)	メ必修 30-13-31 (31)	情報メディア概説(2) 情報メディアの構造と分析(2) 情報認識の基礎(2) 印刷メディア(2) デジタルメディア(2) 学術情報メディア論(2) 情報探索行動(2)	検必修 30-13-41 (41)	情報検索概説(2) 情報検索概説(2) 情報探索行動(2) データベース論(2) デジタルアーカイブ論(2) 情報処理技術(2) 資料組織論(2)	14 単位
	図指定 選択 30-13-22 (22)	図書館活動論(2) 図書館活動論(2) 図書館活動論(2) 図書館活動論(2) のうち、2科目4単位以上	メ指定 選択 30-13-32 (32)	社会情報論(2) 図書館資料論(2) 資料組織論(2) コミュニケーション史(2) デジタルアーカイブ論(2) のうち、2科目4単位以上	検指定 選択 30-13-42 (42)	レファレンス・サービス論(2) 情報メディアの構造と分析(2) 情報認識の基礎(2) 自然言語処理の基礎(2) 画像・映像処理の基礎(2) のうち、2科目4単位以上	28 単位
コース 選択 30-13-23 (23)	図書館コースのコース必修科目(図必修)以外の指定選択科目(注1)また、それ以外に次の科目もコース選択科目として履修することができる。 ・書誌学・(各2) 図指定選択とコース選択の両方あわせて14単位以上を履修すること	14 単位 コース 選択 30-13-33 (33)	情報メディアコースのコース必修科目(メ必修)以外の指定選択科目(注2)また、それ以外に次の科目もコース選択科目として履修することができる。 ・書誌学・(各2) メ指定選択とコース選択の両方あわせて14単位以上を履修すること	14 単位 コース 選択 30-13-43 (43)	情報検索コースのコース必修科目(検必修)以外の指定選択科目(注3)また、それ以外に次の科目もコース選択科目として履修することができる。 ・書誌学・(各2) 検指定選択とコース選択の両方あわせて14単位以上を履修すること	14 単位	
選択 科目	30-13-55 (55)	本大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目				24 単位 以上	

指定選択科目のB欄分野番号は2年留年者のみ使用(B欄分野番号は上表参照)

注1:メ必修,検必修,図指定選択,メ指定選択,検指定選択の分野科目がそれにあたる

注2:図必修,検必修,図指定選択,メ指定選択,検指定選択の分野科目がそれにあたる

注3:図必修,メ必修,図指定選択,メ指定選択,検指定選択の分野科目がそれにあたる







## 【第3・4学年】

## (1)「卒業論文コース」

「卒業論文コース」を選択した者は、第3・4の両学年において、社会学研究会（・・・）を修得しなければ、最終年度において卒業論文を提出する資格を得ることができない。第4学年で別の担当者の研究会に変更し、その担当者に卒論を提出することを希望する場合は、変更前・変更後の担当者との相談を、履修申告前に行わなければならない。なお「卒業論文コース」の者が、研究会担当者の承認を受けて中途および第4学年で「非卒業論文コース」に移行することもありうる。ただし、第4学年で、履修届の提出後においては、移行できない。

## (2)「非卒業論文コース」

「非卒業論文コース」の者は、4年次において次の～の卒業試験指定科目のうち、のいずれかを修得し、さらに同一分野の卒業試験に合格しなければならない。

コミュニケーション学 ・  
宗教社会学 ・  
家族・親族論 ・

## 【第4学年】

(1) 卒業に必要な単位数を充足しても、卒業論文コースの者は卒業試験（卒業論文）、非卒業論文コースの者は卒業試験（社会学専攻）に合格しなければ卒業できない。

4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験」を必ず履修申告すること。

(2) 非卒業論文コースの者に課せられる卒業試験については、卒業試験指定科目が決められている。非卒業論文コースの者は、4年次（卒業年次）において次の～の卒業試験指定科目のうち、のいずれかを修得し、さらに同一分野の卒業試験に合格しなければならない。指定科目が前年度までに修得済みであっても、改めて4年次（卒業年次）において自由科目として履修・合格しなければならない。卒業試験指定科目は以下のとおりである。

コミュニケーション学 ・  
宗教社会学 ・  
家族・親族論 ・

(3) 4年次留年者は改めて「卒業試験」を履修申告し合格しなければならない（4年次に「卒業試験」に合格していても、改めて、卒業試験指定科目および卒業試験を、あるいは4年次研究会および卒業論文を自由科目として履修申告しなければならない）。

## 3 各学年共通

## (1) 重複履修の取り扱いについて

過年度に修得済みの科目を再履修する場合は自由科目となる。

## (2) 必要単位数を超えて履修した必修科目の取り扱い

選択必修科目（分野30-14-21）を指定単位数を超えて履修した場合は選択科目の単位とみなし、卒業単位として取り扱う。

## (3) 研究会の履修方法

研究会は、選択科目または自由科目として申告することになるので、次の分野番号で申告すること。

	研究会 ・	研究会 ・
3年生が履修する場合	A欄申告	自由科目（B欄分野番号99）
4年生が履修する場合	自由科目（B欄分野番号99）	A欄申告

2年生で履修することはできません。

# 心理学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

心理学専攻における専門教育科目の必修科目および選択科目とその単位数は次の通りである。

【授業科目系列表】 [要]: 要件科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要 単位
必修科目	30-15-11	[要] 知覚心理学 ・ (各2)      [要] 発達心理学 ・ (各2)	38単位
		[要] 行動分析学 ・ (各2)      認知心理学 ・ (各2)	
	30-15-12	心理測定論(2) 心理学史(2)	
	30-15-13	[要] 心理統計 ・ (各2)	
	30-15-14	心理学原典講読 ・ (各1)	
	30-15-15	[要] 心理学実験 ・ (各2)	
	研究会	30-15-31 [要] 心理学研究会 ・ (A)-(F)(各1) 30-15-32 [要] 心理学研究会 ・ (A)-(F)(各1)	
卒試	30-15-41 卒業試験(卒業論文)		
選択科目	指定選択	30-15-51 心理学専攻設置の専門選択科目(【専攻設置科目表】を参照) 心理学専攻以外の人間関係学系設置の必修科目	20単位以上
	選択	30-15-55 大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	34単位以上

## 2 進級条件科目および各学年指定専門教育科目

	学年指定専門教育科目	進級条件科目
第2学年	心理学原典講読 (1)    心理学原典講読 (1) [要] 知覚心理学 (2)    知覚心理学 (2) [要] 発達心理学 (2)    発達心理学 (2) [要] 行動分析学 (2)    行動分析学 (2) 認知心理学 (2)      認知心理学 (2) 生物心理学 (2)      生物心理学 (2) [要] 心理統計 (2)      心理統計 (2)	心理学原典講読 (1) 心理学原典講読 (1) 知覚心理学・発達心理学・ 行動分析学・認知心理学・ 生物心理学の各 , } のうち, 12単位
第3学年	心理測定論(2)      心理学史(2) [要] 心理学実験 (2)    心理学実験 (2) [要] 心理学研究会 (1)    心理学研究会 (1)	心理学実験 (2) 心理学実験 (2) 心理学研究会 (1) 心理学研究会 (1)
第4学年	[要] 心理学研究会 (1)    心理学研究会 (1)	

### 3 各学年共通

(1) 重複履修の取り扱いについて

心理学専攻設置の専門選択科目で担当者の異なる科目については重複履修を認め、指定選択科目の必要単位として取り扱う。

(2) 心理学研究会の履修方法

同一担当者の研究会 ～ を第3・4学年にわたり履修することを原則とする。また、第3学年では心理学研究会 ， を、第4学年では心理学研究会 ， を自由科目（B欄99）として履修することを原則とする。

(3) 卒業試験（卒業論文）について

卒業試験は卒業論文によって行う。卒業論文は履修する心理学研究会 の担当者に提出し、その審査に合格しなければならない。第4学年は文学部時間割に記載されている「卒業試験（卒業論文）」を必ず履修申告すること（研究会とは別の登録番号がある）。

(4) 各心理学特殊について

知覚心理学・発達心理学・行動分析学・認知心理学・生物心理学の各 ・ ・特殊では、特殊の授業内容は ， で学んだ知識を前提としている。よって、同系統 ， の単位を取得してから特殊を履修することを強く勧める。

(5) 学年指定専門教育科目の履修についての注意

各学年の指定専門教育科目をその年次で履修しない場合、時間割の関係上翌年度に履修することが不可能になり、卒業が遅れることがあるので留意されたい。

#### 【専攻設置科目表】

専 門 選 択 科 目	知覚心理学特殊（2）	心理学特殊 ～ （各2）
	発達心理学特殊（2）	臨床心理学 ・ （各2）
	行動分析学特殊（2）	
	認知心理学特殊（2）	
	生物心理学特殊（2）	

# 教育学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

- (1) 教育学専攻設置の学科目は [ 必修科目 (研究会・卒試を含む) ], [ 選択必修科目 ] および [ 指定選択科目 ] から構成され, その単位数は以下の通りである。
- (2) 卒業までに必修16科目(26単位), 選択必修16科目のうち8科目(16単位), 研究会4科目(4単位), 選択科目(指定選択科目を含む)26単位以上を履修しなければならない(履修方法に関しては後述の規定に従うこと)。
- (3) 卒業試験は卒業論文によって行なう(卒業論文の指導担当者は研究会担当者と同一)。

【授業科目系列表】 [要]:要件科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位
必修科目	30-16-11	教育学概論 ・ (各2) 教育学原典講読 ・ (各1)	46単位
	30-16-12	教育史 ・ (各2) 教育学史 ・ (各2) 比較教育学 ・ (各2) 教育心理学概論 ・ (各2)	
	30-16-13	[要] 教育学演習 ・ (各1) [要] 教育学演習 ・ (各1)	
	30-16-21	教育学特殊A(2), 教育学特殊B(2) 教育学特殊C(2), 教育学特殊D(2) 教育学特殊E(2), 教育学特殊F(2) 教育学特殊G(2), 教育学特殊H(2) 教育学特殊I(2), 教育学特殊J(2) 教育学特殊K(2), 教育学特殊L(2) 教育学特殊M(2), 教育学特殊N(2) 教育学特殊O(2), 教育学特殊P(2) } このうち8科目(16)以上	
	研究会	30-16-31 [要] 教育学研究会 ・ (各1) 30-16-32 [要] 教育学研究会 ・ (各1)	
	卒試	30-16-41 卒業試験(卒業論文)	
	選択科目	指定選択	
選択		30-16-55 大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	

## 2 履修上の規定

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

教育学概論 ，教育学概論 ，教育学原典講読 ，教育学原典講読

#### (2) 教育学原典講読 ・ の履修について

原則として4名の教員（ ・ ・ ・ ）が担当する。第2学年の履修者は、4つのグループに分かれてもらう（グループ編成は専攻担任が決定する）。教育学原典講読（春学期）で が担当したグループを、教育学原典講読（秋学期）では が担当する。春学期に が担当したグループは、秋学期には が担当する。同様にと についても入れ替わる。自分が所属するグループの ・ それぞれの担当者名をきちんと確認した上で、履修申告すること。

### 【第3学年】

第3学年の学生は、必ずいずれかの同一担当者の教育学演習 ・ 教育学演習 ，教育学研究会 ・ 教育学研究会 を履修すること。これらは第4学年への進級条件科目である。教育学演習 を修得しなければ教育学演習 は履修できない。同様に教育学研究会 を修得しなければ教育学研究会 は履修できない。ただし履修申告時には、あらかじめそれぞれの ・ をあわせて申告しておくこと。なお、研究会は卒業論文指導のために設けられたものであり、演習と密接な関係をもっている。したがって演習と同じ担当者の研究会を履修すること。

### 【第4学年】

第4学年の学生は、必ず教育学演習 ・ 教育学演習 ，教育学研究会 ・ 教育学研究会 を履修すること。教育学演習 を修得しなければ教育学演習 は履修できない。同様に教育学研究会 を修得しなければ教育学研究会 を履修できない。ただし履修申告時には、あらかじめそれぞれの ・ ，および「卒業試験（卒業論文）」（研究会とは別の登録番号がある）をあわせて申告しておくこと。なお、それらは第3学年次に履修した教育学演習 ・ 教育学演習 ，教育学研究会 ・ 教育学研究会 と同一担当者のものであることが原則である。

## 3 各学年共通

#### (1) 必要単位数を超えて履修した必修科目の取り扱い

必修科目の中の選択必修科目（教育学特殊A～P）について指定単位数を超えて履修した場合、その超過分は選択科目とみなし卒業単位として取り扱う。ただし、同一名称科目を卒業時までには再度履修した場合は自由科目扱いとなり、選択必修科目や選択科目とみなされることはない。

#### (2) 指定選択科目について

指定選択科目とは、高度専門的に教育学研究を目指す場合に必要と考えられる方法や内容に焦点を当てた科目である。したがって、専攻の設置する専門教育科目ではあるものの、あえて必修科目とはせず、選択科目扱いとしている。各研究会でより高度な卒業論文執筆を目指す学生や、大学院進学を考えている学生の積極的履修を望む。

#### (3) 教育研究法 ・ ，教育測定実験 ・ の履修について

教育研究法 を修得しなければ教育研究法 は履修できない。同様に、教育測定実験 を修得しなければ教育測定実験 は履修できない。ただしそれぞれの科目について、同一年次に および をあわせて履修することを希望する場合には、履修申告時に、あらかじめ とともに を申告しておくこと。

#### (4) その他

第4学年で留年した場合、未修得の卒業要件科目とあわせて、必ず「卒業試験（卒業論文）」（研究会とは別の登録番号がある）を履修申告すること。

# 人間科学専攻

(平成21年度第2・第3学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

人間科学専攻が今年度開講する必修科目(～類)および選択科目とその単位数,および進級条件・卒業までに必要な単位数は次の通りである。

【授業科目系列表】 [セ]: セット履修科目

種類	分野番号	授業科目名(単位)	備考	卒業必要単位		
必修科目	類4単位	30-17-11	人間科学基礎(2) 人間科学研究法基礎(2)	第2学年次進級条件科目 これらに1科目でも不合格(D)があれば第3学年に進級することができない。	38単位以上	
		類8単位	30-17-12	人間科学諸領域Ⅰ～(各2)		第2学年次履修指定科目 第2学年次に履修することを原則とする。第2学年次中に最低2科目(4単位)を選択履修し,合格すること。この条件が充足されなかった場合は第3学年次に進級することができない。
	類26単位		30-17-21	人間科学研究法(2) 人間科学研究法(4) [セ]人間科学研究法・(各2) 人間科学演習(2) [セ]人間科学演習・(各1) 人間科学特殊(2) 人間科学特殊(4) [セ]人間科学特殊・(各2)		この類より26単位以上を選択して履修する。
		30-17-31		[セ]人間科学研究会(A)~(J)・(A)~(J)(各1)コースA		
		30-17-32		[セ]人間科学研究会(A)~(J)・(A)~(J)(各1)コースA		
		30-17-33		人間科学卒業研究(2)コースB		
	30-17-41	卒業試験(卒業論文)コースA				
30-17-42	卒業試験(人間科学専攻)コースB					
選択科目	30-17-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目(1または2または4)	34単位以上を履修する類として履修しなかった科目を選択科目として履修することができる。	34単位以上		

今年度開講される類科目(人間科学研究法・人間科学演習・人間科学特殊)は以下の通りである。

人間科学研究法	(観察・実験ⅳ4)(データ解析ⅳ4)(測定と記述ⅳ4)
[セ]人間科学研究法・	(計量と解析ⅳ各2)
人間科学演習	(文献講読ⅳ2)
[セ]人間科学演習・	(洋書講読ⅳ各1)(ワークショップⅳ各1)(調査法ⅳ各1)
人間科学特殊	(比較文化関係論ⅳ2)(精神病理学ⅳ2)(精神分析学ⅳ2)(芸術と人間ⅳ2) (スポーツ社会心理学ⅳ2)(スポーツメディア論ⅳ2)(インタフェース論ⅳ2)(現代日本人のライフスタイルⅳ2)(現代日本人のライフスタイルⅳ2)(都市生活と景観ⅳ2)(都市生活と景観ⅳ2) (開発と文化ⅳ2)(文化と技術ⅳ2)(意思決定論ⅳ2)(キャリア発達論ⅳ4)(キャリア発達論ⅳ4)
[セ]人間科学特殊・	(現代家族論ⅳ各2)(パーソナリティ研究ⅳ各2)(臨床心理学ⅳ各2) (コミュニティ心理学ⅳ各2)(米国の多民族社会と文化ⅳ各2)(組織行動論ⅳ各2) (ライフパン発達論ⅳ各2)(女性とキャリアⅳ各2)(幕末・明治維新期の日本人像ⅳ各2)



## 2 第3学年時におけるコースの選択とその決定

- (1) 第3学年次において、「卒業論文」(ゼロ単位)をもって「卒業試験」に代替するコース(以下、コースAとよぶ)、または、「卒業試験」(ゼロ単位)を卒業の要件とするコース(以下、コースBとよぶ)のいずれかを選ばなければならない。
- (2) コースAを志望する学生は、第2学年次の秋学期に行われるガイダンスに基づいて、「卒業論文」の指導を仰ぐ教員を選定し、当該教員にその旨を申し出、当該教員の審査を受け、これに合格した上で、当該教員の担当する「人間科学研究会」(1) + 「人間科学研究会」(1)を第3学年次で、「人間科学研究会」(1) + 「人間科学研究会」(1)を第4学年次で修得し、第4学年次の定められた期日までに「卒業論文」を提出し、論文の審査(「卒業試験」に充当する)に合格しなければならない。
- (3) コースBを志望する学生は、第4学年次秋学期開講の「人間科学卒業研究」(2)を含めて、卒業までに類26単位以上を修得し、「卒業試験」に合格しなければならない。「卒業試験」は、「人間科学卒業研究」の修得をもって代替する。
- (4) 第3学年次にコースAを選択した学生が第4学年次履修申告時に「人間科学研究会」 + 「人間科学研究会」を履修しない場合には、コースBへの変更となる。この変更をした場合、「人間科学研究会」 + 「人間科学研究会」の単位が修得済みであれば類の単位として認める。
- (5) コースBを選択し第4学年次で卒業できなかった場合、「人間科学卒業研究」の単位は取り消される。次年度に再度「人間科学卒業研究」を履修しなければならない。
- (6) コースAを選択し第4学年次で「人間科学研究会」 + 「人間科学研究会」を修得しながら卒業できなかった場合、次年度にコースBに変更して「人間科学卒業研究」を履修しなければならない。
- (7) コースA・コースBそれぞれにおける卒業要件を要約して示せば下表のとおりである。

卒業要件		コースA	コースB
専門必修科目 (38単位以上)	類	4単位	4単位
	類	8単位	8単位
	類	人間科学研究会・・・ (各1)をすべて含めて26単位以上	人間科学卒業研究(2) を含めて26単位以上
専門選択科目(34単位以上)		34単位以上	34単位以上
卒業試験(*)		卒業論文(0単位)	人間科学卒業研究(2)の 修得をもって代替する
卒業に必要な専門教育科目の総単位数		72単位以上	72単位以上

(\*) 研究会・卒業研究のほかに「卒業試験(卒業論文)」コースA または「卒業試験(人間科学専攻)」コースB の履修申告もすること。

## 3 各学年共通

- (1) 必要単位数を超えて履修した必修科目の取り扱い  
類科目を指定単位数を超えて履修した場合、超えた分の単位を選択科目とみなして、その取得単位を卒業に必要な選択科目単位として取り扱う。
- (2) 同一名称科目の取り扱いについて  
「人間科学研究法」、「人間科学研究法」、「人間科学研究法」、「人間科学特殊」、「人間科学特殊」、「人間科学特殊」、「人間科学演習」、「人間科学演習」、「人間科学演習」の科目名の後に付される( )内は開講題目で、年度によって変更されることもある。また、科目名の後の( )内に異なる名称が付されている場合、それぞれを別科目として取り扱う。ただし、この取り扱いは人間科学専攻の学生に限る。

## 4 その他

- (1) 春学期の授業開始直前の「専攻別ガイダンス」において、科目履修上の細かい説明を行うので、専攻学生は全員必ず出席されたい。
- (2) 2年生諸君は、「専攻別学生カード」を「人間科学基礎」の第1回目授業時に必ず持参し提出されたい。
- (3) 履修申告の控えを必ずとり、成績表が送られてくるまでは保存しておくこと(控えがないために履修上の問題の“責”がいずれにあったのか判断のつきかねる場合があるので、このことをくれぐれも注意されたい)。

## B 欄による申告方法 (2・3年生【07 学則】)

履修申告欄は、A 欄・B 欄によって構成されています。どちらの欄で申告するかは下記のとおりです。

### 1 通常は A 欄にて履修申告してください。

2 B 欄での履修申告は、変則的な履修をする場合に行います。B 欄分野番号(2桁の数字)を使って、どの分野の単位として履修申告するかを、学則に決められた範囲内で申告することができます。

(1) ひとつの科目に対して複数の分野が選択できる科目の場合に使用します。

(2) B 欄分野番号は、通常とは異なる変則的な履修を可能とします(自由科目の履修など)。

(3) B 欄分野番号は学部により異なります。

### 【注意】

1 学則ならびに各専攻内規により許可されている分野以外での履修は一切認められません。

2 ほとんどの場合、履修申告は A 欄にて行います。例年、A 欄申告できる科目にもかかわらず、B 欄申告をしたことにより、誤った分野で履修してしまう例が散見されますので、くれぐれも注意してください。

3 他専攻の科目を選択科目として履修申告する場合も A 欄申告になります。

## B 欄による申告方法 (2・3年生【07 学則】)

全専攻共通事項

専攻	B 欄 分野番号	分野コード	使用例
共通	40	20 - 40 - 20 総合教育科目 (系列外)	・必修語学科目を総合教育科目(系列外)として履修する場合 P. 32 ~ 33の「必修語学科目および総合教育科目一覧」で、総合教育科目(系列外)の「20 - 40 - 20」に分野配当されている科目(アラビア語・、イタリア語入門・など)は A 欄申告をしてください。
共通	45	20 - 40 - 30 総合教育科目 (系列外)	・他学部設置の全学部共通外国語科目(三田)を総合教育科目(系列外)として履修する場合 ・他学部設置少人数セミナー形式授業(日吉キャンパス)を総合教育科目(系列外)として履修する場合
共通	90	10 - 90 - 21 必修語学科目 (日本語)	留学生が必修語学として日本語 A・A、日本語 B・Bを履修する場合
共通	55	30 - * * - 55 選択科目	<u>他学部設置の専門教育科目を文学部の専門教育科目(選択科目)として履修する場合</u> [2年生は履修申告不可(3・4年設置科目のため)] <u>文学部他専攻設置の専門科目は A 欄申告</u> してください。
共通	99	99 - 99 - 99 自由科目	・同一科目名を重複して履修する場合、片方は自由科目として申告 (ただし、専攻内規により重複履修が認められている科目は A 欄申告) ・自由科目として申告する場合

各専攻別内規により特に指示がある場合

専攻	B 欄 分野番号	分野コード	使用例
哲学	55	30 - 01 - 55 選択科目	研究会を同一学年で二つ以上履修する場合、片方は選択科目として履修申告
東洋史	91	10 - 91 - 21 必修語学科目 (諸国語)	アラビア語・ペルシア語・トルコ語を必修語学として履修する場合
	51	30 - 05 - 51 指定選択科目	研究会を二つ以上履修する場合、片方は選択科目として履修
民族学 考古学	55	30 - 07 - 55 選択科目	・第2学年で研究会を履修する場合 ・研究会を同一学年で二つ以上履修する場合、片方は選択科目として履修
国文学	51	30 - 08 - 51 指定選択科目	国文学・国文学史・国文学演習・国語学演習・日本語文法・漢文講読 同一科目名・同一担当者の科目を再履修する場合 国語学・・・ 担当者の異同に関わらず、再履修する場合 いずれも再々履修は自由科目(B欄分野番号99)
英米文学	55	30 - 10 - 55 選択科目	英語学演習、英文学演習、米文学演習 同一科目名・同一担当者の科目を再履修する場合 再々履修は自由科目(B欄分野番号99)
仏文学	55	30 - 12 - 55 選択科目	フランス語学演習 ~、フランス語表現演習 ~、フランス文学演習 ~ を重複履修する場合

**【4 年生】**  
**(04 学則)**



### 1 単位について

- (1) 講義科目  
週1回半年の授業で2単位、週1回通年の授業で4単位、週2回半年の集中講義で4単位となります。
- (2) 語学科目・演習科目  
週1回半年の授業で1単位、週1回通年の授業で2単位となります。
- (3) 自然科学の実験科目  
講義と実験がセットになった授業を週1回半年履修すると3単位、週1回通年履修すると6単位となります。

### 2 卒業に必要な単位数

卒業するためには次の表に示してあるように合計128単位(英語を選択しない場合は130単位)以上を修得し、かつ卒業試験に合格しなければなりません。

科目	単位数	
総合教育科目	38単位以上	人文科学系列 社会科学系列 自然科学系列 系列外科目
必修語学科目	14単位(14単位語学専攻) 英語を選択しない場合 16単位 または 18単位(18単位語学専攻) 英語を選択しない場合 20単位	14単位語学専攻: 国文学、中国文学、独文学、 仏文学 18単位語学専攻: 上記4専攻以外すべての専攻 (下図参照)
専門教育科目	76単位以上(14単位語学専攻) または 72単位以上(18単位語学専攻)	
合計	128単位以上(英語を選択しない場合は130単位以上)	各系列最低8単位以上

#### 必修語学の進級条件

1年	語種		英語とそれ以外の1語種を履修する場合	英語以外の2語種を履修する場合			
	英語		4単位				
ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語・ロシア語・ スペイン語・イタリア語 日本語(留学生)		6単位		6単位 6単位			
	小計		10単位		12単位		
2年	語種(専攻により異なる)		必修語学		必修語学		
	1語種	国文学	1年次履修した2語種のうち、いずれか1語種	4単位	4単位		
		中国文学	中国語				
		独文学	ドイツ語				
		仏文学	フランス語				
2語種	哲学系・史学系各専攻、 英米文学専攻、図書館・情報学 専攻、人間関係学系各専攻	1年次履修した語種と同一の2語種(*)	4単位 4単位		4単位 4単位		
	小計		4単位	8単位	4単位	8単位	
1年・2年 合計			14単位	18単位	16単位	20単位	

(\*) 東洋史学専攻の学生は、1年次履修した2語種のうち、1語種をアラビア語、ペルシア語、トルコ語のうちいずれか一つに変更することができます。詳細は東洋史学専攻ガイダンスおよび専攻内規(東洋史学専攻)で確認してください。

### 3 科目の種類

#### 【半期科目】

春学期か秋学期に週1コマ独立して開講される科目。半期ごとに履修可能。半期ごとに成績がつきます。

#### 【通年科目】

1年間連続して週1コマ開講される科目。年度末に成績がつきます。

#### 【半期集中科目】

半期に週2コマ開講される科目。半期ごとに成績がつきます。

## 4 必修語学科目および総合教育科目一覧

科目種別	分野番号	設置	授業科目名(単位)	は三田設置科目(1年生は履修不可) ** 休講科目 * は言文研設置科目				
必修語学科目	10-10-11	1年	英語 A (2)**	英語 B (2)**				
	10-10-13	1年	英語 上級A (2)**	英語 上級B (2)**	英語 上級C (2)**	英語 上級D (2)**		
	10-10-21	2年	英語 A (2)	英語 B (2)**				
	10-10-23	2年	英語 上級A (2)	英語 上級B (2)**	英語 上級C (2)**	英語 上級D (2)**		
	10-20-11	1年	ドイツ語 A (2)**	ドイツ語 B (2)**	ドイツ語 C (2)**	ドイツ語 D (2)		
	10-20-12	1年	ドイツ語 中級A (2)**	ドイツ語 中級B (2)**	ドイツ語 中級C (2)**			
	10-20-13	1年	ドイツ語 上級A (2)**	ドイツ語 上級B (2)**	ドイツ語 上級C (2)**			
	10-20-21	2年	ドイツ語 A (2) ドイツ語 F (2) ドイツ語 K (2)	ドイツ語 B (2) ドイツ語 G (2) ドイツ語 L (2)	ドイツ語 C (2) ドイツ語 H (2) ドイツ語 M (2)	ドイツ語 D (2) ドイツ語 I (2)	ドイツ語 E (2) ドイツ語 J (2)	
	10-30-11	1年	フランス語 A (2)**	フランス語 B (2)**	フランス語 C (2)**	フランス語 D (2)		
	10-30-12	1年	フランス語 中級A (2)**	フランス語 中級B (2)**	フランス語 中級C (2)**			
	10-30-21	2年	フランス語 A (2)	フランス語 B (2)				
	10-40-11	1年	中国語 A (2)**	中国語 B (2)**	中国語 C (2)**	中国語 D (2)		
	10-40-12	1年	中国語 中級A (2)**	中国語 中級B (2)**	中国語 中級C (2)**			
	10-40-21	2年	中国語 A (2)	中国語 B (2)				
	10-40-23	2年	中国語 上級A (2)	中国語 上級B (2)				
	10-50-11	1年	スペイン語 A (2)**	スペイン語 B (2)**	スペイン語 C (2)**	スペイン語 D (2)		
	10-50-21	2年	スペイン語 A (2) スペイン語 F (2)	スペイン語 B (2) スペイン語 G (2)	スペイン語 C (2) スペイン語 H (2)	スペイン語 D (2) スペイン語 I (2)	スペイン語 E (2)	
	10-60-11	1年	イタリア語 A (2)**	イタリア語 B (2)**	イタリア語 C (2)**	イタリア語 D (2)		
	10-60-21	2年	イタリア語 A (2)	イタリア語 B (2)				
	10-70-11	1年	朝鮮語 A (2)**	朝鮮語 B (2)**	朝鮮語 C (2)**	朝鮮語 D (2)		
	10-70-21	2年	朝鮮語 A (2)	朝鮮語 B (2)				
	10-80-11	1年	ロシア語 A (2)**	ロシア語 B (2)**	ロシア語 C (2)**	ロシア語 D (2)		
	10-80-21	2年	ロシア語 A (2)	ロシア語 B (2)				
	10-90-11	1年	日本語 A (2)**	日本語 B (2)**	日本語 C (2)**			
	10-90-21	2年	日本語 A (2)	日本語 B (2)				
	10-91-21	2年	アラビア語 (2) ペルシア語 (2)	アラビア語 (2) ペルシア語初級 (1)*	トルコ語 (2) ペルシア語初級 (1)*	トルコ語 (2)		
	総合教育科目	人文科学系列 8単位以上						
		20-10-10		音楽 (4)** 漢文 (2)** 国語国文 (2) 美術 (4)** 文学 (2) 倫理学 (2) 論理学 (4)**	音楽 (2) 言語学 (4) 国語国文 (2) 美術 (2) 文化人類学 (4)** 倫理学 (2) 論理学 (2)	音楽 (2) 言語学 (2) 哲学 (4)** 美術 (2) 文化人類学 (2) 歴史 (4)** 論理学 (2)	漢文 (4) 言語学 (2) 哲学 (2) 文学 (4) 文化人類学 (2) 歴史 (2)	漢文 (2)** 国語国文 (4) 哲学 (2) 文学 (2) 文化人類学 (4)** 歴史 (2)
		20-10-20		人文科学特論 (4)	人文科学特論 (2)	人文科学特論 (2)		
		社会科学系列 8単位以上						
20-20-10			教育学 (4)** 近代思想史 (2) 社会学 (2) 地理学 (4) 法学 (憲法を含む)(2)	教育学 (2) 経済学 (4)** 社会学 (2) 地理学 (2) 法学 (憲法を含む)(2)	教育学 (2) 経済学 (2) 政治学 (4)** 地理学 (2)	近代思想史 (4)** 経済学 (2) 政治学 (2) 法学 (憲法を含む)(4)**	近代思想史 (2) 社会学 (4) 政治学 (2)	
20-20-20			社会科学特論 (4)	社会科学特論 (2)	社会科学特論 (2)			
自然科学系列 8単位以上								
20-30-10			基礎化学 (2) 人類学 (2)** 生命科学概論 (2) 天文学 (4) 統計学 (2) 生物学 (実験を含む)3)	心理学 (4)** 人類学 (2)** 生命の科学 (2) 天文学 (2)** 化学 (実験を含む)3) 物理学 (実験を含む)3)	心理学 (2) 数学 (4)** 地学 (4)** 天文学 (2)** 化学 (実験を含む)3) 物理学 (実験を含む)3)	心理学 (2) 数学 (2) 地学 (2) 統計学 (4)** 生物学 (実験を含む)3)	人類学 (4) 数学 (2) 地学 (2) 統計学 (2)	
20-30-20			自然科学特論 (4)**	自然科学特論 (2)	自然科学特論 (2)			
系列外科目								
20-40-10			基礎情報処理 (2) 総合教育セミナー (2) 映画演劇論 (2) 現代芸術 (2)	辞書の世界 (2)** 朝鮮文化・文学の歴史 (4) 映画演劇論 (2) 詩学 (2)	書物の世界 (2)** 映画演劇論 (2) 芸術と文明 (2) 詩学 (2)		総合教育セミナー (2) 映画演劇論 (2) 現代芸術 (2) ロシア文学 (4)	
20-40-20			アラビア語 (2) イタリア語初級C (2)** イタリア語入門 (2) 英語インテンシブ B (2) 古典ギリシア語初級 (2) スペイン語初級 (2) 中国語会話A (2) 朝鮮語上級 (2) トルコ語 (2) ラテン語初級 (2)	アラビア語 (2) イタリア語中級A (2) 英語インテンシブ A (2) 英語インテンシブ A (2) 古典ギリシア語中級 (2) スペイン語中級 (2) 中国語会話B (2) ドイツ語会話初級 (2) 日本語 A (2) ラテン語中級 (2)	イタリア語初級A (2) イタリア語中級B (2) 英語インテンシブ B (2) 英語インテンシブ B (2) 現代ギリシア語初級 (2) 中国語初級 (2) 朝鮮語既習 (2) ドイツ語会話中級 (2) 日本語 B (2) ロシア語初級 (2)		イタリア語初級B (2) イタリア語上級 (2) 英語インテンシブ A (2) 英語基礎 (2)** 現代ギリシア語中級 (2) 中国語上級 (2) 朝鮮語初級 (2) トルコ語 (2) ペルシア語 (2) ロシア語中級 (2)	
20-40-30			教授会の認める各学部の総合教育相当科目					

38 単位以上 総合教育科目	系列 外科 目	教授会の認める次の研究所等付属施設の授業科目または講座			
		20-50-10	体育研究所設置講座（講義）	体育学講義(2)	体育学演習(1)
		20-50-11	体育研究所設置講座（実技）	体育実技A(1)	体育実技B(1)
		20-50-20	国際センター日吉設置科目		
		20-50-30	情報処理教育設置講座		
		20-50-50以降	その他の研究所等付属施設		
自由 科目	自由科目（卒業および進級単位にはなりません）				
	99-99-99	文学部の時間割にない他学部設置の総合教育科目 同一科目を重複して履修する場合（専攻内規で許可されている場合を除く） 外国語教育研究センター オープン科目 教職課程センター設置「教育実習」「教育実習」「教育実習基礎」「教職・介護等体験」 など			

（注1）科目名のあとの（ ）内は単位数を表わします。例えば、「哲学（4）」は、総合教育科目の人文科学系列で4単位の科目です。

（注2）時間割表に掲載のない科目は開講しておりませんので注意してください。

（注3）分野とは卒業・進級に必要な科目を学則や専攻内規に基づいて分類したもので、下例のように6桁の分野番号（分野コード）で表されます。

《例1》10 - 10 - 11

《例2》30 - 01 - 11

必修 英語 設置地区またはレベル等  
語学

専門 哲学 必修  
科目 専攻 科目

分野番号の体系は、学則（07学則・04学則）や学年、専攻によって異なります。

## 5 総合教育科目

卒業までに38単位以上（内訳として、人文科学系列、社会科学系列、自然科学系列それぞれ8単位以上）を取得してください。

（1）同一名称科目（同一単位数）が日吉と三田に設置されていますが、講義内容に水準の差はありません。

（2）化学（実験を含む）・化学（実験を含む）、生物学（実験を含む）・生物学（実験を含む）、物理学（実験を含む）・物理学（実験を含む）は、2時限連続180分授業で行われ、半期で3単位が取得できます。は春学期、は秋学期科目です。

履修希望者は、希望する時限の第1回目の授業時間のガイダンス（前半）に出席してください。詳細は、履修案内（日吉キャンパス1年生）をご確認ください。

## 6 総合教育科目の系列外科目

総合教育科目の系列外科目として以下の科目を含みます。

（1）必修として履修しない語学科目（学則第34条：分野10-10-11～10-91-21）

但し、ドイツ語ID・フランス語ID・中国語ID・スペイン語ID・イタリア語ID・朝鮮語ID・ロシア語IDは系列外科目として履修することはできません。

（2）教授会の認める各学部設置の総合教育相当科目

他学部設置少人数セミナー形式授業（日吉キャンパス）

自由研究セミナー（2℥経）	自由研究セミナーa/b（各2℥経）	自然科学研究会（2℥法）
自然科学研究会（2℥法）	人文科学特論（2℥法）	人文科学特論（2℥法）
自然科学総合講座（2℥法）	自然科学総合講座（2℥法）	総合教育セミナーD（4℥商）
総合教育セミナーS（2℥商）	総合教育セミナー（2℥理）	総合教育セミナー（2℥理）

(3) 教授会の認める次の研究所等付属施設の授業科目または講座

体育研究所（総合教育科目の系列外として履修できるのは合計4単位まで）

国際センター（日吉設置科目・講座）

情報処理教育室

履修手続等に関しては、各研究所設置講座の履修要領、講義要綱およびガイダンス等を参考にしてください。

(4) 本年度教授会の認める総合教育科目（系列外科目）

三田キャンパス設置科目

ドイツ語初級(2)	死と再生(2)	死と再生(2)	人の尊厳(社会と人権)(2)
実践自然科学(2)			

日吉キャンパス設置科目（履修にあたっての特別な手続・所定用紙は必要ありません）

人の尊厳(社会と人権)(2単位)	科学と社会(2単位、半期)	経済人類学Ⅰ(2単位、半期)
経済人類学Ⅱ(2単位、半期)	ジェンダー論Ⅰ(2単位、半期)	ジェンダー論Ⅱ(2単位、半期)
宗教学(4単位、通年)	宗教学Ⅰ(2単位、半期)	宗教学Ⅱ(2単位、半期)
女性学(2単位、半期)	地域研究-スペイン事情Ⅰ(2単位、半期)	地域研究-スペイン事情Ⅱ(2単位、半期)
地域研究-中国事情Ⅰ(2単位、半期)	地域研究-中国事情Ⅱ(2単位、半期)	地域研究-中国事情Ⅲ(2単位、半期)
地域研究-中国事情Ⅳ(2単位、半期)	地域研究-北米事情Ⅰ(2単位、半期)	地域研究-北米事情Ⅱ(2単位、半期)
地域生態文化論(2単位、半期)	中国事情(2単位、半期)	21世紀の実学(2単位、半期)
比較文化論(4単位、通年)	表象文化論(4単位、通年)	民族文化論(2単位、半期)
科学技術と現代社会(2単位、半期)	動物行動学(2単位、半期)	医療・福祉の行政(2単位、半期)

外国語教育研究センター特設科目（日吉・三田）

履修可能な科目は「文学部時間割表」に掲載されている科目のみとなります。

教養研究センター設置科目（日吉）

福澤研究センター設置科目（日吉）

保健管理センター設置科目（日吉・三田）

平成20年度国際センター春季在外研修プログラム

平成21年度国際センター夏季在外研修プログラム

平成20年度外国語教育研究センター主催海外研修プログラム

～ の科目は、文学部時間割表、諸研究所設置時間割表を参照してください。

～ の科目は、国際センター・外国語教育研究センターで登録番号を確認して、履修申告してください。

履修申告がない場合は単位はつきません。

、については、平成20年度（平成21年2～3月）の研修の単位が、平成21年度春学期の単位として認定されます。なお、平成20年度に卒業、退学した者については、単位は認定されません。



7 専門教育科目（選択科目としても履修できる科目）

(1) 学則第 35 条に定める文学部設置の専門教育科目

哲 学 系	哲学概論 (4)	西洋哲学倫理学史Ⅰ (4)	西洋哲学倫理学史Ⅱ (4)	論理学入門 (4)	哲学倫理学原典講読 (4)
	科学の哲学 (4)	中級論理学 (4)	知識の哲学 (4)	形而上学 (4)	現代論理学の諸問題 (4)
	心の哲学 (4)	言語の哲学 (4)	現象学 (4)	宗教の哲学 (4)	哲学原典研究Ⅰ (4)
	哲学原典研究Ⅱ (4)	哲学原典研究Ⅲ (4)	哲学原典研究Ⅳ (4)	哲学倫理学特殊 (4)	哲学研究会Ⅰ (2)
	哲学研究会Ⅱ (2)	印度哲学 (4)	宗教学 (4)		
倫 理 学 系	倫理学概論 (4)	西洋哲学倫理学史Ⅰ (4)	西洋哲学倫理学史Ⅱ (4)	倫理学の基礎Ⅰ (2)	倫理学の基礎Ⅱ (2)
	倫理学の課題Ⅰ (2)	倫理学の課題Ⅱ (2)	倫理学の課題Ⅲ (2)	倫理学の課題Ⅳ (2)	哲学概論 (4)
	哲学倫理学特殊 (4)	日本倫理思想 (4)	東洋倫理思想 (4)	キリスト教概論 (4)	哲学倫理学原典講読 (4)
	倫理学研究会Ⅰ (2)	倫理学研究会Ⅱ (2)	倫理学洋書講読 (4)	中国哲学 (4)	
美 学 系	美学概論 (4)	芸術研究基礎 (2)	芸術学 (2)	美学美術史学原典講読Ⅰ (2)	美学美術史学原典講読Ⅱ (2)
	美学美術史学演習 (2)	東洋美術史概説 (4)	西洋美術史概説 (4)	西洋音楽史概説 (4)	美学特殊 (4)
	美術史特殊 (4)	音楽史特殊 (4)	美学美術史学研究会Ⅰ (2)	美学美術史学研究会Ⅱ (2)	
史 学 系	史学概論 (4)	日本史特殊 (4)	日本史概説Ⅰ (4)	日本史概説Ⅱ (4)	日本史史料講読 (2)
	日本史演習 (2)	日本史研究会Ⅰ (2)	日本史研究会Ⅱ (2)	古文書学 (4)	日本史洋書講読 (2)
	東洋史研究入門 (2)	東洋史講読 (2)	東洋史概説Ⅰ (4)	東洋史概説Ⅱ (4)	東洋史概説Ⅲ (4)
	東洋史特殊 (4)	史学概論 (4)	東洋史研究会Ⅰ (2)	東洋史研究会Ⅱ (2)	東洋史演習 (2)
	史学概論 (4)	西洋史学原典講読 (2)	西洋史演習 (2)	西洋史概説Ⅰ (4)	西洋史概説Ⅱ (4)
民 族 学 系	西洋史概説Ⅲ (4)	西洋史特殊 (4)	西洋史研究会Ⅰ (2)	西洋史研究会Ⅱ (2)	
	民族学考古学特殊 (4)	史学概論 (4)	民族学考古学原典講読 (2)	民族学考古学実習 (2)	考古学 (4)
文 学 系	民族学 (4)	人類学概論 (4)	民族学考古学研究法 (4)	民族学考古学研究会Ⅰ (2)	民族学考古学研究会Ⅱ (2)
	国語学Ⅰ (2)	国語学Ⅱ (2)	国文学Ⅰ (4)	国文学Ⅱ (4)	国文学Ⅲ (4)
	国文学Ⅳ (4)	国文学Ⅴ (4)	国文学Ⅵ (4)	国文学Ⅶ (4)	国文学Ⅷ (4)
	国文学Ⅸ (4)	国文学Ⅹ (4)	国文学Ⅺ (4)	国文学Ⅻ (4)	国文学ⅫⅢ (4)
	国文学ⅫⅣ (4)	国文学ⅫⅤ (4)	国文学史Ⅰ (2)	国文学史Ⅱ (2)	国文学史Ⅲ (2)
	国文学史Ⅳ (2)	国文学史Ⅴ (2)	国文学史Ⅵ (2)	国文学演習Ⅰ (2)	国文学演習Ⅱ (2)
	国文学演習Ⅲ (2)	国文学演習Ⅳ (2)	国文学演習Ⅴ (2)	国文学演習Ⅵ (2)	国語学演習 (2)
	国文学研究会 (2)	国文学原典講読 (2)	日本語文法 (2)	漢文講読Ⅲ (2)	日本語学Ⅰ (2)
	日本語学Ⅱ (2)	日本語教授法Ⅰ (2)	日本語教授法Ⅱ (2)	仏教学概論 (4)	
	中国語学概論 (4)	中国語学特殊 (4)	中国文学史Ⅰ (4)	中国文学史Ⅱ (4)	中国文学特殊 (4)
	中国語表現演習Ⅰ (2)	中国語表現演習Ⅱ (2)	中国語表現演習Ⅲ (2)	中国語表現演習Ⅳ (2)	中国文学演習Ⅰ (2)
	中国文学演習Ⅱ (2)	中国文学演習Ⅲ (2)	中国文学演習Ⅳ (2)	中国文学演習Ⅴ (2)	中国文学演習Ⅵ (2)
	中国語学研究会Ⅰ (1)	中国語学研究会Ⅱ (1)	中国古典文学研究会Ⅰ (1)	中国古典文学研究会Ⅱ (1)	中国現代文学研究会Ⅰ (1)
	中国現代文学研究会Ⅱ (1)	中国語学研究会Ⅲ (1)	中国語学研究会Ⅳ (1)	中国古典文学研究会Ⅲ (1)	中国古典文学研究会Ⅳ (1)
	中国現代文学研究会Ⅲ (1)	中国現代文学研究会Ⅳ (1)	漢文講読Ⅰ (2)	漢文講読Ⅱ (2)	中国語会話特殊Ⅰ (2)
中国語会話特殊Ⅱ (2)	中国哲学 (4)				
英 語 学 系	英語史 (4)	英文学史 (4)	米文学史 (4)	現代英語学 (4)	英語英米文学基礎講読 (2)
	古代中世英語学 (4)	英語音声学 (4)	英語学演習 A (2)	英語学演習 B (2)	英語学演習 C (2)
	英語学演習 D (2)	英語学演習 E (2)	英語学演習 F (2)	英語学演習 G (2)	英語学演習 H (2)
	英文学演習 A (2)	英文学演習 B (2)	英文学演習 C (2)	英文学演習 D (2)	英文学演習 E (2)
	英文学演習 F (2)	英文学演習 G (2)	英文学演習 H (2)	英文学演習 I (2)	英文学演習 J (2)
	英文学演習 K (2)	英文学演習 L (2)	米文学演習 A (2)	米文学演習 B (2)	米文学演習 C (2)
	米文学演習 D (2)	米文学演習 E (2)	米文学演習 F (2)	米文学演習 G (2)	米文学演習 H (2)
	米文学演習 I (2)	英語学研究会Ⅰ (2)	英語学研究会Ⅱ (2)	英語学特別演習Ⅰ (2)	英語学特別演習Ⅱ (2)
	英文学研究会Ⅰ (2)	英文学研究会Ⅱ (2)	英文学特別演習Ⅰ (2)	英文学特別演習Ⅱ (2)	米文学研究会Ⅰ (2)
	米文学研究会Ⅱ (2)	米文学特別演習Ⅰ (2)	米文学特別演習Ⅱ (2)		
	英語学 A (4)	英語学 B (4)	英語学 C (4)	英語学 D (4)	英語学 E (4)
	英語学 F (4)	英語学 G (4)	英文学 A (4)	英文学 B (4)	英文学 C (4)
	英文学 D (4)	英文学 E (4)	英文学 F (4)	英文学 G (4)	英文学 H (4)

文 学 系	英文学 I (4)	米文学 A (4)	米文学 B (4)	米文学 C (4)	米文学 D (4)
	米文学 E (4)	米文学 F (4)	アカデミック・ライティング A (2)	アカデミック・ライティング C (2)	アカデミック・ライティング D (2)
文 学 系	テキスト研究中級 (2)	テキスト研究上級 A (2)	テキスト研究上級 B (2)	ドイツ語作文初級 (2)	ドイツ語作文中級 (2)
	コミュニケーション・ドイツ語中級 A (2)	コミュニケーション・ドイツ語中級 B (2)	コミュニケーション・ドイツ語上級 A (2)	コミュニケーション・ドイツ語上級 B (2)	ドイツ文法研究 (2)
文 学 系	ドイツ文学史 (4)	ドイツ文化史 (4)	ドイツ語学研究 (4)	メディア研究 (4)	ゲーテ時代研究 (4)
	ドイツ文化研究 I (4)	ドイツ文化研究 II (4)	ドイツ文化研究 III (4)	ドイツ文学研究入門 (4)	現代ドイツ研究 (4)
文 学 系	現代ドイツ研究入門 (4)	ドイツ語学文学ゼミナール I (2)	ドイツ語学文学ゼミナール II (2)	ドイツ語学文学ゼミナール III (2)	ドイツ語学文学ゼミナール IV (2)
	ドイツ語学文学ゼミナール V (2)	ドイツ語学文学ゼミナール VI (2)	ドイツ語学文学ゼミナール VII (2)	ドイツ語学文学ゼミナール VIII (2)	
文 学 系	フランスの文化と歴史 I (2)	フランスの文化と歴史 II (2)	フランス語学演習 I (1)	フランス語学演習 II (1)	フランス語表現演習 I (1)
	フランス語表現演習 II (1)	フランス語表現演習 III (1)	フランス語表現演習 IV (1)	フランス文学史 I (2)	フランス文学史 II (2)
文 学 系	フランス文学史 III (2)	フランス文学史 IV (2)	フランス文学と近代 I (2)	フランス文学と近代 II (2)	フランス文学と近代 III (2)
	フランス文学と近代 IV (2)	フランス文学と現代 I (2)	フランス文学と現代 II (2)	フランス語学 I (2)	フランス語学 II (2)
文 学 系	フランス語学演習 III (1)	フランス語学演習 IV (1)	フランス語学演習 V (1)	フランス語学演習 VI (1)	フランス語学演習 VII (1)
	フランス語学演習 VIII (1)	フランス語表現演習 V (1)	フランス語表現演習 VI (1)	フランス語表現演習 VII (1)	フランス語表現演習 VIII (1)
文 学 系	フランス文学演習 I (1)	フランス文学演習 II (1)	フランス文学演習 III (1)	フランス文学演習 IV (1)	フランス文学演習 V (1)
	フランス文学演習 VI (1)	フランス語学文学研究会 I (1)	フランス語学文学研究会 II (1)	フランス語学文学研究会 III (1)	フランス語学文学研究会 IV (1)
図 書 館 ・ 情 報 学 系	図書館・情報学基礎 (2)	図書館・情報学原典講読 (2)	情報サービス基礎 I (2)	情報サービス基礎 II (2)	情報検索基礎 I (2)
	情報検索基礎 II (2)	情報メディア基礎 I (2)	情報メディア基礎 II (2)	図書館・情報学研究法 (2)	図書館・情報学研究会 (2)
図 書 館 ・ 情 報 学 系	図書館概論 (2)	図書館の計画と経営 (2)	図書館資料論 (2)	図書館活動論 I (2)	図書館活動論 II (2)
	図書館活動論 III (2)	図書館活動論 IV (2)	コミュニケーション史 (2)	資料組織論 (2)	レファレンス・サービス論 (2)
図 書 館 ・ 情 報 学 系	図書館実習 (2)	情報メディア概説 I (2)	情報メディア概説 II (2)	情報認識の基礎 (2)	情報メディアの構造と分析 I (2)
	情報メディアの構造と分析 II (2)	情報メディア特殊 I (2)	情報メディア特殊 II (2)	情報メディア特殊 III (2)	情報メディア特殊 IV (2)
図 書 館 ・ 情 報 学 系	情報検索概説 I (2)	情報検索概説 II (2)	情報検索研究 (2)	情報探索行動 (2)	データベース検索 (2)
	情報検索システム (2)	情報処理技術 (2)	自然言語処理の基礎 (2)	画像・映像処理の基礎 (2)	書誌学 I (2)
図 書 館 ・ 情 報 学 系	書誌学 II (2)	児童資料論 (2)	図書館・情報学特殊 (2)		
人 間 学 系	社会学概論 (4)	社会心理学概論 (4)	文化人類学概論 (4)	社会学史 (4)	社会調査 I (2)
	社会調査 II (2)	医療社会学 (4)	家族・親族論 (4)	教育社会学 (4)	現代社会学 (4)
人 間 学 系	コミュニケーション学 (4)	宗教社会学 (4)	対人影響論 (4)	知識社会学 (4)	都市社会学 (4)
	日本社会学 (4)	比較文化論 (4)	普及学 (4)	文化社会学 (4)	社会学特殊 I (4)
人 間 学 系	社会学特殊 II (4)	社会学特殊 III (4)	社会学特殊 IV (4)	社会学特殊 V (4)	社会学特殊 VI (4)
	社会学特殊 VII (4)	社会学特殊 VIII (4)	社会学特殊 IX (4)	社会学特殊 X (4)	社会学特殊 XI (4)
人 間 学 系	社会学特殊 XII (4)	社会学特講 I (2)	社会学特講 II (2)	社会学特講 III (2)	社会学特講 IV (2)
	社会学特講 V (2)	社会学特講 VI (2)	社会学特講 VII (2)	社会学研究会 I (2)	社会学研究会 II (2)
人 間 学 系	社会学原典講読 (2)	社会学洋書講読 (2)			
関 係 学 系	知覚心理学 I (4)	発達心理学 I (4)	行動分析学 I (4)	認知心理学 I (4)	生物心理学 I (4)
	心理測定論 (2)	心理学史 (2)	心理統計 (4)	心理学原典講読 (2)	心理学実験 I (2)
関 係 学 系	心理学実験 II (2)	心理学研究会 I (2)	心理学研究会 II (2)	心理学特殊 I (4)	心理学特殊 II (2)
	心理学特殊 III (2)	知覚心理学 II (2)	発達心理学 II (2)	行動分析学 II (2)	認知心理学 II (2)
関 係 学 系	生物心理学 II (2)	数理心理学 (2)	クリニカルワーク概説 (4)	パーソナリティ理論概説 (4)	認知臨床心理学 (4)
	発達臨床心理学 (4)	言語障害臨床 (4)			
関 係 学 系	教育学概論 (4)	教育学原典講読 (2)	教育史 (4)	教育学史 (4)	比較教育学 (4)
	教育心理学概論 (4)	教育学演習 I (2)	教育学演習 II (2)	教育学研究会 I (2)	教育学研究会 II (2)
関 係 学 系	教育学特殊 I (4)	教育学特殊 II (4)	教育学特殊 III (4)	教育学特殊 IV (4)	教育学特殊 V (4)
	教育学特殊 VI (4)	教育学特殊 VII (4)	教育学特殊 VIII (4)	教育学文献講読 I (4)	教育学文献講読 II (4)
関 係 学 系	教育学文献講読 III (4)	教育測定実験 (4)	教育研究法 I (2)	教育研究法 II (2)	
関 係 学 系	人間科学基礎 (2)	人間科学研究法基礎 (2)	人間科学諸領域 I (2)	人間科学諸領域 II (2)	人間科学諸領域 III (2)
	人間科学諸領域 IV (2)	人間科学研究法 (2)	人間科学研究法 (4)	人間科学演習 (2)	人間科学特殊 (2)
関 係 学 系	人間科学特殊 (4)	人間科学卒業研究 (2)	人間科学研究会 I (2)	人間科学研究会 II (2)	

(2) 学則第 35 条に定める文学部設置の全専攻共通科目

全専攻共通科目	教育学概論(学芸員)(2)	生涯学習概論(2)	視聴覚教育メディア論(2)	文化財科学Ⅰ(4)	文化財科学Ⅱ(4)
	博物館学(4)	博物館学実習Ⅰ(3)	博物館学実習Ⅱ(3)	博物館学特殊Ⅰ(4)	博物館学特殊Ⅱ(4)
	博物館学特殊Ⅲ(4)	博物館学特殊Ⅳ(4)	漢文講読Ⅰ(2)	漢文講読Ⅱ(2)	応用情報処理Ⅰ(2)
	応用情報処理Ⅱ(2)	応用情報処理Ⅲ(2)	応用情報処理Ⅳ(2)	応用情報処理Ⅴ(2)	応用情報処理Ⅵ(2)
	応用情報処理Ⅶ(2)	情報と職業(2)	情報と倫理Ⅰ(2)	情報と倫理Ⅱ(2)	言語学概論Ⅰ(4)
	言語学概論Ⅱ(4)	言語学概論Ⅲ(4)	言語学特殊Ⅰ(4)	言語学特殊Ⅱ(4)	言語学特殊Ⅲ(4)
	言語学特殊Ⅳ(4)	言語学特殊Ⅴ(4)	言語学特殊Ⅵ(4)	言語学特殊Ⅶ(4)	言語学特殊Ⅷ(4)
	言語学特殊Ⅸ(4)	中国語会話特殊Ⅰ(2)	中国語会話特殊Ⅱ(2)	西洋古典学(4)	西洋古典研究会(2)
	古典ギリシア語文献講読Ⅰ(2)	古典ギリシア語文献講読Ⅱ(2)	現代ギリシア語文献講読Ⅰ(2)	ラテン語文献講読Ⅰ(2)	ロシア語文献講読(2)
	イタリア文学演習(2)	スペイン語圏文化研究(2)	ライフサイエンス(4)	自然科学研究会Ⅰ(2)	自然科学研究会Ⅱ(2)
	カウンセリング概論(4)	カウンセリングワークショップ(4)	アート・マネジメント(4)	アート・プロデュース(4)	名著研究Ⅰ(2)
	名著研究Ⅱ(2)	比較文学Ⅰ(2)	比較文学Ⅱ(2)	演劇の歴史Ⅰ(2)	演劇の歴史Ⅱ(2)
	音楽学Ⅰ(4)	音楽学Ⅱ(4)	英書講読(2)	論文フランス語(初級)(2)	論文フランス語(中級)(2)
	比較精神史(4)	環境問題と大学(2)			

(3) 本年度教授会の認める専門教育科目(全専攻共通科目)

三田キャンパス設置科目

イタリア語文献講読(2)	芸術の現在(4)	文章と表現(4)	文献学の世界(2)	辞書・事典(2)
--------------	----------	----------	-----------	----------

福澤研究センター設置科目(三田)

極東証券寄付講座

アート・センター設置科目

クリエイティブ産業研究(2)	クリエイティブ産業研究(2)
----------------	----------------

(4) 本大学設置の専門教育科目

教授会の認める各学部設置の専門教育相当科目

必ず以下の専門教育相当科目かどうか各学部の履修案内で確認し、授業担当者の口頭による承認を得てください。また、複数の学則がある学部については、最新学則の科目を履修してください。

学部	学則	専門教育相当科目
経済学部	05	専門教育科目
法学部	57	法律学科目、政治学科目
商学部	05	専攻科目
理工学部	96	専門教育科目
総合政策学部	07	先端導入科目、先端開拓科目
環境情報学部	07	先端導入科目、先端開拓科目
看護医療学部	09	専門教育科目

教授会の認める研究所等付属施設の授業科目または講座

言語文化研究所、教職課程センター<sup>1</sup>、斯道文庫、メディア・コミュニケーション研究所、国際センター(三田)<sup>2</sup>、日本語・日本文化教育センター、知的資産センター設置の授業科目または講座

1 教職課程センター設置科目の履修上の注意事項

教職課程センターの指示に従い、教職課程センターで教職課程の登録をすると同時に、**文学部の科目として履修申告を行わなければなりません。**

2 ただし、春季・秋季の在外研修は総合教育科目(系列外)となります。

(5) 文学部教職課程教科に関する科目

書道(4)	法学概論(2)	政治学Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2)	口語英語(2)	英作文(2)	比較文化論(2)
-------	---------	---------	---------	---------	--------	----------

8 自由科目

進級および卒業に必要な単位としては計算されません。

(1) 同一科目を重複して履修する場合は、専攻別内規で許可されている場合を除き、どちらか一方を自由科目の B 欄分野番号【99】を指定のうえ登録してください。

(2) 教職課程センター設置の「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」、「教育実習基礎」、「教職介護等体験」は、自由科目となります。

## 1 一般的注意事項

### 【学則について】

学則とは、学校が制定する諸規程のうち学務に関する事項、入学・退学・卒業、学生の身分に関する取扱い、入学試験、学位、そして教育課程に関する事項について規定したものをいいます。

今年度の文学部は、2004年度(平成16年度)に制定された【04学則】と、2007年度(平成19年度)に制定された【07学則】の2種類の学則が適用されます。【04学則】と【07学則】の適用対象者は、以下のとおりです。

**【04学則】：2009年度4年生在籍者**

**【07学則】：2009年度1・2・3年生在籍者**

### 【同一科目の重複履修】

原則として、単位を取得した同一名称の科目を必修科目、選択科目として2度以上履修することはできません。しかし、所属する専攻によっては、専攻別内規に示す範囲で2度以上の履修が認められる場合があります。詳しくは各専攻内規を確認のうえ、各専攻の専攻担任に問い合わせてください。

### 【分野変更】

一度履修・取得・認定した科目の分野は変更できません。

### 【留学】

在学中に留学する場合は、留学前および帰国後に、専攻担任および学事センターから履修科目に関するガイダンスを受けてください。(P.9参照)

### 【専攻変更】

原則として認められません。ただし、真にやむを得ない理由のある場合に限り、教授会の議を経て認められる場合があります。これに関わる問題については、学事センターおよび専攻担任に申し出て指示を受けてください。

## 2 学芸員資格の取得について【04学則】

学芸員の資格を取得しようとする場合は、以下の学科目を履修し、ガイダンスに出席して所定の手続きを行ってください。ガイダンスは、4月初めの博物館学実習ⅠA・B・C・Dおよび博物館学実習 A・B(文学部全専攻共通科目)の初回授業で行われます。必ず出席し、登録・申請をしてください。なお、実習費として3,000円が必要になります。

**実習費支払締切日：2009年5月29日(金) 学事センター文学部係**

博物館学実習 と を両方履修した場合、それぞれに実習費 3,000 円が必要になります。

博物館学実習は、履修希望者が多数の場合は履修者数の調整を行っています。履修が許可された者は、必ず履修申告してください(履修の削除はできません)。

また、履修者数に応じて、事前に実習のための教材を準備しています。履修申告をした学生は、授業の参加・不参加にかかわらず、期日までに必ず実習費をお支払いください。

【学芸員資格取得に必要な科目】( )内は単位数を表す。

	授業科目名	備考	時間割設置
必修科目	博物館学(4)	必修	全専攻共通科目
	博物館学実習 A (3)	このうち1科目必修	
	博物館学実習 B (3)		
	博物館学実習 C (3)		
	博物館学実習 D (3)		
	博物館学実習 A (3)	このうち1科目必修	
	博物館学実習 B (3)		
	博物館学特殊 (資料論・有形)(4)	このうち1科目必修	
	博物館学特殊 (資料論・展示・運営)(4)		
	博物館学特殊 (展示・普及)(4)		
	博物館学特殊 (企画・運営・教育)(4)		
	文化財科学 (4)	このうち1科目必修	
	文化財科学 (4)		
	生涯学習概論(2)注	必修	
視聴覚教育メディア論(2)注	必修		
教育学概論(学芸員)(2)注	必修		
選択科目	民族学(4)	このうち2科目	民族学考古学専攻
	考古学(4)		美学美術史学専攻
	東洋美術史概説 A(4) または東洋美術史概説 B(4)注		
	西洋美術史概説 A(4) または西洋美術史概説 B(4)注		
	アート・マネジメント(4)		全専攻共通科目
	アート・プロデュース(4)		

注 平成8年度までに、社会教育(2)視聴覚教育(2)教育原理(4)の各単位を取得した場合は、上記生涯学習概論(2)視聴覚教育メディア論(2)教育学概論(2)の各単位を取得したものとみなします。

注 東洋美術史概説 A・B、西洋美術史概説 A・Bのうちから同種類2科目を修得しても選択科目の充足とはなりません。

### 3 よくある質問

項目	質問	適用学年	回答
履修	履修申告は何単位までできますか？	2・3・4年生	文学部2・3・4年生には履修単位の上限はありません。
	総合教育科目はどれでも履修申告できる？	2・3・4年生	他学部設置の総合教育科目は P. 89 に掲載されている「少人数セミナー形式授業」以外は履修申告できません。文学部の時間割に掲載されているもののみになります。
	総合教育科目(日吉)の履修制限について	2・3・4年生	履修申告期間中に正しく申告ができた学生に限り、抽選の対象となります。抽選結果発表は、日吉・三田キャンパス掲示板および Web で行います。URL: <a href="http://www.hc.keio.ac.jp/gakuji/">http://www.hc.keio.ac.jp/gakuji/</a>
	必修としてではなく、語学を履修したい。	2・3・4年生	「全学部共通外国語科目履修案内(別冊)に掲載されている科目や、外国語教育研究センター設置特設科目を総合教育科目(系列外)として履修する事ができます。
	選択科目って？	2・3・4年生	履修案内 P. 91～93 に掲載されている科目のことを指します。
	他専攻の科目も履修できますか？	2・3・4年生	専門教育科目の選択科目として履修する事ができます(A欄申告してください)。
	他学部・他専攻のゼミで卒論を提出し卒業したい。	3・4年生	文学部所属専攻の要件を満たさないと卒業できません。
	体育科目を履修したい。	2・3・4年生	時間割の該当(体育研究所)ページおよび履修案内を参照の上、必ず体育研究所のガイダンスに出席してください。締切、抽選等がありますので十分注意してください。また、4単位までが卒業単位(総合教育科目(系列外))になります。
	メディア・コミュニケーション研究所の授業がとりたい。	2・3・4年生	入所説明会や手続を経て研究生になった学生以外はオープン科目しか履修できません。詳細は、講義要綱を参照のうえ、メディア・コミュニケーション研究所にご確認ください。
	外国語教育研究センターの科目を履修したい。	2・3・4年生	文学部の時間割に掲載されている科目以外は履修申告できません。外国語教育研究センターのガイダンスに出席し、所定の手続を経た上で履修申告を行ってください。
他専攻の科目の重複履修はできますか？	2・3・4年生	他専攻の科目を選択科目として重複履修することはできません。例えば、美学美術史学専攻以外の学生は、「美術史特殊」を複数履修することはできません(2つ目以降は自由科目として履修することはできます)。	
資格	学芸員資格について教えてください。	2・3・4年生	履修案内 P. 94～95 を参照してください。
	教職課程で必要な科目を履修した場合は？	2・3・4年生	教職課程センター設置科目は、専門教育科目(選択科目)として履修できます。但し、教育実習・教育実習基礎・教職介護等体験は自由科目になります。教員免許取得に必要な科目が、専攻に設置されている場合は、教職と専攻の単位数両方の要件を満たすことになります。但し、履修申告期間中に正しく履修申告がなされている場合に限りです。
その他	三田には科目ガイダンス週間がありますか？	2・3・4年生	ありません。4月8日から授業を開始しますので履修申告する科目は出席してください。
	他学部や、他地区の時間割・講義要綱を閲覧したい。	2・3・4年生	学事センター閲覧コーナー(閲覧のみ)もしくはメディアセンター 1F 複写カウンター(閲覧、コピー)で可能です。Webでも閲覧する事ができます。
	専攻担任ってなんですか？	2・3・4年生	所属専攻学生全員を取りまとめて受け持つ先生のことです。留学・休学・退学を希望する場合は必ず専攻担任の面接と承認が必要になります。また、所属専攻内の事で相談したいことがある場合はまず専攻担任に相談してください。
	先生の連絡先を教えてください。	2・3・4年生	学事センターでは、先生の個人情報は一切お教えできません。
	授業内やレポートボックス回収で提出できなかったレポートを先生に転送してほしい。	2・3・4年生	学事センターでは、レポートに限らず、担当教員への書類の転送は一切行っていません。
	研究会(ゼミ)に関する情報はどこにありますか？	2・3・4年生	西校舎地下2階の掲示板に掲出しています。

文学部では学則の他に専攻ごとに専攻内規を定めています。各自、所属する専攻の内規を熟読の上、不明な点がある場合は、履修申告の前に、専攻担任に必ず相談してください。

## 【目次】

哲 学 専 攻 .....	98
倫 理 学 専 攻 .....	100
美学美術史学専攻 .....	102
日 本 史 学 専 攻 .....	104
東 洋 史 学 専 攻 .....	106
西 洋 史 学 専 攻 .....	108
民族学考古学専攻 .....	110
国 文 学 専 攻 .....	112
中 国 文 学 専 攻 .....	114
英 米 文 学 専 攻 .....	116
独 文 学 専 攻 .....	118
仏 文 学 専 攻 .....	120
図書館・情報学専攻 .....	122
社 会 学 専 攻 .....	126
心 理 学 専 攻 .....	128
教 育 学 専 攻 .....	130
人 間 科 学 専 攻 .....	132

# 哲学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	コース	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位			
必修科目	基礎コース	30-01-11	哲学倫理学原典講読(4) ... 2年進級条件科目	のうち3科目(12)	48 単 位		
		30-01-21	哲学概論(4) 西洋哲学倫理学史Ⅰ(4) 西洋哲学倫理学史Ⅱ(4) 論理学入門(4)				
		専門コース	30-01-22			科学の哲学(4) 中級論理学(4) 知識の哲学(4) 形而上学(4) 現代論理学の諸問題(4) 心の哲学(4) 言語の哲学(4) 現象学(4) 宗教の哲学(4) 哲学原典研究Ⅰ(独)(4) 哲学原典研究Ⅱ(仏)(4) 哲学原典研究Ⅲ(英)(4) 哲学原典研究Ⅳ(古典)(4)	のうち5科目(20)
			30-01-23			哲学倫理学特殊(各4) ... のうち2科目(8)	
	研究会		30-01-31	哲学研究会Ⅰ(2)			
			30-01-32	哲学研究会Ⅱ(2)			
	卒試		30-01-41	卒業試験(卒業論文)			
	選択科目		30-01-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目 選択科目には哲学専攻設置の次の科目も含まれる 印度哲学(4)・宗教学(4)		24 単 位 以 上	

## 2 必修科目

必修科目として、上に掲げた授業科目系列表に示された48単位を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない(倫理学専攻開講の哲学倫理学原典講読(英)は卒業に必要な単位に含めない)。

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

哲学倫理学原典講読(倫理学専攻開講の哲学倫理学原典講読(英)は含めない)

#### (2) 基礎コースの科目は第2学年で履修することが望ましい。

### 【第3学年】

(1) 第3学年ではいずれかの研究会Ⅰを必修科目として履修すること。進級条件科目ではないが、研究会Ⅰを必修として取得していないと、研究会Ⅱは履修できなくなる。

(2) 研究会Ⅰを同一学年で二つ以上履修する場合は一つを必修とし、他は選択科目として履修申告(B欄55)す



ること。

- (3) 専門コースの科目は第3・4学年で履修することが望ましい。

#### 【第4学年】

- (1) 第4学年ではいずれかの研究会Ⅱを必修科目として履修する（前年度まで必修として履修した研究会Ⅰの単位が取得できていないと、研究会Ⅱを履修することはできない）。なお、同一担当者の研究会を2年継続して履修しなくともよい。
- (2) 研究会Ⅱを同一学年で二つ以上履修する場合は一つを必修科目として履修申告（A欄）し、他は選択科目として履修申告（B欄55）すること。
- (3) 卒業試験は卒業論文とし、必修科目として履修する研究会の担当教員に提出する。4年生は文学部時間割に記載されている研究会担当教員の「卒業試験（卒業論文）」を必ず履修申告すること（研究会とは別の登録番号）。
- (4) 専門コースの科目は第3・4学年で履修することが望ましい。

### 3 選択科目

選択科目として、別に掲げた授業科目系列表に示された24単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 4 各学年共通

- (1) 単位取得済科目の再履修は、授業科目系列表内の必修科目（倫理学専攻開講のものを含む）に限り、次の場合には何度でも選択科目として認められる（A欄申告）。
- （ア）担当者が異なる場合
- （イ）担当者は同じだが内容が異なる場合（この場合は、履修届提出日前に専攻担任（平成21年度は飯田隆、堀江聡、納富信留）の判断を求め、履修届（WEB履修の場合、画面のプリントアウト）に認定のサインを受けること）
- (2) 1グループから一定数の科目を履修するように指定のある科目（分野30-01-21・30-01-22・30-01-23）を、指定数を超えて履修（A欄申告）した場合は選択科目の単位とみなし、卒業単位として取り扱う。
- (3) 専門コースで「中級論理学」、「現代論理学の諸問題」を履修しようとする者は基礎コースで「論理学入門」を先に履修しておくこと。

# 倫理学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】(\* = 半期科目)

種類	分野番号	授 業 科 目 名 (単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-02-11	倫理学概論(4) 倫理学の基礎Ⅰ(2)* 倫理学の基礎Ⅱ(2)*	36 単 位	
	30-02-12	哲学倫理学原典講読(英)(4) 哲学倫理学原典講読(独)(4) 哲学倫理学原典講読(仏)(4) 哲学倫理学原典講読(露)(4) } のうち4単位		
	30-02-13	西洋哲学倫理学史Ⅰ(4) 西洋哲学倫理学史Ⅱ(4)		
	30-02-21	倫理学の課題Ⅰ(2)* 倫理学の課題Ⅱ(2)* 倫理学の課題Ⅲ(2)* 倫理学の課題Ⅳ(2)* 哲学概論(4) 哲学倫理学特殊(4) } のうち8単位		
	30-02-22	日本倫理思想(4) 東洋倫理思想(4) キリスト教概論(4) 仏教学概論(4)[国文学専攻設置] } のうち4単位		
	研究会	30-02-31 倫理学研究会Ⅰ(2) 30-02-32 倫理学研究会Ⅱ(2)		
	卒試	30-02-41 卒業試験(卒業論文)		
	選択科目	30-02-55 大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目 倫理学専攻設置の次の科目を含める 倫理学洋書講読(4)・中国哲学(4)		36 単 位 以 上

## 2 必修科目

必修科目として、授業科目系列表に示された36単位を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 【第2学年】

特別の理由がない限り、倫理学概論、倫理学の基礎Ⅰ・Ⅱ、哲学倫理学原典講読を履修しなければならない。特別の理由がある者は、履修相談日に専攻担任に申し出、許可状の発行を受け、履修申告期間中に学事センターへ提出すること。ただし、進級条件科目ではない。

哲学倫理学原典講読の主目的は、研究会で使用する英語以外の外国語(ドイツ語・フランス語・ロシア語)の修得であるから、日吉でドイツ語・フランス語・ロシア語を履修した者は同一語種を選択することを原則とし、英語や中国語を選択することはできない。

日吉で中国語を履修した者で中国思想を研究したい者は、中国文学専攻設置の中国文学演習Ⅰ~Ⅳのうち2科目を履修し、すべての単位を取得すれば、当専攻の哲学倫理学原典講読の単位として認定する。希望者は必ず

履修相談日に来談して、専攻担任から許可状の発行を受けること。

日吉で中国語を履修した者で中国思想を研究しない者および日吉でイタリア語・スペイン語・朝鮮語を履修した者は、ドイツ語・フランス語・ロシア語・英語のうちから、自分が研究したい領域の言語を選択すること。この場合、英語以外は、第3学年で履修することを例外的に認めることがあるので、希望者は必ず履修相談日に来談して、専攻担任から許可状の発行を受けること。

### 【第3学年】

進級条件科目

倫理学研究会Ⅰ

3・4学年の2年間継続して、同一担当者の研究会を必修科目として履修すること。

### 【第4学年】

(1) 倫理学研究会Ⅱ

3・4学年の2年間継続して、同一担当者の研究会を必修科目として履修すること。

(2) 卒業試験は論文とし、必修科目として履修する研究会の担当教員に提出する。4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること(研究会とは別の登録番号)。

## 3 選択科目

選択科目として、別に掲げた授業科目系列表に示された36単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

## 4 各学年共通

- (1) 必修科目のなかで、1グループから一定数の科目を履修するように指定のある科目(分野30-02-21・30-02-22)を指定単位数を超えて履修(A欄申告)した場合は選択科目の単位とみなし、卒業単位として取り扱う。
- (2) 単位取得済科目の再履修は、分野番号30-02-11から30-02-32までのうち、30-02-12を除き、次の場合にのみ選択科目として許可する。
  - (ア) 担当者が異なる場合
  - (イ) 担当者は同じだが、内容が前(々)年度と異なる場合(この場合は、履修相談日に専攻担任の判断を求め、許可状の発行を受けること)
- (3) 履修申告の前に、専攻担任による履修相談日を設ける。来談して専攻担任の許可状の発行を受けなければならない者は上記に該当する場合であるが、その他の項の例外に該当する者も来談すること。許可状は、履修申告期間中に学事センターへ提出すること。

# 美学美術史学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位		
必修科目	30-03-11	芸術研究基礎(2)	38単位		
	30-03-12	美学美術史学原典講読Ⅰ(英)(2) 美学美術史学演習(2)			
	30-03-13	美学美術史学原典講読Ⅱ(独・仏・伊・日)(2)			
	30-03-14	美学概論(4) 芸術学(2)			
	30-03-21	東洋美術史概説(4)		のうち2種類以上にわたり3科目(12)	
	30-03-22	西洋美術史概説(4)			
	30-03-23	西洋音楽史概説(4)			
	選択必修	30-03-24		美学特殊(4) 美術史特殊(4) 音楽史特殊(4)	のうち1科目(4)
		30-03-25		アート・マネジメント(4【全専攻共通科目】) アート・プロデュース(4【全専攻共通科目】)	のうち1科目(4)
	研究会	30-03-31		美学美術史学研究会Ⅰ(2)	
30-03-32		美学美術史学研究会Ⅱ(2)			
卒試	30-03-41	卒業試験(卒業論文)			
選択科目	30-03-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	34単位以上		

## 2 必修科目

卒業時まで専門教育科目については上に掲げた授業科目系列表にしたがって、必修科目として38単位を取得しなければならない。

### 【第2学年】

- (1) 第1, 第2学年を通じて、語学科目計18単位(英語を選択していない場合は20単位)を取得しないと第3学年に進級できない。
- (2) 「芸術研究基礎」, 「美学美術史学原典講読Ⅰ」, 「美学美術史学演習」は必ず履修すること。  
(ただし進級条件科目ではない。)

### 【第3学年】

- (1) 「美学美術史学研究会Ⅰ」は第4学年への進級条件科目である。研究会を履修する場合、学年初めに必ず各研究会の担当教員に面接し、履修の許可を得なければならない。
- (2) 「美学美術史学原典講読Ⅰ」, 「美学概論」, 「芸術学」, 「アート・マネジメント」, 「アート・プロデュース」は本学年で履修することが望ましい(ただし進級条件科目ではない。)
- (3) 「美学美術史学原典講読Ⅰ」のうち、独語・仏語・伊語については、原則として、第1・2学年次に履修した第2外国語と同じ語種の授業を選択すること。ただし、本授業と並行して別に初等文法を学ぶことを条件に

未修者についても履修を認める。日本語については、研究上特に日本語原典の読解能力の修得を必要とする者、第2外国語として独語・仏語・伊語以外の語種を履修した者、あるいは、すでに「美学美術史学原典講読」の独語・仏語・伊語のいずれかの授業を履修した者にのみ履修を認める。なお、いずれの語種についても、学年初めに必ず担当教員から履修の許可を得なければならない。

#### 【第4学年】

- (1)「美学美術史学研究会 II」は卒業条件科目である。研究会を履修する場合、学年初めに必ず各研究会の担当教員に面接し、履修の許可を得なければならない。
- (2)卒業試験は論文試験とし、必修として履修した「美学美術史学研究会 II」の担当教員による「卒業試験（卒業論文）」（研究会とは別の登録番号が文学部時間割に記載されている）を必ず履修し、その担当教員（指導教授）に卒業論文を提出すること。
- (3)第4学年において留年した者は、「美学美術史学研究会 II」について、たとえ単位を取得していても、再度必ず履修すること。

### 3 選択科目

選択科目として、34単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 4 共通

- (1)「芸術研究基礎」は、原則として本専攻第2学年次の学生のみが履修を認められる科目であり、第2学年次に単位を取得できなかった者についてのみ第3学年次以降での履修を認める。
- (2)概説科目（「東洋美術史概説」、「西洋美術史概説」、「西洋音楽史概説」）は、計12単位を必修とするが、そのうち1つの科目については、担当者の異同を問わず、計8単位までを必修科目として認める。
- (3)特殊科目（「美学特殊」、「美術史特殊」、「音楽史特殊」）は、そのうち1つの科目4単位を必修とする。
- (4)全専攻共通科目の「アート・マネジメント」と「アート・プロデュース」については、そのうち1つの科目4単位を本専攻の必修とする。
- (5)「芸術研究基礎」を除く美学美術史学専攻の授業科目は、必修および選択科目として、担当者の異同を問わず、何度でも履修できる。（他専攻の専門教育科目、全専攻共通科目については、重複して履修することはできない。）
- (6)同一年度に必修科目として指定単位数を超えて履修し、その単位を取得した場合、超過分は選択科目とみなし、卒業単位として取り扱う。
- (7)必修科目として履修したものと同名の科目を選択科目として履修する場合も、履修申告用紙のA欄に記入すること。
- (8)在学中に留学を考えている者は、当該年度の履修申告に際して必ず専攻担任に相談し、留学が決まりしだい学事センターに申し出ること。

# 日本史学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-04-11	日本史史料講読(A)または(B)(2)	36 単 位	
	30-04-12	史学概論(4)		
		古文書学(4)		
	30-04-13	日本史概説Ⅰ(4)		
		日本史概説Ⅱ(4)		
	選択必修	30-04-21		日本史特殊(各4)のうち2科目(8)
		30-04-22		日本史演習(各2)のうち1科目(2)
		30-04-23		東洋史概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各4)【東洋史学専攻設置】 西洋史概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各4)【西洋史学専攻設置】 } のうち1科目(4)
研究会	30-04-31	日本史研究会Ⅰ(A)~(G)(2)		
	30-04-32	日本史研究会Ⅱ(A)~(G)(2)		
卒試	30-04-41	卒業試験(卒業論文)		
選択科目	30-04-51	日本史洋書講読(2)	36 単 位 以 上	
		日本史演習(各2)		
指定選択		日本史概説Ⅰ・Ⅱ(各4)	のうち12単位以上を含 なければならない。	
	日本史特殊(各4)			
	東洋史概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各4)【東洋史学専攻設置】			
	西洋史概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各4)【西洋史学専攻設置】			
	東洋史特殊(4)【東洋史学専攻設置】			
	西洋史特殊(4)【西洋史学専攻設置】			
	哲学倫理学特殊(4)【哲学専攻設置】*			
	考古学(4)【民族学考古学専攻設置】			
	民族学(4)【民族学考古学専攻設置】			
選択科目	30-04-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目		

\* 専攻担任が指定する科目に限る

## 2 必修科目

必修科目として、授業科目系列表に示された11科目36単位を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 【第2学年進級条件科目】

日本史史料講読

### 【第3学年進級条件科目】(第2学年では履修することができない)

日本史研究会Ⅰ(担当者の許可を得たもの)

### 【第3学年指定必修科目】(第2学年では履修することができない)

日本史演習(担当者の許可を得たもの)

## 【第4学年指定必修科目】(第2・3学年では履修することができない)

日本史研究会 II (担当者の許可を得たもの)

### 【各学年共通】

- (1) 史学概論は、日本史学専攻の登録番号で履修すること。
- (2) 日本史概説 I・II を共に卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。
- (3) 東洋史概説 I・II・III, 西洋史概説 I・II・III の中から 1 科目を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。
- (4) 日本史特殊は、卒業までに 8 単位を履修し、単位を取得しなければならない。
- (5) 卒業試験 (卒業論文) について  
卒業論文によって行う。4 年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験 (卒業論文)」を必ず履修すること (日本史研究会 II とは別の登録番号がある)。

## 3 選択科目

- (1) 授業科目系列表に選択科目として示された科目の中から、卒業までに 36 単位を履修し、単位を取得しなければならない。
- (2) そのうちの少なくとも 12 単位については、指定された科目群 (分野番号 30-04-51) の中から、相異なる科目を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

## 4 各学年共通

- (1) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い  
指定単位数を超えて履修した必修科目は、選択科目 (30-04-51 または 30-04-55) とみなし、卒業単位として取り扱う。したがって、履修申告では、必修単位として挙げられている科目は全て A 欄に記入すること。
- (2) 重複履修の取り扱いについて  
日本史学専攻以外の設置科目については、重複履修を認めない。  
日本史学専攻の設置科目については、日本史史料講読、日本史研究会 ・ を除き必修科目・選択科目ともに、担当者の異同を問わず、同一科目の重複履修を認める。
- (3) 研究会の履修方法  
各研究会は指定された学年で履修しなければならない。  
各学年で 2 科目以上履修することはできない。

# 東洋史学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-05-11	東洋史研究入門(2)	40 単 位	
	30-05-12	東洋史講読 A~E(2)		
	30-05-13	東洋史概説 I(4)・II(4)・III(4)		
	30-05-21	東洋史特殊 A~K(各4)...のうち4科目(16)		
	30-05-22	史学概論(4)[史学系設置科目] 日本史概説 I・II(各4)[日本史学専攻設置] 西洋史概説 I・II・III(各4)[西洋史学専攻設置]		のうち1科目(4)
	30-05-31	東洋史研究会 IA~F(各2)のうち1科目(2)		
	30-05-32	東洋史研究会 IIA~F(各2)のうち1科目(2)		
卒試	30-05-41	卒業試験(卒業論文)		
選択科目	30-05-51	東洋史特殊 A~K(各4) 東洋史研究会 IA~F(各2) 東洋史研究会 IIA~F(各2)	32 単 位 以 上	
	30-05-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目 東洋史学専攻設置の次の科目を含む 東洋史演習 A~C(各2)		

## 2 必修科目

必修科目として、別掲の授業科目系列表に示された12科目40単位を卒業までに履修し、かつ単位取得しなくてはならない。

### 【第2学年進級条件科目】

東洋史研究入門

### 【第3学年進級条件科目】

東洋史講読 A~Eのうち1科目, 東洋史研究会 IA~Fのうち1科目

### 【第4学年】

卒業試験は卒業論文によって行う。第4学年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること(研究会とは別の登録番号がある)。

### 【全学年共通】

- (1) 東洋史講読 A~Eのうち1科目を第2学年または第3学年において必修科目として履修し、かつ単位取得しなくてはならない。
- (2) 東洋史概説はI・II・IIIそれぞれを履修し、かつ単位取得しなくてはならない。
- (3) 必修の東洋史特殊4コマのうち、1コマは専任教員担当の授業を取るのが望ましい。
- (4) 東洋史特殊 A~Kは同一担当者の講義を続けて履修しても内容は毎年異なるので、必修科目および選択科目の単位として加算される。
- (5) 史学概論は東洋史学専攻の【授業科目系列表】に示されている分野番号で登録しなくてはならない。



- (6) 東洋史研究会Ⅰ・Ⅱは同一担当者の科目を第3・4学年においてそれぞれ必修科目の単位として1科目ずつ2年間連続して履修することを原則とする。同一学年において2科目を超えて履修することをさまたげないが、その場合、一つを必修科目として履修し、残りは選択科目(B欄51)としなければならない。第3・4学年に連続して同一担当者の東洋史研究会を必修科目として単位取得することが望ましいが、事情により第3学年に選択科目として単位取得した東洋史研究会Ⅰと同一担当者の東洋史研究会Ⅱを第4学年において必修科目として履修し、その担当者の「卒業試験(卒業論文)」を履修することもできる。
- (7) 卒業試験(卒業論文)の履修者のなかで、すでに東洋史研究会Ⅰ・Ⅱを必修科目として単位取得済みの者(たとえば第4学年で卒業論文を提出しなかった場合)は卒業試験(卒業論文)担当者の東洋史研究会Ⅰ・Ⅱを選択科目または自由科目として履修することが望ましい。
- (8) 第2学年において選択必修語学科目のうち1語種をアラビア語、ペルシア語、トルコ語のうちいずれかひとつの語種にふりかえることができるが、同一語種を2科目(4単位)履修し、単位取得しなければならない。その場合、アラビア語とトルコ語については文学部設置のアラビア語Ⅰとアラビア語Ⅱ、またはトルコ語Ⅰとトルコ語Ⅱを履修し、かつ単位取得しなければならない。またペルシア語については、1科目は文学部設置のペルシア語Ⅰを、もう1科目は言語文化研究所特殊講座のペルシア語初級Ⅰ・Ⅱを履修し、かつ単位取得しなければならない(B欄91)。

### 3 選択科目

選択科目は、別掲の授業科目系列表に示された科目のなかから卒業までに32単位を履修し、かつ単位取得しなければならない。

### 4 各学年共通

- (1) 必要単位数を超えて履修した必修科目の取り扱い
- ・必修科目のなかで、ひとつのグループから一定数の科目を履修するように指定されている科目について指定単位数を超えて履修し、かつ単位取得した場合は選択科目の単位とみなす(A欄申告)。
  - ・東洋史特殊A~K, 東洋史研究会ⅠA~F・ⅡA~Fは必修科目の指定単位数を超えて単位取得した場合、合計12単位まで指定選択科目(分野番号は30-05-51)として認める。
- (2) 重複履修の取り扱いについて
- ・東洋史講読(30-05-12)は、担当者の異同にかかわらず選択科目(30-05-55)の単位とみなされる(A欄申告)。
  - ・東洋史概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(30-05-13)は、担当者が異なれば選択科目(30-05-55)とみなされる(A欄申告)。
  - ・東洋史特殊(30-05-21)は、同一担当者の授業を繰り返し履修し、かつ単位取得した場合にも必修科目(必修科目の必要単位数を超えた場合は指定選択科目(30-05-51))として加算される(A欄申告)。
  - ・東洋史演習(30-05-55)は、同一担当者の授業を繰り返し履修し、かつ単位取得した場合にも選択科目(30-05-55)として加算される(A欄申告)。
- (3) 研究会の履修方法
- 第2学年で履修する場合は、選択科目(30-05-51)として履修申告できる(B欄51)。
- 各学年で2科目履修する場合、1つは(30-05-31または32)、1つは(30-05-51)とする(B欄51)。ただし、第3学年で2科目(4単位)を取っても卒業要件を満たさない。
- (4) 東洋史演習A~C, 文学部設置のアラビア語, ペルシア語, トルコ語, 中国語, 朝鮮語, それに言語文化研究所特殊講座のアジア諸言語をできるだけ積極的に履修することが望ましい。

# 西洋史学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位
必修科目	30-06-11	史学概論(4)	40 単 位
	30-06-12	西洋史学原典講読(2)	
	30-06-13	西洋史演習(2)	
	30-06-14	西洋史概説Ⅰ(4)・Ⅱ(4)・Ⅲ(4)	
	30-06-21	西洋史特殊A~J(各4)のうち2科目(8)	
	30-06-22	日本史概説Ⅰ(4)・Ⅱ(4)〔日本史学専攻設置〕のうち1科目(4)	
	30-06-23	東洋史概説Ⅰ(4)・Ⅱ(4)・Ⅲ(4)〔東洋史学専攻設置〕のうち1科目(4)	
	30-06-31	西洋史研究会Ⅰ(A)~(G)(2)	
	30-06-32	西洋史研究会Ⅱ(A)~(G)(2)	
卒試	30-06-41	卒業試験(卒業論文)	
選択科目	30-06-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	32 単 位 以 上

## 2 必修科目

必修科目として、上に掲げた授業科目系列表に示された12科目40単位を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

西洋史学原典講読

第2学年の在籍者で、次のいずれかの条件に該当する者は、第2学年の初めに専攻担任の別個のガイダンスを受けること。

- ・必修語学として英語を履修していない。
- ・必修語学として独語・仏語・伊語・西語・露語のうちいずれの言語も履修していない。

### 【第3学年】

#### (1) 進級条件科目

西洋史研究会Ⅰ(A)~(G)のうちいずれか1科目

第3・4学年において同一担当者の西洋史研究会ⅠおよびⅡを継続して履修することを原則とする。

西洋史演習(独語・仏語・伊語・西語・露語のいずれか)

### 【第4学年】

#### (1) 指定必修科目

西洋史研究会Ⅱ(A)~(G)のうちいずれか1科目

第3・4学年において同一担当者の西洋史研究会ⅠおよびⅡを継続して履修することを原則とする。

- (2) 卒業試験は卒業論文によっておこなう。第4学年は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること。

### 【各学年共通】

- (1) 西洋史概説はⅠ・Ⅱ・Ⅲのそれぞれを履修しなければならない。
- (2) 西洋史特殊 2 科目は、それぞれ別の担当者の科目を必修科目として履修しなければならない。
- (3) 史学概論は西洋史学専攻の【授業科目系列表】に示されている分野番号で登録しなければならない。

## 3 選択科目

選択科目は、大学および諸研究所・センター設置の専門教育科目（学部学則 35 条 3 項）の中から卒業までに 32 単位以上を履修し、かつ単位を取得しなければならない。

## 4 履修上の注意

- (1) 西洋史学原典講読と西洋史演習は、それぞれ 2 単位は必修科目として、それ以上は選択科目として上限を設けずに履修を認める。なお、同一担当者の講義を何度重複履修してもさしつかえない。
- (2) 西洋史特殊 A～J を 2 科目を超えて必修科目として履修し単位を取得した場合、2 科目までは必修科目、3 科目目からは選択科目の単位とみなす。ただし、すでに取得済みの科目と同一担当者による科目を選択科目として履修することはできない（同一科目名でも担当者が異なる場合は選択科目として履修できる）。
- (3) 日本史概説Ⅰ・Ⅱと東洋史概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを、それぞれ必修科目として指定されている 4 単位を超えて履修し単位を取得した場合は、選択科目とみなす。ただし、同一のローマ数字の科目を選択科目として重複履修することはできない。
- (4) 史学概論、西洋史概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、西洋史研究会Ⅰ・Ⅱの重複履修は選択科目として認めない。
- (5) 西洋史研究会Ⅰ・Ⅱは第 2 学年で履修することはできない。また同一学年で 2 科目以上履修することはできない。

# 民族学考古学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位		
必修科目	30-07-11	民族学考古学原典講読(2)	40 単 位		
	30-07-12	史学概論(4)			
	30-07-13	民族学考古学実習(2)			
	30-07-21	民族学考古学特殊A~K(各4)のうち2科目(8)			
	30-07-22	考古学(4) 民族学(4) 人類学概論(4) 民族学考古学研究法(4)		いずれか3科目(12)	
	30-07-23	日本史概説Ⅰ(4)・Ⅱ(4) [日本史学専攻設置]			日本史概説・東洋史概説・西洋史概説の 三つの系列のうちから二つの系列にわたっ て2科目(8)を必修として履修すること。
	30-07-24	東洋史概説Ⅰ(4)・Ⅱ(4)・Ⅲ(4) [東洋史学専攻設置]			
	30-07-25	西洋史概説Ⅰ(4)・Ⅱ(4)・Ⅲ(4) [西洋史学専攻設置]			
	研究会	30-07-31		民族学考古学研究会Ⅰ(A)~(E)(2)	
		30-07-32		民族学考古学研究会Ⅱ(A)~(E)(2)	
卒試	30-07-41	卒業試験(卒業論文)			
選択科目	30-07-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	32 単 位 以 上		

## 2 必修科目

卒業試験は卒業論文によって行う。4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること。(研究会とは別の登録番号があります。)

### 【第2学年進級条件科目】

民族学考古学原典講読

### 【第3学年進級条件科目】

民族学考古学研究会Ⅰ

### 【第4学年卒業条件科目】

民族学考古学研究会Ⅱ, 卒業試験(卒業論文)

### 【各学年共通】

(1) 民族学考古学実習は2年生で履修するのが望ましい。

(2) 民族学考古学研究会Ⅰ・Ⅱ

民族学考古学研究会Ⅰ(A)~(E)は第3学年において履修し,Ⅱ(A)~(E)は第4学年(卒論指導)において履修する。したがって,第3学年において民族学考古学研究会Ⅰ(A)~(E)のいずれかの単位を取得しない場合は,第4学年に進級できない。

- (3) 民族学考古学特殊 A～K (分野 30-07-21) は 2 科目 8 単位を必修とする。また、民族学考古学専攻の学生については、同一担当者でも選択科目としての再履修を認める。
- (4) 卒業試験は卒業論文によって行う。第 4 学年は文学部時間割に記載されている「卒業試験 (卒業論文)」を必ず履修すること (研究会とは別の登録番号がある)。

### 3 選択科目

選択科目として、卒業までに 32 単位を履修し、かつ単位取得しなければならない。

### 4 各学年共通

- (1) 重複履修の取り扱いについて  
担当者の異同に関わらず、全ての民族学考古学専攻設置科目に限り、重複履修を認める。
- (2) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い  
必修科目のなかで、1 グループから一定数の科目を履修するように指定のある科目 (分野 30-07-21・30-07-22・30-07-23・30-07-24・30-07-25) を指定単位数を超えて履修した場合は選択科目の単位とみなし、卒業単位として取り扱う。
- (3) 研究会の履修方法  
第 3 学年、第 4 学年で履修することをすすめるが、第 2 学年で履修することも可能。その場合は選択科目 (分野 30-07-55) の単位とみなし、卒業単位として取り扱う (B 欄 55)。第 3 学年、第 4 学年で 2 科目以上研究会を履修する場合、1 科目を必修 (A 欄)、2 科目を選択科目 (B 欄 55) とする。

# 国文学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-08-11	国文学原典講読(2)	34 単 位	
	30-08-12	国語学Ⅰ(2)・国語学Ⅱ(2)		
	30-08-21	国文学Ⅰ～ⅩⅤ(各4)のうち2科目(8)		
	30-08-22	国文学史Ⅰ～Ⅵ(各2)のうち4科目(8)		
	30-08-23	国文学演習Ⅰ～Ⅵ(各2) 国語学演習(2)		}のうち4科目(8)
	研究会	30-08-31		国文学研究会(2)
卒試	30-08-41	卒業試験(卒業論文)		
選択科目	30-08-51	国語学Ⅰ(2)・国語学Ⅱ(2) 国文学Ⅰ～ⅩⅤ(各4) 国文学史Ⅰ～Ⅵ(各2) 日本語文法(2) 漢文講読Ⅲ(2) 国語学演習(2) 国文学演習Ⅰ～Ⅵ(各2)	42 単 位 以 上	
		}のうち必修科目として履修して いない12単位を含めなければ ならない。		
選択	30-08-55	本大学設置の専門教育科目(学部学則第35条3項参照) 国文学専攻設置の次の科目を含む 日本語学Ⅰ(2)・日本語学Ⅱ(2) 日本語教授法Ⅰ(2)・日本語教授法Ⅱ(2) 仏教学概論(4)		

## 2 必修科目の履修について

### 【第2学年進級条件科目】

第2学年において、「国文学原典講読(A)～(D)」のうち、1科目を修得しなければならない。そのクラス分けは、新学期に発表する。

### 【第3・4学年指定科目】

選択必修科目としての「国文学演習Ⅰ～Ⅵ」「国語学演習」(各2単位)は、第3学年、第4学年において異なる4科目を履修すること。

### 【卒業試験】

卒業試験は卒業論文によって行うので、4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること(研究会とは別の登録番号がある)。

### 3 選択科目の履修について

卒業に必要な 42 単位の選択科目には、国語学Ⅰ・国語学Ⅱ・国文学Ⅰ～ⅩⅤ・国文学史Ⅰ～Ⅵ・日本語文法・漢文講読Ⅲ・国語学演習・国文学演習Ⅰ～Ⅵの中から必修科目として履修しない12単位を指定選択科目として、履修しなければならない。

ただし、履修申告の際には、必修科目と指定選択科目を区別せず、すべてを必修科目としてA欄申告すること（必修科目としての単位数を超えた段階で、以降の科目が自動的に指定選択科目として処理されるため）

### 4 各学年共通

#### (1) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱いについて

「国文学Ⅰ～ⅩⅤ」、「国文学史Ⅰ～Ⅵ」、「国文学演習Ⅰ～Ⅵ」・「国語学演習」、「日本語文法」・「漢文講読Ⅲ」に関しては、それぞれ必修科目としての単位数を超えて履修した単位は、自動的に選択科目の単位となる（履修申告は必修科目としてA欄申告すること。ただし重複履修の場合は4-(2)を参照）。

#### (2) 必修科目の重複履修の取り扱いについて

すでに履修した必修科目を重複履修する際は、以下の点に注意すること。特に、選択科目として履修できる単位数の制限と、履修申告の際の申告欄に注意すること。

ア 「国文学Ⅰ～ⅩⅤ」、「国文学史Ⅰ～Ⅵ」、「国文学演習Ⅰ～Ⅵ」・「国語学演習」、「日本語文法」・「漢文講読Ⅲ」

<担当者が異なる場合>

担当者が異なる場合は、同じ科目でも別科目とみなし、再履修・再々履修は共に必修科目として履修できる(A欄申告)

<担当者が同じ場合>

同一担当者の科目の場合は、再履修は選択科目(B欄51)となり、再々履修は自由科目(B欄99)となる。

なお、同一担当者の科目を再履修する場合、～の科目群においては、それぞれの科目群につき合計8単位まで、の科目群においては2単位までは選択科目として履修できるが、それ以降は自由科目となる。

イ 「国語学Ⅰ」、「国語学Ⅱ」

担当者の異同に関わらず、再履修は選択科目(B欄51)となり、再々履修は自由科目(B欄99)となる。

#### (3) 研究会の履修方法

国文学研究会は(Ⅰ)藤原・(Ⅱ)川村・(Ⅲ)佐藤・(Ⅳ)石川・(Ⅴ)屋名池・(Ⅵ)松村担当のいずれか一つを第4学年で履修する。これは卒業論文指導であるから、論文のテーマ等を考え、指導を受けようとする教員の研究会を選ぶこと。なお、第2学年と第3学年では国文学研究会は履修できない。また、第4学年で2つ以上の研究会を履修することはできない。

# 中国文学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授 業 科 目 名(単位)	卒業必 要単位				
必修 科目	30-09-11	中国文学史Ⅰ(4) 中国文学史Ⅱ(4) 中国語学概論(4)	38 単 位				
	30-09-12	中国文学特殊(4) 中国語学特殊(4) 中国語表現演習Ⅰ(2) 中国語表現演習Ⅱ(2) 中国語表現演習Ⅲ(2) 中国語表現演習Ⅳ(2)					
	選択必修	30-09-21		中国文学演習Ⅰ～Ⅵ(2)のうち4科目(8)			
	研究会	30-09-31		中国語学研究会Ⅰ(1) 中国語学研究会Ⅱ(1) 中国古典文学研究会Ⅰ(A)(B)(C)(1) 中国古典文学研究会Ⅱ(A)(B)(C)(1) 中国現代文学研究会Ⅰ(A)(B)(1) 中国現代文学研究会Ⅱ(A)(B)(1)	同一の研究会Ⅰ・Ⅱの 2科目(2)を第3学年 で履修。		
				卒試		30-09-41	卒業試験(卒業論文)
選択 科目			研究会	30-09-32		中国語学研究会Ⅲ(1) 中国語学研究会Ⅳ(1) 中国古典文学研究会Ⅲ(A)(B)(C)(1) 中国古典文学研究会Ⅳ(A)(B)(C)(1) 中国現代文学研究会Ⅲ(A)(B)(1) 中国現代文学研究会Ⅳ(A)(B)(1)	38 単 位 以 上
				指定 選択		30-09-51	
	選択	30-09-55			大学設置(学部学則第35条3頁参照)の専門教育科目		

## 2 必修科目

### 【2年進級条件科目】

「中国文学史Ⅰ」、「中国文学史Ⅱ」、「中国語学概論」は、進級条件科目として第2学年で必ず履修し、単位を取得すること。

### 【2年指定科目】

「中国文学演習Ⅰ」、「中国文学演習Ⅱ」、「中国語表現演習Ⅰ」、「中国語表現演習Ⅱ」は、第2学年で履修することが望ましい。



### 【3・4年指定科目】

第3・4学年指定科目は、第3学年または第4学年のいずれかで履修してもよい。

「中国文学特殊」、「中国語学特殊」、「中国語表現演習 III～IV」、「中国文学演習 III～VI」

「中国語学研究会 I～IV」

「中国古典文学研究会 I(A)～I(C)・II(A)～II(C)・III(A)～III(C)・IV(A)～(C)」

「中国現代文学研究会 I(A)～I(B)・II(A)～II(B)・III(A)～III(B)・IV(A)～(B)」

### 【卒業論文】

卒業試験は卒業論文によって行う。4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること。

## 3 選択科目

指定選択科目の中には、下記(1)～(6)の科目のうちから12単位以上を含めること。

(1)「中国語学研究会 III・IV」、「中国古典文学研究会 III・IV」、「中国現代文学研究会 III・IV」(各1)

(2) 必修科目として履修しない「中国文学演習 I～VI」(各2)

(3)「中国語会話特殊 I・II」(各2)

(4)「漢文講読 I・II」(各2)

(5)「中国哲学」(4)

(6)「東洋史概説 I・II・III」(各4)

## 4 各学年共通

### (1) 重複履修の取り扱いについて

第3学年ですでに単位を取得した中国文学専攻設置の必修科目・選択科目を第4学年で再履修する場合は、科目担当者が異なる場合、8単位まで選択科目として認める。この際、専攻担任の承認が必要である。

### (2) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い

「中国文学演習 I～VI」は、計6科目のうち4科目を必修科目として履修する。それ以上さらに履修する場合は、選択科目として履修することができる(A欄申告)。

### (3) 研究会の履修方法

研究会は、第3・4学年と続けて、I・II・III・IVの順に履修することが望ましい。I・IIIは春学期科目、II・IVは秋学期科目であるが、原則としてIとII、IIIとIVをそれぞれ同一学年で続けて履修し、履修申告はいずれも4月に行う。学則上、IとIIは必修科目、IIIとIVは選択科目であるが、IIIとIVは卒業論文指導を主体とする必修に準ずる科目であるので履修することが望ましい。履修しない場合は、必ず専攻担任に申し出ること。

また、第3学年で研究会I・IIが不合格だった場合は、第4学年で再度履修し単位を取得しなければ卒業できない。

# 英米文学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-10-11	英語史(4) 英文学史(4) 米文学史(4) 現代英語学(4) 英語英米文学基礎講読(A)~(G)(2)...2年指定必修	40 単 位	
		30-10-12		古代中世英語学(4)...3年指定必修 英語音声学(4)
	30-10-21	英語学演習A~H(各2) 英文学演習A~K(各2) 米文学演習A~H(各2)		のうち5科目(10)
		30-10-31		
	卒試	30-10-41		卒業試験(卒業論文)
選択科目	30-10-51	英米文学専攻設置の以下の科目を含める 英語学A~G(各4)・英文学A~H(各4) 米文学A~F(各4)・アカデミック・ライティングA~E(各2)	32 単 位 以 上	
	30-10-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目		

## 2 必修科目

### 【第2学年進級条件科目】

必修科目の「英語史」、「英文学史」、「米文学史」、「現代英語学」、「英語英米文学基礎講読」のうち3科目以上。このうち、「英語英米文学基礎講読」は第2学年で取得することが望ましい。しかし、第2学年において、「英語英米文学基礎講読」が不合格となっても、上記の5科目中3科目に合格していれば、進級条件を満たすことになる。

### 【第3学年進級条件科目】

「研究会Ⅰ」

### 【卒業試験】

「研究会Ⅱ」を履修している4年生は「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること。「卒業試験(卒業論文)」は、「研究会」とは別の登録番号があるので注意されたい。第4学年で留年した場合、前年度すでに「卒業試験(卒業論文)」に合格していても、再度履修する必要がある。(ただし、既に取得した「研究会Ⅱ」の単位は有効)

### 3 選択科目

選択科目として、授業科目系列表に示した32単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

### 4 各学年共通

(1) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い

選択必修科目である「英語学演習 A～H」、「英文学演習 A～K」、「米文学演習 A～H」(分野 30-10-21)の3科目のみ、指定単位数(10単位)を超えて履修した場合は選択科目の単位とみなし、卒業単位として取り扱う。

(2) 重複履修の取り扱いについて

選択必修科目である「英語学演習 A～H」、「英文学演習 A～K」、「米文学演習 A～H」(分野 30-10-21)の3科目のみ、同一担当者の同一科目の再履修が認められる。その場合、一度目は必修科目として、二度目は選択科目として認められるが、三度目以降は自由科目となる。

また、英米文学専攻設置の選択科目の「英語学 A～G」、「英文学 A～H」、「米文学 A～F」、「アカデミック・ライティング A～E」は、たとえ同一のアルファベットであっても担当者が異なれば別科目と認める。なお、同一担当者による同一科目履修は自由科目として履修すること。

(3) 演習科目の履修上の注意

「英語学演習 A～H」、「英文学演習 A～K」、「米文学演習 A～H」は、原則として英米文学専攻の学生を対象とする。ただし、教職課程(英語科)履修者の場合は、定員の範囲内で他専攻の学生も受け入れる場合がある。演習は原則として定員を15名とする。第2学年では、1科目のみ履修可能である。第3学年では、4科目まで履修可能である。第4学年では、履修制限はない。

(4) 「研究会」の履修方法

第3・4学年の2年間にわたって、同一担当者の「研究会」を履修する。第3学年においては、「研究会Ⅰ」を、第4学年においては「研究会Ⅱ」を履修すること。

「研究会」を同一学年で2科目以上履修したり第2学年で履修することはできない。

### 5 その他

(1) 第2学年での履修上の注意

第3学年においてどの「研究会」を選ぶかは、第2学年中に行われるガイダンスに出席して各自の希望で決め、志望票を提出すること。ただし、担当教員による選抜・承認が必要である。なお、定められた期日までに志望票の提出が無い場合は、第3学年で「研究会」を履修することはできない。

(2) 各学年共通の注意

留年者、復学者、学士入学者、第2学年編入者は、必ず英米文学専攻担任の面接を受けること。

履修案内を熟読しても、なお不明の点がある場合は遠慮なく専攻担任に尋ねて疑問を解消し、後に困難な事態に立ち至らぬよう留意されたい。

# 独文学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授 業 科 目 名 (単位)	卒業必 要単位		
必修 科目	30-11-11	テキスト研究中級(2)	40 単 位		
	30-11-12	ドイツ文学史(4) ドイツ文化史(4)			
	30-11-13	ドイツ語学研究(4)			
	30-11-14	現代ドイツ研究入門(4)			
	30-11-21	テキスト研究上級A(2) テキスト研究上級B(2) } のうち1科目(2)			
	30-11-22	ドイツ語作文初級(2) ドイツ語作文中級(2) コミュニケーション・ドイツ語中級A(2) コミュニケーション・ドイツ語中級B(2) コミュニケーション・ドイツ語上級A(2) コミュニケーション・ドイツ語上級B(2) ドイツ文法研究(2) } のうち3科目(6)			
	30-11-23	メディア研究(4) ゲート時代研究(4) ドイツ文化研究Ⅰ～Ⅲ(4) ドイツ文学研究入門(4) 現代ドイツ研究(4) } のうち2科目(8)			
	ゼミ	30-11-31		ドイツ語学文学ゼミナールⅠ～Ⅷ(各2)のうち3科目(6)	
	卒試	30-11-41		卒業試験(卒業論文)	
	選択科目	30-11-55		大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	36単位 以上

## 2 必修科目

### (1)【第2学年指定科目】

以下の科目は、第2学年で履修すべき科目として指定されているが、第2学年で単位を取得できなかった場合は、第3学年で再度履修することが望ましい。ただし、学生個々の進度に応じて学年にこだわらずに履修することも認められる。

ア 「テキスト研究中級」

イ 「ドイツ文学史」

ウ 「ドイツ語作文初級」, 「ドイツ語作文中級」のうち1科目

エ 「コミュニケーション・ドイツ語中級A」, 「コミュニケーション・ドイツ語中級B」(この2科目を同一学年で並行して履修することが望ましい)

## (2)【第3学年指定科目】

以下の科目は、第3学年で履修すべき科目として指定されている。第3学年で単位を取得できなかった場合は、第4学年で再度履修することが望ましい。ただし、学生個々の進度に応じて学年にこだわらずに履修することも認められる。

ア 「テキスト研究上級 A」、「テキスト研究上級 B」のうち1科目

イ 「コミュニケーション・ドイツ語上級 A」、「コミュニケーション・ドイツ語上級 B」(この2科目は同一学年で並行して履修することが望ましい)

## (3)【卒業論文】

卒業試験は卒業論文によって行う。4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること。(研究会とは別の登録番号があります)

## 3 選択科目

選択科目として、別に掲げた授業科目系列表に示された36単位以上を卒業までに履修し、単位を取得しなければならない。

## 4 各学年共通

### (1) 重複履修の取り扱いについて

- ・研究会、卒業論文以外の必修科目に関しては、選択科目として重複履修が認められる(A欄申告)。
- ・研究会は例外的に3科目まで必修科目として重複履修が可能である(A欄申告)。

### (2) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い

必修科目の単位数が必要単位数を超えたときには、自動的に選択科目の単位とみなされる。

### (3) 研究会(ドイツ語学文学ゼミナール)の履修方法

「ドイツ語学文学ゼミナール」のいずれかの担当者を指導教授として、卒業論文(卒業試験)作成にあたっての承認と指示を受けること。指導を受けたいと望む教員の担当するゼミナールには、第3学年と第4学年の2年間に継続して履修することが望ましい。第4学年においては、指導教授のゼミナールに出席すること。ゼミナールはいくつ履修してもよいが、3科目6単位までを必修単位とし、それを超えて履修する場合には選択科目とみなす(A欄申告)。

ゼミナールは第3学年および第4学年で履修することを原則とし、第2学年で履修を希望する者は選択科目として申告すること。

# 仏文学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

【授業科目系列表】以下の表を用いて履修申告に記入する授業科目の分野番号を確認すること。  
なお、仏文学専攻設置の専門教育科目は、すべて半期科目である。

種類	分野番号	授 業 科 目 名(単位)	卒業必 要単位		
必修科目	基礎コース	30-12-11 フランス語学演習Ⅰ・Ⅱ(各1) フランス語表現演習Ⅰ～Ⅳ(各1)	40 単 位		
		30-12-12 フランスの文化と歴史Ⅰ・Ⅱ(各2) フランス文学史Ⅰ・Ⅱ(各2)			
	専門コース	30-12-21 フランス文学と近代Ⅰ～Ⅳ(各2) フランス文学と現代Ⅰ・Ⅱ(各2)		のうち6科目(12)	
		30-12-22 フランス文学史Ⅲ・Ⅳ(各2) フランス語学Ⅰ・Ⅱ(各2)			
		30-12-23		フランス語学演習Ⅲ～Ⅷ(各1) フランス語表現演習Ⅴ～Ⅷ(各1) フランス文学演習Ⅰ～Ⅵ(各1)	のうち12科目(12)
				30-12-31 フランス語学文学研究会Ⅰ・Ⅱ(各1):3年次履修	
				30-12-32 フランス語学文学研究会Ⅲ・Ⅳ(各1):4年次履修	
		卒試		30-12-41 卒業試験(卒業論文)	
	選択科目	30-12-55 大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目		36単位	

## 2 必修科目

### 【第2学年進級条件科目】

「フランス語学演習Ⅰ・Ⅱ」,「フランス語表現演習Ⅰ～Ⅳ」(基礎コースの他の科目は第2学年で履修することが望ましい。)

### 【第2学年インテンシヴ科目】

専門コースの演習科目の中には、初級フランス語終了者の学力強化を目的とした科目が設けられている(詳細は「講義要綱」を参照)。2年生で集中的に学習したい者は履修すること。

### 【第3学年指定科目】

「フランス語学文学研究会Ⅰ」,「フランス語学文学研究会Ⅱ」(専門コースの科目は第3・4学年で履修することが望ましい。ただし、上記の「第2学年インテンシヴ科目」は除く。)

### 【第4学年必修科目】

「フランス語学文学研究会Ⅲ」,「フランス語学文学研究会Ⅳ」

### 【卒業論文】

卒業試験は卒業論文によって行う。ただし、第4学年で留年した場合は、再度提出が必要。

4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること(研究会とは別の登録番号がある)。

### 3 選択科目

「4-(1)重複履修の取り扱いについて」と「4-(2)超過履修の取り扱い」を参照のこと。

### 4 各学年共通

#### (1) 重複履修の取り扱いについて

同一名称の科目の重複履修は認めない。文学部時間割表の科目名の後ろのアルファベットが異なっても同一科目名とみなされる。

ただし、「フランス語学演習 III～VIII」「フランス語表現演習 V～VIII」「フランス文学演習 I～VI」(分野番号 30-12-23)については、選択科目として重複履修が可能である。(分野 30-12-55：履修申告の際はB欄分野番号 55 を記入)

#### (2) 超過履修の取り扱い

必修科目専門コースの単位を指定数を超えて取得した場合は、これらを選択科目の単位とみなし、卒業単位として取り扱う。

#### (3) 研究会の履修方法

「フランス語学文学研究会 I・II」は、第3学年で指定科目として履修し、「フランス語学文学研究会 III・IV」は、第4学年で必修科目として履修すること。なお、第4学年で留年しても、研究会の単位自体は有効である。

また、第2学年では研究会は履修できない。第3学年以上でも、原則は1学年の間に3科目以上履修することはできない。ただし、第3学年時に留学する場合、帰国後第4学年の秋学期に集中して研究会を履修できる。

# 図書館・情報学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 注意事項

- (1) 履修の際の注意点は、学年初めのガイダンスで指示するので、必ず出席すること。
- (2) 学士入学者、留年者は、専攻担任のガイダンスを必ず受けること。
- (3) 2年生は、授業開始までに三田ITCでアカウント申請手続きを済ませること。

## 2 専門教育科目およびその単位数

図書館・情報学専攻における専門教育科目の必修科目ならびに選択科目とその単位数は次の通りである。

必修科目		選択科目		
図書館・情報学基礎(2) 情報サービス基礎Ⅰ(2) 情報サービス基礎Ⅱ(2) 情報メディア基礎Ⅰ(2) 情報メディア基礎Ⅱ(2) 情報検索基礎Ⅰ(2) 情報検索基礎Ⅱ(2) 図書館・情報学原典講読(2) 図書館・情報学研究法(2) 図書館・情報学研究会(2)	20 単 位 以 上	図書館概論(2)                      図書館の計画と経営(2) 図書館資料論(2)                      図書館活動論Ⅰ～Ⅳ(各2) コミュニケーション史(2)              資料組織論(2) レファレンス・サービス論(2)        図書館実習(2)	28 単 位 以 上	52 単 位 以 上
		情報メディア概説Ⅰ～Ⅱ(各2)        情報認識の基礎(2) 情報メディアの構造と分析Ⅰ～Ⅱ(各2) 情報メディア特殊Ⅰ～Ⅳ(各2)		
		情報検索概説Ⅰ～Ⅱ(各2)        情報検索研究(2) 情報探索行動(2)                      データベース検索(2) 情報検索システム(2)                情報処理技術(2) 自然言語処理の基礎(2)              画像・映像処理の基礎(2)		
		書誌学Ⅰ～Ⅱ(各2)                      児童資料論(2) 図書館・情報学特殊(2)		
卒業試験(卒業論文)		本大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目	24 以上	

## 3 履修上の注意

### 【各学年共通】

- (1) 図書館・情報学を専攻する者は、図書館・情報学専攻専門教育科目の必修科目20単位、指定選択科目28単位以上およびその他の専門教育科目24単位以上、計72単位以上を修得しなければならない。ただし、その他の専門教育科目に図書館・情報学専攻設置の専門教育科目を含めることはできない。
- (2) 必修科目20単位は、特別の場合を除き、第2学年において16単位、第3学年において2単位、第4学年において2単位を履修するように配分されている。
- (3) 第2学年の必修科目および第3学年以降のコース必修科目をその年次で履修しない場合、時間割の関係上翌年度に両科目を履修することが不可能になり、卒業が遅れることがあるので留意されたい。
- (4) 図書館・情報学研究法は3年次に、また図書館・情報学研究会は4年次に、それぞれ指定された必修科目であって、他の学年次および他の専攻の者は自由科目としても履修できない。



- (5) 司書教諭資格の取得を希望する者は、教諭免許取得に必要な科目の他、原則として教職課程センターに設置されている「学校経営と学校図書館」、「学校図書館メディア論」、「学習指導と学校図書館」、「読書教育論」、「情報メディア利用論」の5科目を履修しなければならない。希望者は必ず専攻担任に相談すること。
- (6) 「情報」科をはじめとする各教科の教諭免許の取得を希望する者は、教職課程センターが実施するガイダンスに必ず出席すること。

#### 【2年生】

- (7) 原則として、2年生は図書館・情報学専攻が設置する指定選択科目を履修することはできない。ただし、2年生で留年した者については、専攻担任と面談のうえ、履修を認める場合がある（その場合は必ずB欄申告すること）。
- (8) 第3学年に進級するためには、第2学年に配分されている必修科目8科目（16単位）のうち、5科目（10単位）以上を修得しなければならない。

#### 【3年生】

- (9) 3年生は履修申告に際して所属コースを明記すること。
- (10) 図書館コース、情報メディアコース、情報検索コースのいずれか一つのコースを選択する。各コースごとに、コース必修科目と、コース選択科目が授業科目系列表のように定められているので、その指示通りに履修しなければならない。
- (11) 司書資格の取得を希望するものは、図書館・情報学専攻を卒業し、図書館コースで指定されている必修7科目、および「図書館活動論Ⅰ～Ⅳ」、「児童資料論」のうちから3科目以上を修得しなければならない。なお、これらの科目は、情報メディアコース及び情報検索コースで指定されているコース選択科目の中に入れられることができる。
- (12) 第4学年に進級するためには、「図書館・情報学研究法」を修得しなければならない。

#### 【4年生】

- (13) 4年生は履修申告に際して所属コースを明記すること。
- (14) 文学部時間割に記載されている「卒業試験（卒業論文）」を必ず履修すること（研究会とは別の登録番号である）。卒業試験は卒業論文をもってあてる。卒業論文提出にあたっては、9月に開催される中間発表会および提出後に行われる最終面接に出席しなければならない。
- (15) 司書資格の取得を希望するものは、上の(11)の指示に従うこと。

【授業科目系列表】

種類	分野番号	授 業 科 目 名 (単 位)				卒業必 要単位
必修 科目	必修2年 30-13-01	2年次	図書館・情報学基礎(2) 図書館・情報学原典講読(2) 情報サービス基礎Ⅰ(2) 情報サービス基礎Ⅱ(2) 情報検索基礎Ⅰ(2) 情報検索基礎Ⅱ(2) 情報メディア基礎Ⅰ(2) 情報メディア基礎Ⅱ(2)			20 単 位
	研究会 30-13-02	3年次 4年次	図書館・情報学研究法(2) 図書館・情報学研究会(2)			
	卒業試験 30-13-11	卒業試験(卒業論文)				
指定 選択 科目 3・4 年次	図書館コース		情報メディアコース		情報検索コース	
	分野 (B欄)	授業科目名(単位)	分野 (B欄)	授業科目名(単位)	分野 (B欄)	授業科目名(単位)
	図必修 (21)	図書館概論(2) 図書館の計画と経営(2) コミュニケーション史(2) 図書館資料論(2) 資料組織論(2) レファレンス・サービ ス論(2) 図書館実習(2)	メ必修 (31)	情報メディア概説Ⅰ(2) 情報メディア概説Ⅱ(2) 情報認識の基礎(2) 情報メディアの構造と 分析Ⅰ～Ⅱ(各2)	検必修 (41)	情報検索概説Ⅰ(2) 情報検索概説Ⅱ(2) 情報探索行動(2) 情報検索システム(2) 情報検索研究(2) データベース検索(2) 情報処理技術(2)
	30-13- 21	14 単 位	30-13- 31	10 単 位	30-13- 41	14 単 位
図指定 選択 (22)	図書館活動論Ⅰ(2) 図書館活動論Ⅱ(2) 図書館活動論Ⅲ(2) 図書館活動論Ⅳ(2) 児童資料論(2) のうち、3科目6単位 以上	メ指定 選択 (32)	情報メディア特殊Ⅰ(2) 情報メディア特殊Ⅱ(2) 情報メディア特殊Ⅲ(2) 情報メディア特殊Ⅳ(2) 図書館資料論(2) 資料組織論(2) 情報探索行動(2) のうち、4科目8単位 以上	検指定 選択 (42)	自然言語処理の基礎(2) 画像・映像処理の基礎(2) レファレンス・サービス論(2) 情報認識の基礎(2) 情報メディアの構造と分析Ⅰ～Ⅱ (各2) のうち、2科目4単位以上	
30-13- 22	14 単 位	30-13- 32	18 単 位	30-13- 42	28 単 位	
コース 選択 (23)	図書館コースのコース 必修科目(図必修)以 外の指定選択科目(注1) また、それ以外に次 の科目もコース選択科 目として履修すること ができる。 ・書誌学Ⅰ・Ⅱ(各2) ・図書館・情報学特殊(2) 図指定選択とコース選 択の両方あわせて14単 位以上を履修すること	コース 選択 (33)	情報メディアコースの コース必修科目(メ必 修)以外の指定選択科 目(注2) また、それ以外に次 の科目もコース選択科 目として履修すること ができる。 ・書誌学Ⅰ・Ⅱ(各2) ・図書館・情報学特殊(2) メ指定選択とコース選 択の両方あわせて18単 位以上を履修すること	コース 選択 (43)	情報検索コースのコース必修科目 (検必修)以外の指定選択科目 (注3) また、それ以外に次の科目もコ ース選択科目として履修すること ができる。 ・書誌学Ⅰ・Ⅱ(各2) ・図書館・情報学特殊(2) 検指定選択とコース選択の両方あ わせて14単位以上を履修すること	
30-13- 23	14 単 位	30-13- 33	18 単 位	30-13- 43	14 単 位	
選択 科目 (55)	本大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目				24 単 位	
30-13- 55						

注1:メ必修,検必修,図指定選択,メ指定選択,検指定選択の分野科目がそれにあたる

注2:図必修,検必修,図指定選択,メ指定選択,検指定選択の分野科目がそれにあたる

注3:図必修,メ必修,図指定選択,メ指定選択,検指定選択の分野科目がそれにあたる

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

# 社会学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

社会学専攻における専門教育科目の必修科目および選択科目とその単位数は次の通りである。

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授 業 科 目 名(単位)	卒業必要単位
必修科目	30-14-11	次の3科目を第2学年で修得すること。 社会学概論(4) 社会心理学概論(4) 文化人類学概論(4)	12
	30-14-12	次の3科目を卒業までに修得すること。 社会学史(4) 社会調査Ⅰ(2)・Ⅱ(2)	8
	30-14-21	次の科目のうちから卒業までに20単位を履修すること。 医療社会学(4) 家族・親族論(4) 教育社会学(4) 現代社会学(4) コミュニケーション学(4) 宗教社会学(4) 対人影響論(4) 知識社会学(4) 都市社会学(4) 日本社会学(4) 比較文化論(4) 普及学(4) 文化社会学(4) 社会学特殊Ⅰ~Ⅺ(各4) 社会学特講Ⅰ~Ⅶ(各2)	20
卒試	30-14-41	卒業試験(卒業論文)	
	30-14-42	卒業試験(社会学専攻)	
選択科目	30-14-51	社会学研究会Ⅰ(2) } (卒業論文コースの者は、「社会学研究会Ⅰ・Ⅱ(各2)」 社会学研究会Ⅱ(2) } 合計4単位を必ず含めること)	32 単位 以上
	30-14-52		
	30-14-55	大学設置(学部学則35条3項参照)の専門教育科目 社会学専攻設置の「社会学原典講読(2)」および「社会学洋書講読(2)」を 含める。	

## 2 必修科目

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

社会学概論

社会心理学概論

文化人類学概論

これらの授業科目は必ず第2学年で修得すること。1科目でも不合格であれば進級できないから、十分注意しなければならない。

#### (2) 第2学年においては「卒業論文コース」を将来目指すものであっても、「研究会」を選択履修することはできない。

### 【第3・4学年】

#### (1) 「卒業論文コース」

「卒業論文コース」をとる者は、第3・4の両学年において、社会学研究会(Ⅰ・Ⅱ)を履修・合格しなければ、

最終年度において卒業論文を提出する資格を得ることができない。第4学年で別の担当者の研究会に変更し、その担当者に卒論を提出することを希望する場合は、変更前・変更後の担当者との相談を、履修申告前に行わなければならない。なお「卒業論文コース」の者が、研究会担当者の承認を受けて中途および第4学年で「非卒業論文コース」に移行することもありうる。ただし、第4学年で、履修届の提出後においては、移行できない。

(2) 「非卒業論文コース」

「非卒業論文コース」の者は、4年次において次の卒業試験指定科目のうち、1科目を履修・合格し、さらに同一分野の卒業試験に合格しなければならない。

コミュニケーション学  
宗教社会学  
家族・親族論

【第4学年】

(1) 卒業に必要な単位数を充足しても、卒業論文もしくは卒業試験（非卒業論文コースの者）に合格しなければ卒業できない。

4年生は文学部時間割に記載されている「卒業試験」を必ず履修申告すること。

(2) 非卒業論文コースの者に課せられる卒業試験については、卒業試験指定科目が決められている。非卒業論文コースの者は、4年次（卒業年次）において次の卒業試験指定科目のうち、1科目を履修・合格し、さらに同一分野の卒業試験に合格しなければならない。指定科目が前年度までに修得済みであっても4年次（卒業年次）において自由科目として履修・合格しなければならない。卒業試験指定科目は以下のとおりである。

コミュニケーション学  
宗教社会学  
家族・親族論

(3) 4年次留年者は改めて「卒業試験」を履修し合格しなければならない（4年次に「卒業試験」に合格していても、改めて、卒業試験指定科目及び卒業試験を、あるいは4年次研究会及び卒業論文を自由科目として履修しなければならない）。

### 3 各学年共通

(1) 重複履修の取り扱いについて

過年度に修得済みの科目を再履修する場合は自由科目となる。

(2) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い

選択必修科目（分野 30-14-21）を指定単位数を超えて履修した場合は選択科目の単位とみなし、卒業単位として取り扱う。

(3) 研究会の履修方法

研究会は、選択科目または自由科目として申告することになるので、次の分野番号で申告すること。

	研究会 I	研究会 II
3年生が履修する場合	A 欄申告	自由科目（B 欄分野番号 99）
4年生が履修する場合	自由科目（B 欄分野番号 99）	A 欄申告

2年生で履修することはできません。

# 心理学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

心理学専攻における専門教育科目の必修科目および選択科目とその単位数は次の通りである。

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授 業 科 目 名(単位)	卒業必要 単位
必修 科目	30-15-11	知覚心理学Ⅰ(4) 発達心理学Ⅰ(4) 行動分析学Ⅰ(4)	38 単 位
		認知心理学Ⅰ(4) 生物心理学Ⅰ(4)	
	30-15-12	心理測定論(2)	
		心理学史(2)	
	30-15-13	心理統計(4)	
	30-15-14	心理学原典講読(2)	
	30-15-15	心理学実験Ⅰ(2) 心理学実験Ⅱ(2)	
研究会	30-15-31	心理学研究会Ⅰ(A)~(F)(各2)	
	30-15-32	心理学研究会Ⅱ(A)~(F)(各2)	
卒試	30-15-41	卒業試験(卒業論文)	
選択 科目	指定 選択	30-15-51 心理学専攻設置の専門選択科目(【専攻設置科目表】を参照)・人間関係学系設置の必修科目のうち20単位以上。	20 以上
	選択	30-15-55 大学設置(学部学則35条3項参照)の専門教育科目	34 単位 以上

## 2 進級条件科目および各学年指定専門教育科目

	指定専門科目	進級条件科目
第2学年	心理学原典講読(2) 知覚心理学Ⅰ(4) 発達心理学Ⅰ(4) 行動分析学Ⅰ(4) 認知心理学Ⅰ(4) 生物心理学Ⅰ(4)	心理学原典講読(2)を含めて4科目(計14単位)を修得しなければならない。
	心理統計(4)	
第3学年	心理学史(2) 心理測定論(2) 心理学実験Ⅰ(2) 心理学実験Ⅱ(2) 心理学研究会Ⅰ(2)	*心理学実験Ⅰ(2) *心理学実験Ⅱ(2) 心理学研究会Ⅰ(2)
	心理学研究会Ⅱ(2)	
第4学年	心理学研究会Ⅱ(2)	

\*心理学実験Ⅰ(2)と心理学実験Ⅱ(2)はセットで履修すること

### 3 各学年共通

(1) 重複履修の取り扱いについて

心理学専攻設置の専門選択科目(各心理学のⅡと、心理学特殊Ⅱ,Ⅲ)で担当者の異なる科目については重複履修を認め、指定選択科目の必要単位として取り扱う。

(2) 研究会の履修方法

同一担当者の研究会を第3・4学年にわたり履修することを原則とする。また、第3学年では心理学研究会Ⅱを、第4学年では心理学研究会Ⅰを自由科目(B欄99)として履修することを原則とする。

(3) 卒業試験(卒業論文)について

卒業試験は卒業論文とする。卒業論文は履修する心理学研究会Ⅱの担当者に提出し、その審査に合格しなければならない。第4学年は文学部時間割に記載されている「卒業試験(卒業論文)」を必ず履修すること(研究会とは別の登録番号がある)。

(4) 注意

各学年の指定専門科目をその年次で履修しない場合、時間割の関係上翌年度に履修することが不可能になり、卒業が遅れることがあるので留意されたい。

#### 【専攻設置科目表】

専 門 選 択 科 目	心理学特殊Ⅰ(4)	行動分析学Ⅱ(2)	パーソナリティ理論概説(4)
	心理学特殊Ⅱ(2)	認知心理学Ⅱ(2)	認知臨床心理学(4)
	心理学特殊Ⅲ(2)	生物心理学Ⅱ(2)	発達臨床心理学(4)
	知覚心理学Ⅱ(2)	数理心理学(2)	言語障害臨床(4)
	発達心理学Ⅱ(2)	クリニカルワーク概説(4)	

# 教育学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

- (1) 教育学専攻設置の学科目は [ 必修科目 ] (研究会, 卒試を含む), [ 選択必修科目 ] および [ 指定選択科目 ] から構成され, その単位数は以下の通りである。
- (2) 卒業までに必修 8 科目 (26 単位), 選択必修 8 科目から 3 科目 (12 単位), 研究会 2 科目 (4 単位), 選択科目 (指定選択科目を含む) 30 単位以上を履修しなければならない (履修方法に関しては後述の規定に従うこと)。
- (3) 卒業試験は卒業論文によって行なう (卒業論文の指導担当者および担当者は研究会担当者と同一)。

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授 業 科 目 名 (単位)	卒業必要単位	
必修科目	30-16-11	教育学概論 (4) 教育学原典講読 (2)	42 単 位	
	30-16-12	教育史 (4) 教育学史 (4) 比較教育学 (4) 教育心理学概論 (4)		
	30-16-13	教育学演習 I (2), 教育学演習 II (2)		
	30-16-21	教育学特殊 I (4) 教育学特殊 II (4) 教育学特殊 III (4) 教育学特殊 IV (4) 教育学特殊 V (4) 教育学特殊 VI (4) 教育学特殊 VII (4) 教育学特殊 VIII (4)		このうち 12 単位以上
	研究会	30-16-31 教育学研究会 I (2) 30-16-32 教育学研究会 II (2)		
	卒試	30-16-41 卒業試験 (卒業論文)		
	選択科目	指定選択		30-16-51 教育学文献講読 I (4) 教育学文献講読 II (4) 教育学文献講読 III (4) 教育測定実験 (4) 教育研究法 I (2), 教育研究法 II (2)
選択		30-16-55 大学設置 (学部学則第 35 条 3 項参照) の専門教育科目		



## 2 履修上の規定

### 【第2学年】

#### (1) 進級条件科目

教育学概論，教育学原典講読

#### (2) 教育学原典講読履修について

第2学年の履修者は、まず2つ(年度によっては4つ)のグループに分かれてもらい(グループ分けは混乱を避けるため専攻担任が決定する)、春学期「教育学原典講読A」「教育学原典講読B」「教育学原典講読C」「教育学原典講読D」にそれぞれ属してもらおう。秋学期はこれをそっくり交換し、春学期にA(C)を受けたものはB(D)に、B(D)を受けたものはA(C)に属してもらおう。履修申告は春学期に属した担当教員の名で行なうこと。

### 【第3学年】

第3学年の学生は、必ずいずれかの担当者の教育学演習Ⅰ，教育学研究会Ⅰを履修すること。これらは第4学年への進級条件科目である。ちなみに、研究会は卒論指導のために設けられたものであり、演習と密接な関係をもっているため、演習と同じ担当者の研究会を履修すること。

### 【第4学年】

第4学年の学生は、必ず教育学演習Ⅱ，教育学研究会Ⅱを履修すること。なお、それらは第3学年次に履修した教育学演習Ⅰ，教育学研究会Ⅰと同一担当者のものであることが原則である。

## 3 各学年共通

#### (1) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い

必修科目の中の選択必修科目(教育学特殊Ⅰ～Ⅷ)を指定単位数を超えて履修した場合は、その超えた分は選択科目とみなし卒業単位として取り扱う。ただし、同一名称のものを卒業時までもう一度履修した場合は自由科目扱いとなり、選択必修科目，選択科目とみなされることはない。

#### (2) 選択科目について

指定選択科目とは、高度専門的に教育学研究を目指す場合、必要と考えられる方法や内容に焦点を当てた科目である。したがって、専攻の設置する専門科目ではあるものの、あえて必修科目とはせず、選択科目扱いとしている。各研究会でより高度な卒論を目指す学生や、大学院進学を考えている学生の積極的履修を期待する。

#### (3) その他

第4学年で留年した場合、必修の「研究会」等の科目がすでに履修済みならば、再度その科目を自由科目として履修する必要はない。ただし、「卒業試験(卒業論文)」「研究会とは別の登録番号がある」は必ず履修すること。

# 人間科学専攻

(平成21年度第4学年生に適用)

## 1 専門教育科目およびその単位数

人間科学専攻が今年度開講する必修科目(Ⅰ～Ⅲ類)および選択科目とその単位数,および進級条件・卒業までに必要な単位数は次の通りである。

### 【授業科目系列表】

種類	分野番号	授業科目名(単位)	備考	卒業必要単位		
必修科目	Ⅰ類 4単位	30-17-11	人間科学基礎(2) 人間科学研究法基礎(2)	第2学年次進級条件科目 これらに1科目でも不合格(D)があれば第3学年に進級することができない。 第2学年次履修指定科目 第2学年次に履修することを原則とする。第2学年中に最低2科目(4単位)を選択履修し,合格すること。この条件が充足されなかった場合は第3学年に進級することができない。  この類より26単位以上を選択して履修する。	38 単 位  以 上	
		Ⅱ類 8単位	30-17-12			人間科学諸領域Ⅰ(2) 人間科学諸領域Ⅱ(2) 人間科学諸領域Ⅲ(2) 人間科学諸領域Ⅳ(2)
	Ⅲ類 26単位以上		30-17-21			人間科学研究法(2) 人間科学研究法(4) 人間科学演習(2) 人間科学特殊(2) 人間科学特殊(4)
			30-17-31			人間科学研究会Ⅰ(A)~(J)(2) <コースA>
		30-17-32	人間科学研究会Ⅱ(A)~(J)(2) <コースA>			
30-17-33		人間科学卒業研究(2) <コースB>				
30-17-41	卒業試験(卒業論文) <コースA>					
30-17-42	卒業試験(人間科学専攻) <コースB>					
選択科目	30-17-55	大学設置(学部学則第35条3項参照)の専門教育科目(2)または(4)	34単位以上を履修するⅢ類として履修しなかった科目を選択科目として履修することができる。	34 単 位 以 上		

今年度開講される 類科目(人間科学研究法・人間科学演習・人間科学特殊)は以下の通りである。

人間科学研究法	(観察・実験Ⅵ4)(計量と解析Ⅵ4)(データ解析Ⅵ4)(測定と記述Ⅵ4)
人間科学演習	(文献講読Ⅵ2)(洋書講読Ⅵ2)(ワークショップⅥ2)(調査法Ⅵ2)
人間科学特殊	(ライフパン発達論Ⅵ4)(現代家族論Ⅵ4)(パーソナリティ研究Ⅵ4)(臨床心理学Ⅵ4) (コミュニティ心理学Ⅵ4)(比較文化関係論Ⅵ2)(米国の多民族社会と文化Ⅵ4) (精神病理学Ⅵ2)(精神分析学Ⅵ2)(芸術と人間Ⅵ2)(インタフェース論Ⅵ2) (現代日本人のライフスタイルⅠⅥ2)(現代日本人のライフスタイルⅡⅥ2) (都市生活と景観ⅠⅥ2)(都市生活と景観ⅡⅥ2)(スポーツ社会心理学Ⅵ2) (スポーツメディア論Ⅵ2)(開発と文化Ⅵ2)(文化と技術Ⅵ2)(組織行動論Ⅵ4) (女性とキャリアⅥ4)(意思決定論Ⅵ2)(キャリア発達論ⅠⅥ4) (キャリア発達論ⅡⅥ4)(幕末・明治維新期の日本人像Ⅵ4)

## 2 第3学年次におけるコースの選択とその決定

- (1) 第3学年次において、「卒業論文」(ゼロ単位)をもって「卒業試験」に代替するコース(以下、コースAとよぶ)、または、「卒業試験」(ゼロ単位)を卒業の要件とするコース(以下、コースBとよぶ)のいずれかを選ばなければならない。
- (2) コースAを志望する学生は、第2学年次の秋学期に行われるガイダンスに基づいて、「卒業論文」の指導を仰ぐ教員を選定し、当該教員にその旨を申し出、当該教員の審査を受け、これに合格した上で、当該教員の担当する「人間科学研究会Ⅰ」(2)を第3学年次で、「人間科学研究会Ⅱ」(2)を第4学年次で修得し、第4学年次の定められた期日までに「卒業論文」を提出し、論文の審査(「卒業試験」に充当する)に合格しなければならない。
- (3) コースBを志望する学生は、第4学年次秋学期開講の「人間科学卒業研究」(2)を含めて、卒業までにⅢ類26単位以上を修得し、「卒業試験」に合格しなければならない。「卒業試験」は、「人間科学卒業研究」の修得をもって代替する。
- (4) 第3学年次にコースAを選択した学生が第4学年次履修申告時に「人間科学研究会Ⅱ」を履修しない場合には、コースBへの変更となる。この変更をした場合、「人間科学研究会Ⅰ」の単位が修得済みであればⅢ類の単位として認める。
- (5) コースBを選択し第4学年次で卒業できなかった場合、「人間科学卒業研究」の単位は取り消される。次年度に再度「人間科学卒業研究」を履修しなければならない。
- (6) コースAを選択し第4学年次で「人間科学研究会Ⅱ」を修得しながら卒業できなかった場合、次年度にコースBに変更して「人間科学卒業研究」を履修しなければならない。
- (7) コースA・コースBそれぞれにおける卒業要件を要約して示せば下表のとおりである。

卒業要件		コースA	コースB
専門必修科目 (38単位以上)	Ⅰ類	4単位	4単位
	Ⅱ類	8単位	8単位
	Ⅲ類	人間科学研究会Ⅰ・Ⅱ(各2) を含めて26単位以上	人間科学卒業研究(2) を含めて26単位以上
専門選択科目(34単位以上)		34単位以上	34単位以上
卒業試験(*)		卒業論文(0単位)	人間科学卒業研究(2)の 修得をもって代替する
卒業に必要な専門教育科目の総単位数		72単位以上	72単位以上

(\*) 研究会・卒業研究のほかに「卒業試験(卒業論文)」<コースA>または「卒業試験(人間科学専攻)」<コースB>の履修申告もすること。

## 3 各学年共通

- (1) 必要単位を超えて履修した必修科目の取り扱い  
Ⅲ類科目を指定単位を超えて履修した場合、超えた分の単位を選択科目とみなして、その取得単位を卒業に必要な選択科目単位として取り扱う。
- (2) 同一名称科目の取扱いについて  
「人間科学研究法」、「人間科学特殊」、「人間科学演習」の科目名の後に付される( )内は開講題目で、年度によって変更されることもある。また、科目名の後の( )内に異なる名称が付されている場合、それぞれを別科目として取り扱う。ただし、この取り扱いは人間科学専攻の学生に限る。

## 4 その他

- (1) 春学期の授業開始直前の「専攻別ガイダンス」において、科目履修上の細かい説明を行うので、専攻学生は全員必ず出席されたい。
- (2) 2年生諸君は、「専攻別学生カード」を「人間科学基礎」の第1回目授業時に必ず持参し提出されたい。
- (3) 履修申告の控えを必ずとり、成績表が送られてくるまでは保存しておくこと(控えがないために履修上の問題の“責”がいずれにあったのか判断のつきかねる場合があるので、このことをくれぐれも注意されたい)。

## B欄による申告方法（4年生【04学則】）

履修申告欄は、A欄・B欄によって構成されています。どちらの欄で申告するかは下記のとおりです。

### 1 通常はA欄にて履修申告してください。

2 B欄での履修申告は、変則的な履修をする場合に行います。B欄分野番号(2桁の数字)を使って、どの分野の単位として履修申告するかを、学則に決められた範囲内で申告することができます。

(1) ひとつの科目に対して複数の分野が選択できる科目の場合に使用します。

(2) B欄分野番号は、通常とは異なる変則的な履修を可能とします(自由科目の履修など)。

(3) B欄分野番号は学部により異なります。

### 【注意】

1 学則ならびに各専攻内規により許可されている分野以外での履修は一切認められません。

2 ほとんどの場合、**履修申告はA欄にて行います**。例年、A欄申告できる科目にもかかわらず、B欄申告をしたことにより、誤った分野で履修してしまう例が散見されますので、くれぐれも注意してください。

3 **他専攻の科目を選択科目として履修申告する場合もA欄申告**になります。

## B欄による申告方法（4年生【04学則】）

全専攻共通事項

専攻	B欄 分野番号	分野コード	使用例
共通	40	20 - 40 - 20 総合教育科目 (系列外)	・必修語学科目を総合教育科目(系列外)として履修する場合 P. 88～89の「必修語学科目および総合教育科目一覧」で、総合教育科目(系列外)の「20 - 40 - 20」に分野配当されている科目(アラビア語、イタリア語入門など)はA欄申告をしてください。
共通	45	20 - 40 - 30 総合教育科目 (系列外)	・他学部設置の全学部共通外国語科目(三田)を総合教育科目(系列外)として履修する場合 ・他学部設置少人数セミナー形式授業(日吉キャンパス)を総合教育科目(系列外)として履修する場合
共通	90	10 - 90 - 21 必修語学科目 (日本語)	留学生が必修語学として日本語 A・日本語 Bを履修する場合
共通	55	30 - * * - 55 選択科目	<b>他学部設置の専門教育科目を文学部の専門教育科目(選択科目)として履修する場合 文学部他専攻設置の専門科目はA欄申告</b> してください。
共通	99	99 - 99 - 99 自由科目	・同一科目名を重複して履修する場合、片方は自由科目として申告 (ただし、専攻内規により重複履修が認められている科目はA欄申告) ・自由科目として申告する場合

各専攻別内規により特に指示がある場合

専攻	B欄 分野番号	分野コード	使用例
哲学	55	30 - 01 - 55 選択科目	研究会を同一学年で二つ以上履修する場合、片方は選択科目として履修申告
東洋史	91	10 - 91 - 21 必修語学科目 (諸国語)	アラビア語・ペルシア語・トルコ語を必修語学として履修する場合
	51	30 - 05 - 51 指定選択科目	研究会を二つ以上履修する場合、片方は選択科目として履修
民族学 考古学	55	30 - 07 - 55 選択科目	・第2学年で研究会を履修する場合 ・研究会を同一学年で二つ以上履修する場合、片方は選択科目として履修
国文学	51	30 - 08 - 51 指定選択科目	国文学・国文学史・国文学演習・国語学演習・日本語文法・漢文講読 同一科目名・同一担当者の科目を再履修する場合 国語学 担当者の異同に関わらず、再履修する場合 いずれも再々履修は自由科目(B欄分野番号99)
英米文学	55	30 - 10 - 55 選択科目	英語学演習、英文学演習、米文学演習 同一科目名・同一担当者の科目を再履修する場合 再々履修は自由科目(B欄分野番号99)
仏文学	55	30 - 12 - 55 選択科目	フランス語学演習 ~、フランス語表現演習 ~、フランス文学演習 ~ を重複履修する場合